

# 令和6年度

# 年報



## 佐賀県立宇宙科学館



# ご あ い さ つ

令和6年度（2024年度）における佐賀県立宇宙科学館《ゆめぎんが》の活動のまとめとしての年報を刊行するにあたり、ご挨拶申し上げます。

令和6年度は《ゆめぎんが》創立25周年の年となりました。年齢的には成熟期を迎えた《ゆめぎんが》ですが、Re-BORN（新たなる生まれ変わり）をキャッチフレーズにさまざまな新しい挑戦を始めました。その皮切りが前年度3月23日にグランドオープンした「宇宙発見ゾーン」です。最新の宇宙科学研究の成果とデジタル技術を駆使した展示ですが、小さなお子さんからおとなまでワクワクを楽しめる国内でも最新鋭の展示ゾーンが誕生し、多くの来館者のみなさまで賑わうこととなりました。

季節ごとの企画展も工夫をこらしました。夏の企画展「カラフル～色の不思議のサイエンス」では、物理・化学・生物・地学という基礎科学の学びにアート（芸術）を加えて、誰もが親しみを持てる生き物や宝石、日常使いのやきものから宇宙まで目に見える色をテーマに美しい展示が繰り広げられました。地球上に生きる私たち人間や生き物の生活は、さまざまな混ざり合いや連携で色鮮やかに成り立っているというメッセージが伝わったでしょうか。《ゆめぎんが》が得意なワークショップ形式の試みとしては、国際宇宙ステーションを模した装置を作って、宇宙飛行士と同じように「宇宙食を食べてみよう」というワークショップも新たに始まりました。JAXAが認定した「宇宙日本食」を温めたり加水したりして、美味しそうに食べる親子の笑顔が広がりました。また、佐賀県内のさまざまな団体のみなさんとの協力による季節ごとのイベントも多く開催し、小さな子どもたちとシニアの方々とふれあいの機会も増えています。

現代は、家族・友人知人のつながりから始まり多様な人々の連携と協力が大切な時代です。科学技術の進歩も一人の力ではなく組織や国、さらには国境を越えた英知を駆使して実現する時代。《ゆめぎんが》は、今後ともホンモノに触れ科学する心を養うサイエンスコミュニケーションの場として、時代の要請、世代を超えた来館者のみなさまの要請に真摯に向き合い、変化と進歩を重ねてゆく所存です。

令和6年度に《ゆめぎんが》を訪れてくださった26万7千人のみなさまに感謝するとともに、日頃からの関係の皆さまのご理解・ご協力を深く御礼申し上げます、今後とも当館の活動に変わらぬご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和7年3月31日

佐賀県立宇宙科学館 館長 鈴木 明子

# 目 次

ごあいさつ

## 目 次

### 第1章 運営の概要

1. 令和6(2024)年度 佐賀県立宇宙科学館 主な行事・トピックス…… 1～2
2. 組織、職員…… 3  
職員構成・組織…… 3
3. 令和6年度開館日…… 4
4. 入館者数・プラネタリウム観覧者数の状況…… 5～7
  - (1) 入館者数…… 5
  - (2) プラネタリウム観覧者数…… 6
  - (3) 入館料の状況…… 7
5. 予 算…… 8

### 第2章 事業の概要

1. 常設展示の運営…… 12～14
  - 1-1. 宇宙発見ゾーン…… 13
  - 1-2. 地球発見ゾーン…… 13
  - 1-3. 佐賀発見ゾーン…… 13
  - 1-4. サイエンスサロン…… 14
  - 1-5. こどもの広場…… 14
2. プラネタリウム…… 15～19
3. 天文台…… 20～21
4. 企画展示の運営…… 22～52
  - 4-1. 特別企画展…… 22～47
  - 4-2. 外部組織との協力イベント…… 48
  - 4-3. イベント…… 49～52
5. 館内教育活動…… 53～58
  - 5-1. ゆめぎんがサイエンス教室…… 53～54
  - 5-2. ワークショップ…… 55～58
  - 5-3. 宇宙食体験イベント…… 58
6. アウトリーチ活動…… 59～69
  - 6-1. 支援事業…… 59～60
  - 6-2. 連携事業…… 61～68
  - 6-3. 教育事業…… 68～69
7. 情報提供サービス…… 70
  - 7-1. ホームページによる情報提供…… 70
  - 7-2. 図書室…… 70
8. 友の会活動…… 71
9. 調査研究の実施…… 72
  - 9-1. 宇宙科学館周辺の生物調査…… 72
  - 9-2. 普及活動…… 72
10. 資料の収集調査・保存…… 73～74
  - 10-1. 県立博物館職員との資料収集…… 73
  - 10-2. 資料の保存…… 73～74
11. 視察・研修及び他団体との交流…… 75
  - 11-1. 加入団体…… 75
  - 11-2. 参加研修会・総会及び視察…… 75
12. 広報・誘客事業…… 76～88
  - 12-1. 広報活動…… 76～80
  - 12-2. 訪問による集客活動…… 80
  - 12-3. 広聴活動…… 80～88
13. SPACE PARK (スペースパーク) 管理運営業務…… 89～90
  - 13-1. 管理運営の目的・方針・管理・保全の実施体制…… 89
  - 13-2. イベント・展示内容…… 89～90

- 第3章 資 料…… 94～101

# 第1章

## 運 営 の 概 要

# 1. 令和6(2024)年度 佐賀県立宇宙科学館 主な行事・トピックス

- 【3月16日～5月6日】 春の企画展「ビーコロ×スイッチ」開催 観覧者数 65,680人
- 【4月4日】 名護屋城博物館：久野学芸員一行（韓国国立歴史博物館職員5人）視察受け入れ
- 【4月6日～14日】 おもちゃ広場開設
- 【4月20日】 南極・昭和基地から国立極地研究所連携機関へ同時生中継イベント  
「南極・昭和基地ライブトーク 2024」（実験室 51人参加）
- 【4月20日～21日】 武雄温泉駅南広場地域活性化イベント出店
- 【4月27～6月2日】 スペースパークARスタンプラリー設置
- 【5月10日】 保養村キャンプ場開発事業者と自然環境保護に関する協議
- 【5月11日】 JR九州主催ウォークラリー 参加者 310人、入館 90人
- 【5月21日】 保養村キャンプ場開発事業者と自然環境保護に関する協議
- 【5月24日～6月9日】 ホテル観賞期間
- 【5月30日】 佐賀県博物館協会総会（佐賀県立美術館）
- 【6月2日】 ほたる祭り開催
- 【6月3日～5日】 全国プラネタリウム大会 2024・横浜（はまぎんこども宇宙科学館）
- 【6月6日】 理科教育振興会第1回理事会総会
- 【6月8日～23日】 水フェスタ開催
- 【6月19日】 防災訓練
- 【6月26日】 武雄市観光協会評議員会（武雄市観光協会）  
佐賀看護専門学校生徒視察受け入れ
- 【7月4日】 全国科学博物館協議会総会（国立科学博物館）
- 【7月5日】 七夕飾りつけ（合唱団やまびこ・芳華こども園）
- 【7月6日】 開館25周年記念講演会「月面ピンポイント着陸への挑戦」  
（JAXA宇宙科学研究所 SLIMプロジェクトマネージャー 坂井 真一郎氏）
- 【7月13日～9月1日】 夏の企画展「カラフル展～色の不思議のサイエンス」開催  
観覧者数 69,873人
- 【7月15日】 英語でギャラリートーク開催
- 【7月16日】 展示定期点検実施
- 【7月25日～26日】 教職員派遣研修受け入れ（武雄市立朝日小学校）
- 【7月28日～29日】 教職員派遣研修受け入れ（武雄市立橘小学校）
- 【7月31日】 千葉県県議会視察受け入れ
- 【8月1日～2日】 教職員派遣研修受け入れ（武雄市立御船が丘小学校）
- 【8月8日～9日】 教職員派遣研修受け入れ（武雄市立武雄北小学校）
- 【8月10日】 ナイトミュージアム開催
- 【8月22日～23日】 教職員派遣研修受け入れ（武雄市立武雄中学校）
- 【8月28日】 中学生職場体験受け入れ（武雄市立川登中学校）
- 【8月31日】 宇宙の日記念特別講演会「H3ロケットの挑戦」  
（JAXA 理事 宇宙輸送技術部門長 岡田 匡史氏）
- 【9月2日～5日】 収蔵庫燻蒸作業
- 【9月7日～23日】 ソラフェスタ開催
- 【9月11日～12日】 中学生職場体験受け入れ（武雄市立山内中学校）

- 【9月 11日～16日】 学芸員実習受け入れ
- 【9月 14日】 宇宙の日講演会 2024「おもちゃの力で宇宙をもっと身近に」  
(株式会社タカラトミー SORA-Qプロジェクトマネージャー 赤木 謙介氏)
- 【9月 19日～20日】 中学生職場体験受け入れ(太良町立多良中学校)
- 【9月 22日】 講演会「Earth CARE衛星～4つの「目」でみる雲・エアゾルと、温暖化する地球の未来～」  
(JAXA 第一宇宙技術部門衛星利用運用センター研究開発員 蘭 幸太郎氏)
- 【9月 24日～10月 6日】 佐賀県児童生徒理科作品展覧会
- 【10月 5日】 佐賀県児童生徒理科作品展覧会表彰式
- 【10月 10日】 広島県福山市議会視察受け入れ
- 【10月 10日～11日】 中学校職場体験受け入れ(太良町立大浦中学校)
- 【10月 22日～1月 16日】 佐賀発見ゾーン展示水槽改修工事
- 【10月 19日～12月 8日】 秋の企画展「デジタル×スポーツ展」開催 観覧者数 28,425人
- 【11月 8日】 佐賀県議会視察受け入れ
- 【11月 9日】 佐賀“宙への扉”イベント 主催: JAXA・佐賀県  
NASA ジェット推進研究所(JPL) 元所長チャールズ・エラチ氏講演会
- 【11月 16日】 JR九州 2024年秋ウォーキング
- 【11月 28日】 中学生職場体験受け入れ(武雄市立武雄中学校)
- 【12月 3日】 科学館周辺の小川の環境保全活動
- 【12月 3日～15日】 宇宙の日 絵画コンテスト作品展示会
- 【12月 13日】 しめ縄づくり、クリスマスツリー飾りつけイベント  
(のぞみ幼稚園、永島・溝ノ上長寿会)
- 【12月 14日】 宇宙の日 絵画コンテスト表彰式
- 【12月 19日】 「武雄のあかりめぐり」実行委員会総括会議
- 【12月 21日～22日】 「宇宙食を食べてみよう～宇宙飛行士の食事を再現～」(九州佐賀国際空港スペースパーク)
- 【12月 21日～1月 13日】 電気フェスタ開催
- 【12月 23日】 下期展示総合点検実施
- 【1月 10日～11日】 「宇宙食を食べてみよう～宇宙飛行士の食事を再現～」
- 【2月 12日】 全国科学博物館協議会総会(兵庫県立人と自然の博物館)
- 【2月 18日】 名古屋市科学館視察受け入れ
- 【2月 26日】 AED講習会実施
- 【3月 15日～5月 6日】 春の企画展「ビーコロ×おもちゃ」展開催

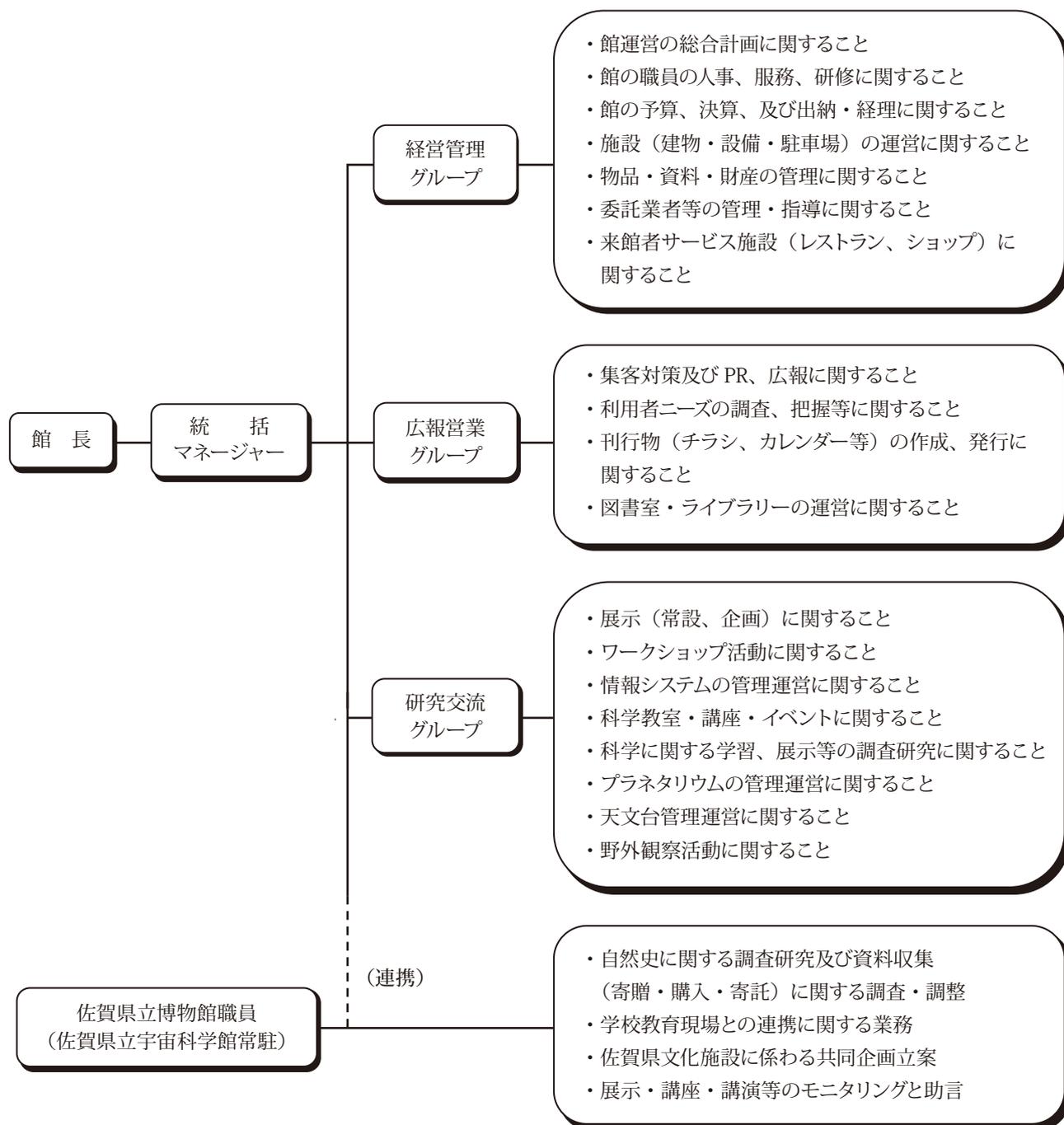
※所属・役職は当時

## 2. 組織、職員

### 職員構成・組織

令和6年(2024)年4月1日現在

常勤職員	非常勤職員	計	県職員 (佐賀県立宇宙科学館常駐)
24人	1人	25人	2人



### 3. 令和6年度開館日

佐賀県立宇宙科学館の開休館日は次のとおり。(開館日数 313日、休館日数 52日)

令和6年(2024年)

4月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

5月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

6月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

7月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

8月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

9月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

10月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

11月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

令和7年(2025年)

12月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

1月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

3月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

□ 開館日    ■ 休館日    **太字** 国民の祝日

開館時間①9:15~17:15(平日)    ②9:15~18:00(土・日・祝)    ③9:15~18:00(春休み、GW、夏休み)

## 4. 入館者数・プラネタリウム観覧者数の状況

(1) 入館者数

(単位：人)

区 分	入 館 者 数						計
	大人	高校生	小中学生	園児・幼児等	その他	無料ゾーン	
12年度計	131,149	4,897	88,707	19,472	33,255		277,480
13年度計	94,076	3,654	76,616	14,302	26,723		215,371
14年度計	96,156	3,035	85,042	19,245	39,339		242,817
15年度計	88,621	3,062	82,321	17,942	38,243		230,189
16年度計	84,890	2,048	85,104	18,792	33,591		224,425
17年度計	79,222	1,606	79,518	16,747	29,522		206,615
18年度計	78,445	1,300	78,253	16,794	18,556	15,409	208,757
19年度計	77,792	2,195	77,703	16,305	25,453	10,418	209,866
20年度計	73,075	1,512	72,662	14,010	22,728	11,685	195,672
21年度計	71,646	1,370	76,278	13,872	22,172	13,366	198,704
22年度計	91,668	2,056	87,686	17,553	26,620	25,354	250,937
23年度計	92,782	1,917	83,681	19,004	30,495	13,693	241,572
24年度計	85,415	1,804	78,989	16,583	27,595	12,619	223,005
25年度計	102,275	2,146	82,482	20,498	31,940	17,749	257,090
26年度計	55,297	1,150	40,566	10,204	15,346	6,735	129,298
27年度計	104,017	2,059	77,695	20,075	30,898	11,661	246,405
28年度計	113,680	1,798	83,907	24,122	36,624	10,285	270,416
29年度計	113,503	2,106	84,213	23,407	35,151	9,803	268,183
30年度計	119,635	2,145	86,848	24,630	40,276	9,438	282,972
元年度計	108,628	2,485	83,459	21,144	33,075	8,162	256,953
2年度計	38,797	974	26,961	6,646	11,619	2,385	87,382
3年度計	52,507	2,279	36,442	9,693	16,142	2,346	119,409
4年度計	71,070	2,350	53,408	13,797	22,970	2,543	166,138
5年度計	85,740	1,876	63,701	17,812	30,508	3,803	203,440
6年度計	118,536	2,332	77,190	24,175	40,356	5,015	267,604
4月	13,521	177	7,142	2,785	4,487	372	28,484
5月	12,141	197	10,179	2,136	4,053	502	29,208
6月	7,346	184	4,421	1,484	2,858	281	16,574
7月	10,026	189	6,878	1,935	3,652	384	23,064
8月	22,854	556	16,341	4,007	6,185	794	50,737
9月	10,338	138	5,352	2,076	3,548	381	21,833
10月	5,757	78	4,720	1,185	2,654	506	14,900
11月	6,630	228	8,531	1,310	2,852	392	19,943
12月	4,445	85	2,179	822	1,672	206	9,409
1月	6,400	112	2,420	1,362	1,916	408	12,618
2月	7,402	87	2,626	1,968	2,377	364	14,824
3月	11,676	301	6,401	3,105	4,102	425	26,010

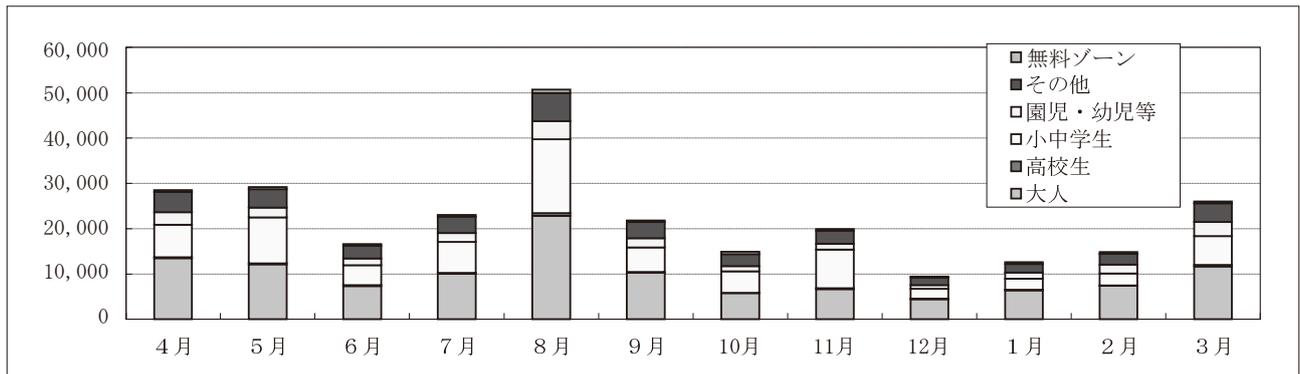
## (2) プラネタリウム観覧者数

(単位：人)

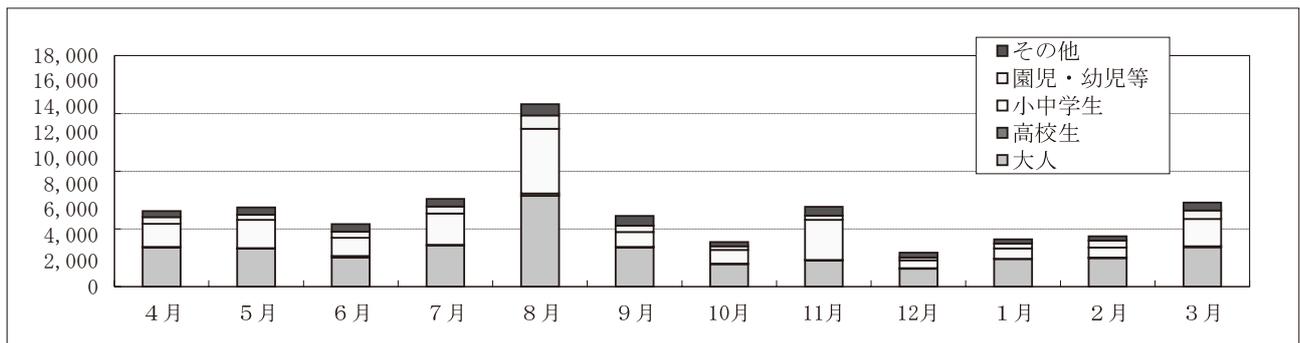
区 分	プラネタリウム観覧者数						計	(夜間プラネ)
	大人	高校生	小中学生	園児・幼児等	その他			
12年度計	37,789	2,649	35,998	5,647	6,234	88,317	(2,534)	
13年度計	24,842	1,104	27,752	4,704	4,869	63,271	(2,251)	
14年度計	24,990	1,071	29,474	6,213	8,090	69,838	(2,769)	
15年度計	21,132	963	24,610	5,132	5,354	57,191	(2,580)	
16年度計	21,089	529	26,256	5,941	5,905	59,720	(2,468)	
17年度計	24,807	792	28,976	6,928	5,231	66,734	(2,633)	
18年度計	31,446	401	29,439	7,496	6,277	75,059	(2,033)	
19年度計	32,825	740	28,712	7,772	5,458	75,507	(2,205)	
20年度計	29,399	451	25,850	5,873	4,171	65,744	(1,679)	
21年度計	27,307	549	24,356	5,478	5,689	63,379	(1,942)	
22年度計	33,130	708	28,791	7,371	4,384	74,384	(1,804)	
23年度計	30,949	783	27,833	6,248	5,068	70,881	(1,691)	
24年度計	37,653	922	31,245	6,589	6,785	83,194	(2,441)	
25年度計	43,531	1,011	30,770	8,357	6,812	90,481	(2,472)	
26年度計	22,874	565	16,484	4,485	3,163	47,571	(1,271)	
27年度計	39,547	795	29,037	7,676	6,645	83,700	(1,676)	
28年度計	46,550	893	29,493	9,311	6,486	92,733	(1,921)	
29年度計	46,550	874	30,607	9,523	7,005	94,559	(1,767)	
30年度計	43,392	662	29,583	9,056	7,419	90,112	(2,017)	
元年度計	36,247	853	25,653	6,752	6,332	75,837	(1,281)	
2年度計	13,732	439	8,187	2,411	2,240	27,009	( 673)	
3年度計	17,469	695	12,548	3,085	2,673	36,470	( 684)	
4年度計	19,211	866	14,196	3,454	3,316	41,043	( 801)	
5年度計	28,848	734	21,615	5,143	5,831	62,171	( 745)	
6年度計	38,208	919	25,072	6,497	7,301	77,997	(1,006)	
4月	3,394	63	1,988	583	531	6,559	( 99)	
5月	3,290	68	2,436	459	610	6,863	( 67)	
6月	2,534	146	1,579	500	669	5,428	( 100)	
7月	3,582	66	2,700	602	654	7,604	( 58)	
8月	7,862	224	5,608	1,156	964	15,814	( 118)	
9月	3,416	43	1,298	536	854	6,147	( 70)	
10月	1,967	34	1,185	313	391	3,890	( 65)	
11月	2,268	62	3,474	368	758	6,930	( 114)	
12月	1,567	43	688	228	429	2,955	( 57)	
1月	2,396	49	891	399	386	4,121	( 81)	
2月	2,497	33	873	614	367	4,384	( 100)	
3月	3,435	88	2,352	739	688	7,302	( 77)	

(注意) (夜間プラネ) は夜間プラネタリウムの観覧者数で内数

入館者数



プラネタリウム観覧者数



(3) 入館料の状況

(単位：円)

区分	入館料	プラネ観覧料	《入館料計》	区分	入館料	プラネ観覧料	《入館料計》
12年度計	83,694,540	25,163,340	108,857,880	元年度計	70,059,680	21,365,510	91,425,190
13年度計	60,663,890	16,645,000	77,308,890	2年度計	24,568,450	7,955,020	32,523,470
14年度計	65,532,130	17,602,690	83,134,820	3年度計	33,528,730	10,433,550	43,962,280
15年度計	61,223,600	14,835,860	76,059,460	4年度計	46,632,080	11,691,730	58,323,810
16年度計	59,466,640	15,060,700	74,527,340	5年度計	55,821,840	17,516,190	73,338,030
17年度計	55,251,320	17,613,590	72,864,910	6年度計	75,481,140	22,538,020	98,019,160
18年度計	52,870,420	19,351,550	72,221,970	4月	8,503,970	2,001,690	10,505,660
19年度計	50,906,350	19,459,160	70,365,510	5月	8,089,680	1,968,970	10,058,650
20年度計	47,522,300	17,914,840	65,437,140	6月	4,628,545	1,495,805	6,124,350
21年度計	47,370,654	16,892,966	64,263,620	7月	6,431,795	2,183,695	8,615,490
22年度計	59,430,130	20,256,730	79,686,860	8月	14,815,720	4,780,240	19,595,960
23年度計	59,605,290	19,110,130	78,715,420	9月	6,271,045	1,865,955	8,137,000
24年度計	54,493,990	22,822,140	77,316,130	10月	3,730,385	1,122,935	4,853,320
25年度計	63,235,010	25,647,260	88,882,270	11月	4,620,810	1,509,370	6,130,180
26年度計	34,366,570	13,724,390	48,090,960	12月	2,691,025	869,475	3,560,500
27年度計	34,366,570	13,724,390	48,090,960	1月	3,794,150	1,306,830	5,100,980
28年度計	70,941,370	27,026,070	97,967,440	2月	4,394,050	1,367,830	5,761,880
29年度計	71,549,620	26,983,390	98,533,010	3月	7,509,965	2,065,225	9,575,190
30年度計	75,716,070	25,405,610	101,121,680				

## 5. 予 算

令和6年度 宇宙科学館予算総括表

(単位：円)

＜ 収 入 ＞		470,436,000	
1	県委託収入	340,856,000	
2	利用料金収入	87,420,000	
3	ミュージアムショップ収入(提案型事業)	38,610,000	
4	レストラン事業収入(提案型事業)	1,800,000	
5	科学教室参加料	1,550,000	
6	協力・協賛金等	0	
7	補助金収入	0	
8	雑収入	200,000	

＜ 支 出 ＞		470,436,000	
1	宇宙科学館人件費	131,138,000	
2	宇宙科学館管理費	114,400,000	
	(1) 賃金等	0	
	(2) 光熱水費	33,600,000	
	(3) 維持管理業務委託費	58,780,000	
	(4) 使用料徴収事務費	1,320,000	
	(5) 管理事務費	20,700,000	
3	宇宙科学館展示事業	125,270,000	
	(1) 常設展示事業	79,560,000	
	(2) 企画展示事業	20,500,000	
	(3) 天文台事業	1,840,000	
	(4) プラネタリウム事業	17,360,000	
	(5) ワークショップ事業	1,530,000	
	(6) 生態展示事業	600,000	
	(7) 調査研究事業	3,880,000	
4	宇宙科学館教育普及事業	1,470,000	
	(1) 科学教室講座事業	250,000	
	(2) 科学学習イベント事業	1,070,000	
	(3) 学校支援事業	150,000	
5	宇宙科学館情報提供事業	8,610,000	
	(1) 情報ネット運営費	8,210,000	
	(2) 図書室運営費	400,000	
6	宇宙科学館広報誘客事業	7,800,000	
	(1) 広報誘客事業	6,500,000	
	(2) リピーター対策費	1,300,000	
7	宇宙科学館サテライトスペース	30,544,000	
	(1) 敷金、賃料・管理料	11,600,000	
	(2) 管理運営業務	18,944,000	
8	提案型事業費(ショップ・レストラン)	33,504,000	
9	乃村・マベック本店経費	17,700,000	



## 第2章

# 事業の概要



# 1. 常設展示の運営

## 1. 常設展示

科学について、総合的かつ横断的な視点から構成したストーリー性のある展示となっている。内容については、普遍的な科学と地域の特色・独自性を融合させ、また年齢による理解度等に考慮して広い年齢層の人々が興味を持てるものとしている。

また、科学に関する理解をより一層深めていただくことを目的としたアテンダントによるガイドツアーを行った。

### ①展示アイテムの積極的な展開

展示物を積極的に活用し、来館者に満足していただける科学館活動を展開した。科学の面白さを体験していただくことで、子供から大人まで知的好奇心を刺激し、より効果的な科学館活動として展開した。

### ②プラネタリウムの周知および効果的な活用

プラネタリウム設備および投映番組についての情報を積極的に発信し、スタッフによる生解説を重視して設備を効果的に活用しながら利用者の拡充・拡大に努めた。

具体的には、天文分野において注目される事業を積極的に取り上げ発信し、県民の科学への興味を喚起した。また、天文・宇宙に関する番組投映だけでなく、講演会などのイベントなどにも広く活用した。

### ③コミュニケーションによる体験価値の向上

来館者とスタッフとの対話・交流を大切にして、来館者の興味を喚起し、展示体験価値の向上を図った。一方、展示を媒体として科学への理解につなげるため、ガイドツアーを実施し、来館者のサービスの向上を図った。

### ④安全・安心・快適な空間づくり

来館者の安全を守り、安心して利用していただけるように、保守点検およびメンテナンスを十分に行い、展示設備の維持管理に努めた。

### ⑤ガイドツアーとギャラリートークによる利用者満足度の向上

常設展示についてもガイドツアーやギャラリートーク等を組み合わせることで展示アイテムを効果的に活用することができる。館のスタッフによる展示に対する解説や説明で来館者満足度は大きく向上する。使い方、活用の方法を工夫することに努めて宇宙科学館の資源をより有効に活用した。

## 1-1. 宇宙発見ゾーン

宇宙発見ゾーンは、令和6年3月23日にリニューアルオープンした。

リニューアルのコンセプトは「宇宙へのはるかな旅～宇宙と人類の壮大なドラマ～」。

キーワードは「生命」。宇宙とは何か、宇宙のナゾを解明しようとする宇宙科学の視点と人類が宇宙へ挑戦する宇宙活動の視点を「生命」で繋ぎ、わたしたち「生命」がどこからきて、どこへ向かうのか、宇宙とどのように関わっていくのか、来館者が宇宙の新しい見方や宇宙とのつながりを知り、宇宙をより身近に感じられるよう、展示は5つのミッションで構成し、来館者の宇宙に対する期待感や知的好奇心を満たす時間と空間を提供している。

## 1-2. 地球発見ゾーン

ワークショップと一体となった魅力ある体験展示の提供や汎用型展示の活用

汎用型展示「電磁誘導テーブル」「風のテーブル」に設置している体験アイテムの更新を随時行った。

また、春の企画展「ビーコロ×スイッチ展」で製作・展示した「おえかきスイッチ」などや夏の企画展「カラフル」で製作・展示した「光の三原色」「ライトテーブル」「変化する絵」などを常設展示化し、企画展終了後も来館者に体験してもらえるようにした。

## 1-3. 佐賀発見ゾーン

地球と生命の歴史を、鉱物や岩石、化石を用いて紹介することで地球科学や古生物に対する興味を喚起するとともに、現在の佐賀の自然環境や生物相の特徴を標本や生体を用いて紹介することで、私たちの生活の基盤となる生物多様性への理解を促進するための展示を目指した。

### (1) 誕生石のピックアップ

鉱物への興味を喚起するために、月ごとに誕生石を紹介する展示を行った。

### (2) 阿蘇4火山灰を見てみよう！

佐賀県の各地にはおよそ9万年前に生じた阿蘇山噴火の火山灰を地層中に観察することができる。そこで、佐賀県内で見られる阿蘇4火山灰と鹿児島県の桜島の火山灰を観察するための顕微鏡を設置し、含まれる物質の違いを学ぶことができる展示を行った。

### (3) 里山のジオラマの活用

長い時間をかけて人々が自然と共生しながらつくりあげてきた自然環境である里山は、現在、急速に衰退し、そこに生息する生き物の多くが絶滅の危機に瀕している。そこで、当館の里山ジオラマを活用することで、里山環境の重要性を伝える展示を行った。

また、季節に応じて展示を随時、更新し、展示と野外との時間の経過を重ねることで、身近に存在する里山へ目を向けるためのきっかけとなることを目指した。

### (4) 佐賀県レッドリストの魚たち

これまで佐賀発見プラザで実施していた展示を、他の水槽で展示されている生物と絶滅危惧種の問題を関連付けて考えられるように、ゆめぎんがアクアリウム内に移設した。

#### 1-4. サイエンスサロン

椅子やテーブルを設置した来館者の休憩場所として確保されたエリアで、テーブル上では「佐賀人物ファイル」および「くらしの科学」、周囲のパーティションには「佐賀フロンティア」のテーマで科学・技術に関する情報パネルを掲示した。

##### ①佐賀フロンティア

明治維新の頃、日本の近代化に貢献した佐賀発の科学技術を紹介した。

##### ②佐賀七賢人

明治維新で多大な貢献を残した佐賀出身の人物を紹介した。

##### ③佐賀人物ファイル

佐賀ゆかりの人物で日本に貢献した科学者、技術者について紹介した。

#### 1-5. こどもの広場

こどもの広場は小学生未満のお子様とその保護者のみが利用できるゾーンで、室内には対象年齢にあったハンズオン展示物と知育玩具を備えている。また室内奥には、おむつ替えベッドならびに授乳室を備えている。

お子様と保護者が安心して楽しみながら科学に触れる機会を創出し、それらの展示物等を通して自然に親子間の会話が広がるワークショップや展示物の更新を行った。あわせて保護者向けのコラムなどを掲示し、お子様も、保護者も楽しめる空間づくりに努めた。

## 2. プラネタリウム

スタッフによる生解説を重視し、新システムを活用した短編番組も作成し、時間・空間を超えた星空の疑似体験を観覧者に提供した。またCDLのコンテンツは4月1日から投映可能だったが、子ども向け、ヒーリング、企画展関連映像の3作品を選択し、イベントや企画展などの開催に合わせてタイミングをずらして投映を開始した（令和7年3月31日投映期間終了）。さらにライブラリ番組としてキャラクター作品を導入、またオリジナル番組も制作した。

投映所要時間は引き続き、30分間の生解説投映または10分程度の解説と番組投映の40分間で対応した。土曜日は、「サタデーナイトプラネタリウム」と称した夜間のプラネタリウム投映も引き続き実施。30分間の投映の中で、季節の星座や見ごろの天体やそのときどきの天文現象や宇宙の話題を提供。天体観望会で観望予定の天体も紹介した。また、耳が聴こえにくい方等に対応した「字幕つきプラネタリウム」の投映も4回実施。さらに小さな子ども連れの方が気がねなく楽しめるよう、途中退場しても再入場可能な投映プログラム「はじめてのプラネタリウム」は毎週水曜日の1回目投映回（多客期間、団体予約がある場合は中止）に拡大して実施した。

コニカミノルタプラネタリウム(株)が現地で撮影したH3ロケット打ち上げの全天周映像の投映も星空解説の投映回で投映し、好評を博した。

### ①プラネタリウム番組

分類	番組名	投映開始日
ヒーリング番組 (CDL)	Seasons ～星降る水面～	令和6年4月27日～

CDLサブスクリプション3作品のうちの1つで、大人向けのヒーリング番組として、大型連休に合わせて投映開始。

..... あらすじ .....

木々の生い茂った滝から水が流れている風景の中、「森の語らい… 風のつぶやき…地球を巡る、水の歌声」…と斉藤壮馬さんの語りで始まります。さあ、水の語らいと、星々に包まれる特別な時間…シーズンズ。星降る水面へようこそ。今も、昔も、人々は星に魅了されてきました。星と星を結んで、想像して、描いて、伝わってきたもの。それが星座です。ここは、世界遺産「アンコール遺跡群」。「アンコール・ワット」で有名な地域です。栄華を極め、そして衰退していき、人々が去って残された遺跡は、時の流れに身を任せ、あるがままの存在として周囲の深い森と豊富な水とともに共存してきました。私たちが、今この瞬間に見上げている星空は、実際にはずっとずっと昔に光輝いた姿が、長い時間をかけて、やっと私たちの目の前に届いたもの…。同じ時代、同じ瞬間に、同じ空間に存在していることは奇跡の積み重ね…。巡りゆく星々の姿を一緒に感じてみましょう…。



(ナレーション) 斉藤壮馬

分類	番組名	放映開始日
幼児向け一般番組 (CDL)	あふりかぼれぼれ	令和6年6月23日～

CDL サブスクリプション3作品のうちの1つで、幼児向け番組として、放映。水にまつわる星座の紹介があるため、水フェスタの開始と合わせて放映開始。

…………… あらすじ ……………

テーマはアフリカの楽しい音と、にぎやかな星空。太陽と月はなんでお空にいるの？そんな楽しいお話がアフリカにありました。

太陽と月が空にいる理由と、楽しくてにぎやかな夜の星空を、アフリカに棲むおしゃべりで陽気なカメレオンがアフリカの楽しい音楽と一緒に、紹介します。

ジャンボ（こんにちは）！ぼれぼれ（ゆっくり、ゆっくり）、サワサワ（一緒に行こう）♪



(声の出演) 渡辺徹 / 小野洋子 (作画) hiichan  
 (脚本・演出) 田中知恵 (サウンドデザイン) ジャパン  
 (原案使用) 『たいようとつきはなぜそらにあるの』(ほるぷ出版)  
 (制作・監修) コニカミノルタプラネタリウム株式会社

分類	番組名	放映開始日
企画展関連番組 (CDL)	Into the Nature ～自然が教えてくれること～	令和6年7月13日～

CDL サブスクリプション3作品のうちの1つで、夏の企画展「カラフル」の関連番組として放映開始。

…………… あらすじ ……………

人類が北米大陸に足を踏み入れてからおよそ2万年。アラスカの原野、オレゴンの緑豊かな海岸線、古代渓谷、アパラチアン・トレイルなど、そこには大自然という名の美しい宝物が広がっています。アメリカの隠れた絶景をノンストップで巡る冒険の旅。3人の水先案内人と共に IMAX®カメラで撮影されたアメリカの美しい大自然を体験し学べるドキュメンタリーです。大迫力の臨場感をお楽しみください。



(ナレーション) 宇宙飛行士 野口聡一

分類	番組名	放映開始日
一般向け番組 (ライブラリ)	忍たま乱太郎の宇宙大冒険 with コズミックフロント☆NEXT ～宇宙の果てまで宝探し！の段～	令和7年3月15日～

幼児から大人まで広い世代で認知され人気のあるキャラクター「忍たま乱太郎」のプラネタリウム最新作を春休みに合わせて放映開始。

..... あらすじ .....

星空を眺めながら「あのキラキラを集めて大もうけしたい」と妄想を繰り返すきり丸。

そんなきり丸が発生させた波動で1台の宇宙船が不時着する。その宇宙船に乗っていたのは、宇宙の銀河や星をコレクションしているという「ユニ姫」。

きり丸のあふれる欲望のエネルギーを利用して、ユニ姫と3人は宇宙の果てを目指すことに！乱太郎たちは宇宙でお宝を見つけることができるのか!?



©尼子騒兵衛/NHK・NEP

© 尼子騒兵衛 /NHK・NEP 配給：D&D ピクチャーズ

分類	番組名	放映開始日
一般向け番組 (オリジナル番組)	星空を見上げて 【～地球をまもる星～】	制作中 令和7年4月26日～放映開始

オリジナル番組「星空を見上げて【～365日の星日記～】」の第2弾番組として制作。前作の設定を引き継ぎながら、「人工衛星」をテーマに展開。前作同様、小学生から大人を対象にした。

..... あらすじ .....

お父さんのすすめで、毎日午後9時の星空観測のお散歩を今日は2時間早めに出かけることに。いつもの公園に到着すると、夜空を横切るふしぎな光を発見！

夜空に輝くのは、星だけじゃない？！

(ナレーション) 土屋李央 / 武田華 / 平野賢佑  
(英語版ナレーション)

Kimberly Tierney/Jenny Skidmore/Peter von Gomm

(監修) 国立天文台 縣秀彦

(企画・原案) 佐賀県立宇宙科学館 (制作・配給) D&D ピクチャーズ



## ②夜間プラネタリウム「サタデーナイトプラネタリウム も〜っと星空散歩」

開催日時：毎週土曜日 18：00～18：30

月	実施日	テーマ	人数
4月	6日、13日、20日	しし座を見つけよう	99人
5月	11日、18日、25日	北斗七星と北極星を見つけよう	67人
6月	1日、8日、15日、22日、29日	雨夜の星を見つけよう	100人
7月	13日、20日、27日	さそり座と天の川を見つけよう	58人
8月	3日、24日、31日	夏の大三角を見つけよう	112人
9月	14日、21日、28日	中秋の名月を見よう	153人
10月	5日、12日、19日、26日	秋の四辺形と秋のひとつ星を見つけよう	65人
11月	2日、9日、16日、23日、30日	カシオペヤ座を見つけよう	114人
12月	7日、14日、21日	古代エチオピア王家の物語の星座を見つけよう	57人
1月	4日、11日、18日、25日	おうし座、すばるを見つけよう	109人
2月	1日、8日、15日、22日	オリオン座を見つけよう	100人
3月	1日、8日、15日、22日、29日	冬のダイヤモンドを見つけよう	130人
合 計			1164人

## ③字幕つきプラネタリウム

平成23年度より字幕付きのプラネタリウム放映を行っている。普段のプラネタリウムでは音声による案内しか対応していないが、「字幕つき星空散歩」では音声による星空の解説とともに、解説内容の一部を字幕として放映している。「Media Globe Σ SE2.4 KSEL（ユニカミノルタプラネタリウム社製）」等を活用して、星の名前や星座名を表示するほか、事前に話の要点を字幕として作成したものを放映した。

月	実施日	テーマ	人数
5月	25日	春の星座を楽しもう	38人
	26日		71人
9月	28日	夏の星座を楽しもう	19人
	29日		92人
11月	30日	秋の星座を楽しもう	25人
12月	1日		80人
1月	25日	冬の星座を楽しもう	49人
	26日		107人
合 計			481人

#### ④はじめてのプラネタリウム

途中退場しても再入場可能で、より小さな子ども連れの方が気がねなく楽しめる投映プログラム。令和5年度までは年4回の開催だけだったが、今年度から団体予約や多客期間以外の水曜日の第1回の実施と機会を増やして実施。スタッフによる10分間の星空解説と幼児向け番組【くるりんぱ@プラネタリウム～もののみかたはひとつじゃないよ～】の番組投映で対応した。なお、令和6年度のはじめてのプラネタリウムの投映は26回、188人の観覧者と0～3歳のチケットを持たない乳幼児15人の観覧があった。

### 3. 天文台

#### 昼夜の星空の魅力を、より多くの利用者に体験してもらう

毎週土曜日の夜に観望会を開催し、武雄市内の宿泊者や近隣住民はじめ多くの方に望遠鏡等で天体を観望していただく機会を提供した。また、天文教室や天文事象にあわせた特別の催事も企画し開催した（Ⅱ-4-3（4）天文祭、Ⅱ-5-1（4）天文教室参照）。当館の望遠鏡や双眼鏡を使って、天文ボランティアスタッフとともに、月、惑星、恒星、星団等それぞれの天体に最適な機材を活用して観望した。当日は18時に実施可否を判断し、館内掲示の他、HPやSNSなどで告知した。

また天体観望会だけでなく、開館中の来館者に向けて天体を観望していただく機会を提供。WS活動の「青空天文台」では、金属蒸着フィルターやH $\alpha$ フィルター、CaK線フィルターを装着した望遠鏡で見たカメラの映像の紹介、遮光板での太陽観察、20cm屈折望遠鏡を使った1等星や月、金星など昼間の観望を展開した（Ⅱ-5-2（2）WS活動 青空天文台参照）。

観望会やWS活動で見られる天体のスタンプラリー「星見たよ★スタンプラリー」を継続して実施した。

**開催期間：**令和6年4月6日～令和7年3月29日 毎週土曜日（晴天時）

**時 間：**3月～9月 20:00～21:30 10月～2月 19:00～20:30

受付は終了時間の30分前まで。

**会 場：**佐賀県立宇宙科学館 3階 天文台・展望デッキ・ステップギャラリー

**参加者数：**650人

実施日	主な観望天体	参加者数
令和6年4月6日	天候不良のため中止	—
4月13日	月	32人
4月20日	天候不良のため中止	—
4月27日	天候不良のため中止	—
5月4日	GWの混雑解消のため中止	—
5月11日	天候不良のため中止	—
5月18日	月、カストル	45人
5月25日	アークトゥルス、スピカ、カストル、スターリンク衛星	52人
6月1日	アークトゥルス、スピカ	68人
6月8日	天候不良のため中止	—
6月15日	天候不良のため中止	—
6月22日	天候不良のため中止	—
6月29日	天候不良のため中止	—
7月6日	天候不良のため中止	—
7月13日	天候不良のため中止	—
7月20日	月、アークトゥルス、スピカ、アンタレスアルビレオ、M7	26人
7月27日	ベガ、アークトゥルス、ミザール、M11	31人
8月3日	アークトゥルス、アンタレス、アルビレオ、ミザール M11、M57、M17	36人

実施日	主な観望天体	参加者数
8月10日	天候不良のため中止	—
8月17日	お盆休み混雑解消のため中止	—
8月24日	アルビレオ、星雲等	39人
8月31日	天候不良のため中止	—
9月7日	月、土星、アンタレス、アルビレオ、WWスター	48人
9月14日	天候不良のため中止	—
9月21日	天候不良のため中止	—
9月28日	土星、アンタレス、ベガ、アルタイル、アルビレオ M8、M27、M22	20人
10月5日	天候不良のため中止	—
10月12日	月、土星	40人
10月19日	天候不良のため中止	—
10月26日	天候不良のため中止	—
11月2日	月、木星、土星	32人
11月9日	天候不良のため中止	—
11月16日	月、土星	24人
11月23日	土星	25人
11月30日	木星、アルビレオ、M31、h- $\alpha$	32人
12月7日	天候不良のため中止	—
12月14日	天候不良のため中止	—
12月21日	天候不良のため中止	—
12月28日	天候不良のため中止	—
令和7年1月4日	月、金星、木星、土星	23人
1月11日	天候不良のため中止	—
1月18日	金星、木星、土星	10人
1月25日	金星、火星、木星、土星、天王星、海王星、M42	41人
2月1日	天候不良のため中止	—
2月8日	天候不良のため中止	—
2月15日	天候不良のため中止	—
2月22日	天候不良のため中止	—
3月1日	天候不良のため中止	—
3月8日	月、火星、木星、シリウス	26人
3月15日	天候不良のため中止	—
3月22日	火星、木星、シリウス、M42	—
3月29日	天候不良のため中止	—
合 計		650人

## 4. 企画展示の運営

### 4-1. 特別企画展

令和6年度は特別企画展を3回（春、夏、秋・冬）開催した。

#### (1) 春の企画展 ビーコロ×スイッチ展

開催期間：令和6年3月16日～5月6日

開催日数：51日（休館日5日含む）

会場：佐賀県立宇宙科学館1階 企画展示室、エントランスホール、わくわく広場、ガイダンス室

主催：佐賀県立宇宙科学館

展示協力：原田 和明・めぐみ

イベント協力：木のおもちゃ工房「あおむし」湯元桂二

観覧者数：総入館者数 67,339人／有料入館者数 66,438人／企画展観覧者数 65,680人

概要：一般にループ・ゴールドバーグマシンやからくり装置等として知られる仕掛けが連動して動いていく装置を、当館ではビー玉が転がって仕掛けが動くビー玉コロコロ装置、通称「ビーコロ装置」として展示した。来館者はビー玉を転がし、ビー玉の転がり方や装置の動きから、身近にひそむ物理の法則や現象を体感してもらった。10回目以降他のテーマとコラボレーションさせた企画展とした。第2弾として、スイッチをテーマに展示物を製作した。



展示構成：○ビーコロボックス（11点）

箱型のビーコロ装置。穴からビー玉を入れると、ゴールまで転がる。仕掛けのセットが不要なため、来館者は代わる代わる体験ができる。ビーコロボックスは「ぼくのがレージ」「けん玉ワールド」「僕の夏フェス」「ボウリング」「ビーコロポッチャ」「ビー玉落とし」「辰年」「B-CORO WORLD」「創造（プリント）された宇宙」「ビーコロ×プログラミング」の新作9点と旧作2点を展示した。

○ビーコロボックス・ミニ (8 点)

ビーコロボックスよりひと回り小さい箱型ビーコロ装置。スイッチをテーマに「巨大リレー」「ビー玉ドライブ」「にこうぶんぶ」「ピアノ」「巨大傾斜スイッチ」「ソレノイド」「赤外線スイッチ」「電材くんのおうち」の新作7点と旧作1点を展示した。

○ビーコロハイスクール (4 点)

県内の高校生にビーコロ装置を製作してもらい展示した。今回は佐賀西高等学校「開華祭り」、鳥栖高等学校「きのこファンタジーパーク」、武雄高等学校「Night Of Tokyo」、鹿島高等学校「海底の遊園地」の4校4点を展示した。

○LED 信号機

実際に道路で使用されている信号機の展示。スイッチを押して自由に点灯させることができる。

○スイッチパラダイス

「おみくじスイッチ」「人感スイッチ」「早押しスイッチ」「おえかきスイッチ」「スイッチの壁」「壁のスイッチ」「音のスイッチ」「プルスイッチ」「どれでもスイッチ」「光スイッチ」「コンソール操作卓」「ビジーボード」など200個を超えるたくさんのスイッチを展示した。

○ウイルススナイパー

原田氏製作のシューティングゲーム。赤外線を当ててウイルスを撃っていき点数を競う。

○レーザートラップとワイヤートラップ

レーザー光線を避けながら進むコーナー。赤外線スイッチを用いて当たり判定を行い、当たると赤いLEDの点灯とブザーが鳴って知らせる。また、ロープを何本も張って鈴を付け、ロープに当たらないように進むコーナーも設けた。

○コロピコ虫コーナー

薬用セルロースカプセルに鉄球を入れ、傾斜を転がすと虫のような奇妙な動きをする「コロピコ虫」のカプセルトイによる販売コーナーを設けた。また、カプセルを回収するための「ガチャガチャ回収BOX」を製作し、設置した。

材 料 費：100 円

材料の内容：セルロースカプセル（ホワイト）2 個、（透明）1 個、鉄球 2 個

売 上 個 数：3,592 個



ビーコロ×スイッチ展エントランス



企画展示室



ビーコロ BOX ミニ



ビーコロハイスクール



信号機



スイッチの壁



スイッチ各種



レーザートラップ



おもちゃ広場



ウイルススナイパー

(2) 夏の企画展 **カラフル 色の不思議のサイエンス**

開催期間：令和6年7月13日（土）～9月1日（日）

開館時間：平日 9:15-17:15 土・日・祝 9:15-18:00, 7月20日（日）～9月1日（日） 9:15-18:00  
 ※8月29日（午後）、8月30日（終日） 台風接近のため臨時休館

期間中の休館日：令和6年7月16日

協力機関：一般社団法人 有田観光協会・岡山大学 工学部 化学・生命系 環境非晶質材料科学研究室・久留米市鳥類センター・佐賀県窯業技術センター・タカラサプライコミュニケーションズ株式会社・東京工芸大学 色の国際科学芸術研究センター・東京工芸大学インタラクティブメディア学科ソフトウェアデザイン研究室・株式会社トンボ鉛筆・日本山村硝子株式会社・松本染工店・遊学舎 武雄こども園・西九州大学子ども学部子ども学科 准教授 新井馨・恐竜くん（田中真士）・山口大志・ヤマザキミノリ（順不同）

観覧料：常設展示観覧料のみ

入館者実績：総入館者数：71,747人 / 入館観覧者数：70,604人 / 企画展観覧者数：69,873人



## 1. 色の不思議

### 1-1. 色の不思議

解説パネル：色は光、見える色（可視光線）、色を感じる（色覚）、カラーユニバーサルデザイン  
（監修：タカラサプライコミュニケーションズ株式会社）、偏光

展 示 物：光の三原色、ライトテーブル、カラフルシャドウ、有田焼万華鏡、変化する絵、カラー写真、偏光

### 1-2. カラフル巨大迷路 7 × 13m の巨大迷路を制作

### 1-3. ヤマザキミノリの部屋

女子美術大学名誉教授のヤマザキミノリ氏が制作した作品の一部を紹介。

展 示 協 力：ヤマザキミノリ氏

## 2. 自然は色にあふれている

### 2-1. 山口大志氏 写真展示

展 示 物：写真パネル9点

### 2-2. 色とりどりの魚たち

解説パネル：

生 体 展 示：(1200mm 水槽：カクレクマノミ、デバスズメダイ、ルリスズメダイなど)

### 2-3. 構造色

解説パネル：モルフォチョウの仲間、タマムシの仲間、トンボの仲間、ニジイロクワガタ、パプアキンイロクワガタ、カージナルテトラ

展 示 物：虹色のチョコレート（映像含む）、標本展示（アワビ [殻]、鳥の羽根、モルフォチョウ9種9点、タマムシ14種14点、トンボ2種8点、カナブン1種120点）、生体展示（ニジイロクワガタ、パプアキンイロクワガタ、カージナルテトラ）

### 2-4. 隠蔽色

解説パネル：周りに溶け込む隠蔽色、コノハチョウの秘密、花や枯葉にはご用心、まさに「木の葉虫」、自分と同じ色の場所へ、危険を知らせる警告色、きれいなチョウには毒がある、黄色と黒色の縞模様、ウミウシの仲間、ヤドクガエルの仲間

展 示 物：標本展示（コノハチョウ1種2点、ハナカマキリ1種2点、マルムネカレハカマキリ1種1点、オオカレエダカマキリ1種1点、コノハムシ類2種3点、トノサマバッタ（緑色）1種2点、トノサマバッタ（褐色）1種2点）、生体展示（モエビ類、クモガニ類、ウミナメクジ、ヨウジウオ類、タツノオトシゴ類、マダコ、ミツヅノコノハガエル、ウミウシ類、ヤドクガエル類）

### 2-5. 危険を知らせる警告色

解説パネル：危険を知らせる警告色、きれいなチョウには毒がある、黄色と黒色の縞模様、ウミウシの仲間、ヤドクガエルの仲間

展 示 物：標本展示（ジャコウアゲハ1種1点、ベニモンアゲハ1種1点、オナガアゲハ1種1点、カバマダラ1種1点、スジグロカバマダラ1種1点、メスアカムラサキ1種1点、アサギマダラ1種1点、カバシタゴマダラ1種1点、オオスズメバチ1種1点、キイロスズメバチ1種1点、コガタスズメバチ1種1点、モンズズメバチ1種1点、キアシナガバチ1種1点、アカウシアブ1種1点、シロスジナガハナアブ1種1点、オオイシアブ1種1点）、生体展示（ウミウシ類、ヤドクガエル類）

#### 2-6. 発光生物

展 示 物：映像

#### 2-7. モテる色

解説パネル：トンボのモテる作戦

展 示 物：標本展示（ミヤマカワトンボ1種3点、アサヒナカワトンボ1種7点）、羽毛展示（インドクジャク、セイラン、キンケイ:展示協力:久留米市鳥類センター）、生体展示（ニッポンバラタナゴ）、映像展示（展示協力:久留米市鳥類センター）

#### 2-8. 色を集める ～光合成～

解説パネル：色を集める ～光合成～

展 示 物：生体展示（タコクラゲ）

#### 2-9. 動物の色覚

解説パネル：動物の色覚

展 示 物：デジタルコンテンツ

展 示 協 力：東京工芸大学 色の国際科学芸術研究センター、東京工芸大学インタラクティブメディア学科ソフトウェアデザイン研究室

#### 2-10. 化石の色

解説パネル：化石の色、シノサウロプテリクス、アーケオプテリクス（始祖鳥）、アンキオルニス（イラスト提供：恐竜くん（田中真士））

展 示 物：化石レプリカ（シノサウロプテリクス、アーケオプテリクス（始祖鳥）、アンキオルニス）

#### 2-11. 色を染める

解説パネル：色を染める、染色家に聞いてみました

展 示 物：草木染（紫根、セイヨウアカネ、ヨモギ、ヤマモモ、キハダ、クチナシ）、顔料（6点：赤、オレンジ、黄、緑、青、紫）

展 示 協 力：松本染色店

#### 2-12. 大地の活動が生み出す色

解説パネル：大地の活動が生み出す色、アメシスト、遷移元素、原子軌道、色がついて見えるのは

展 示 物：鉱物標本（アメシスト、自然銅、黄銅鉱、辰砂、黄鉄鉱、サラバウ鉱、カリ岩塩、セ

ラライト、蛍石、アタカマ鉱、ディアボレライト、赤銅鉱、紅亜鉛鉱、スピネル、紅水晶、アベンチュリン、ルチル含有石英、黄水晶、虎目石、クリソプレーズ、瑪瑙、血石、金紅石、テルル石、藍銅鉱、孔雀石、ザラテ石、スティヒタイト、プロシャン銅鉱、クレーンカイト、コバルト華、灰簾石（桃簾石）、翠銅鉱、クロム白雲母、方ソーダ石、青金石）、元素標本（スカンジウム、チタン、バナジウム、クロム、マンガン、鉄、コバルト、ニッケル、銅）、電子雲 3 次元ガラス彫刻模型（s 軌道、p 軌道、d 軌道）

### 3. 色を創る

#### 3-1. やきものの色を生み出す

解説パネル：やきものの色を生み出す（写真提供：一般社団法人 有田観光協会）、ガラスってどんな物質？（監修：岡山大学 工学部 化学・生命系 環境非晶質材料科学研究室）

展 示 物：大皿&立体色見本& iroe アプリ（展示協力：佐賀県窯業技術センター）、カラーガラスサンプル&ガラスチップ（展示協力：日本山村硝子）

#### 3-2. 蛍光と燐光

解説パネル：蛍光と燐光

展 示 物：鉱物標本（蛋白石（変化：Hyalite）、柱石器、ハックマン石、蛍石）、蛍光ペン、洗濯用洗剤、蓄光星座グラス

#### 3-3. 炎色反応

解説パネル：炎色反応

展 示 物：映像

#### 3-4. プラズマボールと LED

解説パネル：プラズマボールと LED

展 示 物：プラズマボール

#### 3-5. 量子ドット

解説パネル：量子ドット

展 示 物：量子ドット採用モニター

#### 3-6. クロミズム

解説パネル：クロミズム

展 示 物：サーモクロミズム、フォトクロミズム

#### 3-7. pH 指示薬の色変化

解説パネル：pH 指示薬の色変化

#### 3-8. 色を持つ有機化合物の分子構造

解説パネル：色を持つ有機化合物の分子構造

#### 4. 空の色、宇宙からの色、宇宙の色

##### 4-1. 宇宙からの地球の色

解説パネル：宇宙からの地球の色、しきさい

展 示 物：映像（展示協力：JAXA）

##### 4-2. 空の色

解説パネル：レイリー散乱

展 示 物：実験装置

##### 4-3. 大型星図

解説パネル：星はカラフル

展 示 物：大型星図（1,800 × 1,800mm）

##### 4-4. 日本の伝統色

解説パネル：日本の伝統色

展 示 物：デジタルコンテンツ

##### 4-5. 星雲

展 示 物：映像スライド（プロジェクター使用）

スクリーン：（1,800 × 1,800mm）

#### 5. エピローグ

解説パネル：エピローグ

展 示 物：映像コンテンツ

#### 6. コラボ展示

「SSSM STEAM PROJECT」の一環として、アートとサイエンスのコラボレーションをテーマに、西九州大学 新井馨 准教授と武雄こども園の園児らによるオブジェ制作を行い、完成した作品を展示

制作期間：令和6年5月～7月

設 営：令和6年7月19日

展示期間：令和6年7月20日～9月1日

#### 特別イベント

令和6年7月15日 ① 10:30～ ② 13:30～

英語でギャラリートーク

武雄市のインバウンド対策強化を受け、アイルランドの高校生2人のギャラリートークを実施  
（演者：クリーナ・ジャクソンさん、サヤコ・オドンネルさん）

## イベント

令和6年7月14日(日) 13:00～15:00

ぐるぐる絵具で遊ぼう

対象：小学生以上、定員 25人、参加費：500円、要予約

講師：西九州大学 新井馨氏

実績：豪雨のため中止

令和6年7月27日(土)・28日(日) ①10:00～12:00, ②14:00～16:00

カラフルな宇宙をイメージした

オリジナル立方体万華鏡づくり

対象：小学生以上、定員 12組、参加費：1,200円

実施場所：ガイダンス室、要予約

講師：ヤマザキミノリ氏

実績：7月27日(土) ①11組17個 ②10組15個  
28日(日) ①12組15個 ②11組18個

令和6年7月28日(日) 13:00～15:00

色のカーテン - ストロービーズを使って -

対象：小学生以上、定員 20人、参加費：100円

実施場所：サイエンスサロン、要予約

講師：西九州大学 新井馨氏

実績：17人(付添20人)

令和6年8月3日(土) ①11:00～11:45, ②14:00～14:45

カラーサンド・アクアリウムをつくろう

対象：小学生以上、定員 25人、参加費：800円

実施場所：サイエンスサロン、要予約

講師：島川理子氏

実績：①22人(付添20人) ②22人(付添26人)

令和6年8月4日(日) ①11:00～12:00 ②13:30～14:30

パステル・アートに挑戦しよう!

対象：小学生以上、定員 8組、参加費：400円

実施場所：サイエンスサロン、要予約

講師：伊藤加奈子氏

実績：①12人(付添12人) ②14人(付添11人)

令和6年8月10日(土) 19:00～20:15

夜の「カラフル」を楽しもう

対象：小学生以上、定員 30人、参加費：500円、要予約

実績：29人

令和6年9月1日(日) ① 11:00～12:00 ② 13:30～14:30

染料で染め物アートに挑戦しよう!

対 象:小学生以上、定員 10人、参加費:500円

実 施 場 所:科学実験室、要予約

講 師:松本染工展 松本直久氏

実 績:① 11人(付添6人) ② 12人(付添7人)

毎日 営業中常時

カラフル・スタンプラリー

カラフルなスタンプを重ね押してイラストを完成させる体験

参 加 費:無料

実 績:約22,000人

令和6年7月13日(土)～8月31日(土) 9:30～17:00

自然色のぬり絵体験 協力:株式会社トンボ鉛筆

自然色の色鉛筆を使った塗り絵体験

参 加 費:100円

実 績:2,837人(付添2,362人)

令和6年8月10日(土)～8月18日(日) ① 11:00～12:00 ② 14:00～16:00

ケイソウ マグネット作り

ケイソウをモチーフにしたスタンプを用いて、オリジナルのマグネットをデザインする体験

参 加 費:200円

実 績:2,282人(付添1,457人)

令和6年8月1日(木)～9月1日(日) 開館時間中常時

カラフルARクイズラリー

ヒントをもとに、カラフルなゆめぎんが★ウーたんのエンブレムを探し出す体験

参 加 費:無料

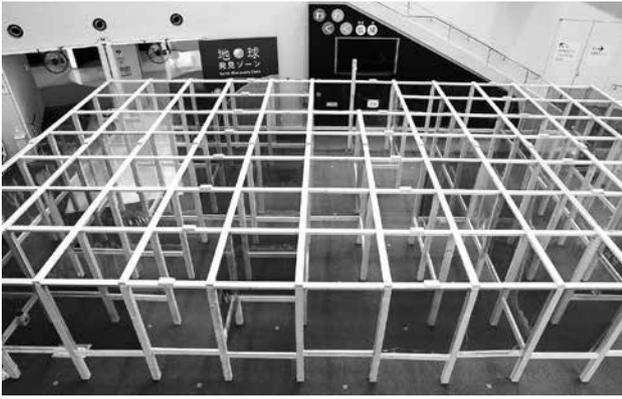
実 績:543人



エントランスホール



企画展示室



カラフル巨大迷路



ヤマザキミノリの部屋



自然は色にあふれている（山口大志氏作品）



色とりどりの魚たち



コラボ展示



カラフル・スタンプラリー

### (3) 佐賀県立宇宙科学館《ゆめぎんが》2024 秋の企画展

#### 「デジタル×スポーツ展」 開催報告

開催期間：令和6年10月19日（土）～12月8日（日）

開催日数：51日間、うち開館日は44日

会場：佐賀県立宇宙科学館 1階 企画展示室 および わくわく広場

主催：佐賀県立宇宙科学館

展示協力：ライトプレーン合同会社、デジタルトイボックス株式会社

来場者数：28,425人

概要：令和6年10月に佐賀県で開催された「SAGA2024 国スポ・全障スポ」に合わせて、スポーツをテーマに企画。キャッチコピーは「スポーツの秋を《ゆめぎんが》で楽しもう！」。デジタル技術を使った体験型のアイテムやスタッフが製作したアスレチック遊具などを展開、宇宙科学館をスポーツパークに変え、こどもから大人まで体を動かして楽しむ企画展になった。

#### 展示構成：

##### I. 「スーパーはんぷくよことび」

デジタルスポーツミュージアムの反復横跳びがテーマの作品。

スタート位置に立つとスタート。20秒間で、どれだけ反復横跳びができるかを記録で競い合う。また反復横跳びを繰り返すほど、映像に影の残像が残り、残像拳のような体験が可能で見る側も楽しめる展示。

##### II. 「からてふぁいと」

デジタルスポーツミュージアムのカラテがテーマの作品。

ゲームのキャラクターと格闘ゲームのようにカラテで戦う。どちらかのパワーメーターが0になるか、60秒のタイムアップでゲーム終了。点数表示もあり、ランキング表も表示される、体験者も見る側も白熱する展示。

##### III. 「ウーたん 10m 走」

デジタルスポーツミュージアムの実際走って記録を目指す10m走がテーマの作品。

10mを走り切ってキャラクターと競争するデジタルアトラクション。レベル切り替えボタンでレベルを選び、競争する。スタートとゴールでボタンを押し、タイムを競う展示。本企画展のため、当館の「ゆめぎんが★ウーたん」と競争できるよう、キャラクターをカスタマイズした。

##### IV. おうちでデジスポ「スクワットトライアル」

20秒間にできたスクワットの回数を競うチャレンジゲーム。

初心者でもブロックの組み合わせながら簡単にプログラムを実行できる「Scratch」と、分類などの機械学習モデルを簡単に作成できる「Google Teach Machine」を使って、身近なデバイスを使って「デジ×スポ」の制作例を紹介したスタッフ制作の展示。

##### V. 「垂直飛び」どの高さまで飛べるかな？

壁に並んだスイッチをジャンプして押すとリレータイマーで8秒間ランプが点灯する仕組み。体験者もどれくらいの高さまで飛んだのか見てわかるスタッフ制作の展示。

## VI. アスレチック遊具

夏の企画展「カラフル展」の巨大迷路の木材を再利用した、スタッフ制作の温かみのあるアスレチック遊具をわくわく広場に展開。すべり台やうんてい、クライミングなど、小学生以下の子どもを対象にした遊具を制作。足つぼロードはおとなも楽しめる。

対象年齢 右側 6～12歳 左側 4～6歳

必ず保護者の監視下で体験してもらうことを徹底し、各遊具についての注意事項は掲示した。安全面には特に配慮し、傷害保険に加入し万全を期して展示した。

### 関連イベント：

#### 1) アキラボーイとタヌキチクンのデジタルショー

実施日時：令和6年10月27日（日） 13:30～14:30

会場：佐賀県立宇宙科学館 1階 内テラス

自由観覧 ※常設展示観覧料必要

参加者数：のべ148人

アキラボーイは、漫才師であり今回展示したデジタルスポーツミュージアム作品の発案者。日本で初めてプロジェクターの映像との融合芸を発案したデジタル芸のパイオニアで最新技術をネタに組み込んだデジタルショーは参加者を巻き込んで展開する。幼児からおとなまで年代別に参加者をステージにあげて演出に参加させるなど、会場に一体感が生まれ、盛り上がった。ショーの最後に参加者にはステッカーのプレゼントも。

#### 2) 大型熱気球を飛ばそう 後援：宇宙航空研究開発機構

実施日時：令和6年11月3日（日・祝）、11月4日（月・休）

① 10:15～11:00（未就学児を含む親子）

② 14:45～16:00（小学生以上の親子）

会場：佐賀県立宇宙科学館 1階 ガイダンス室他

当日受付 各回30人 無料 ※常設展示観覧料必要

参加者数：11月3日 ①11組44人、②9組23人

11月4日 ①11組34人、②10組27人 計128人

当館ではインターナショナルバルーンフェスタの時期にあわせて、「大型熱気球をとばそう」を開催している。今年は企画展の関連イベントとして実施。熱気球はなぜ飛ぶのかを考え、実際にポリ袋を使った気球をグループごとに協力しながら作成し飛ばした。午前の部①は幼児向けとし球皮に絵を描くところから始め、午後の部②は球皮作成から行った。各回4機ずつ作成した。

今年はバルーンフェスタが天候不良により中止になったためか、多くが県外からの参加となった。

記録写真：



「デジタル×スポーツ展」入口タイトルサインはフォトスポットとして活用



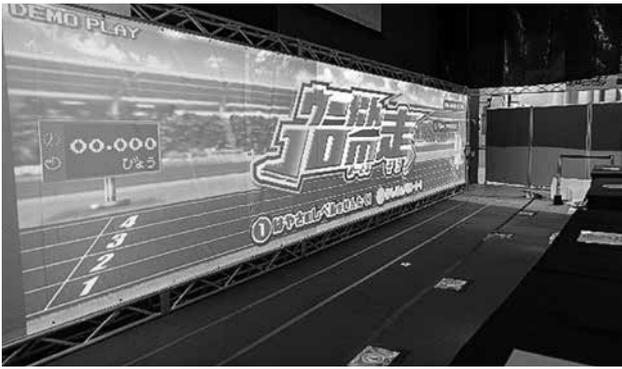
I . スーパーはんぷくよことび



II . からてふあいと



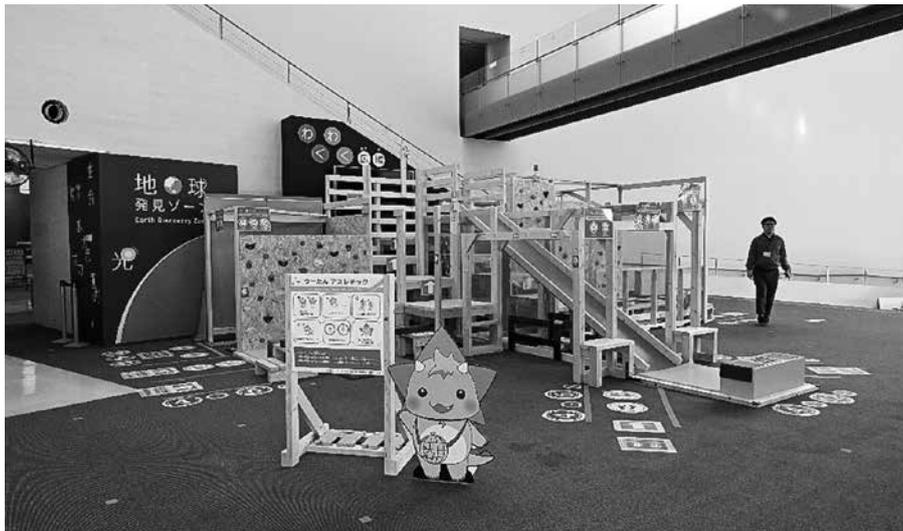
V . 垂直飛び



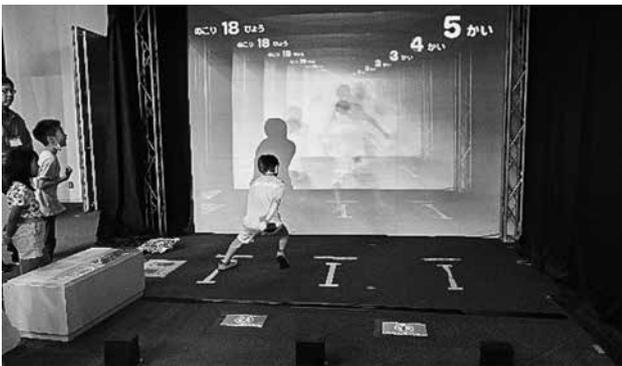
Ⅲ. ウーたん 10m 走



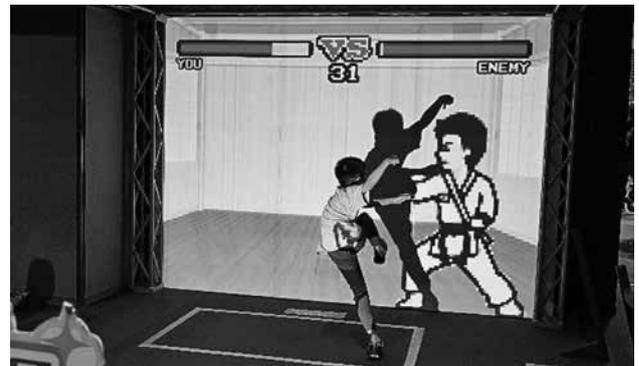
Ⅳ. おうちでデジスポ



Ⅵ. アスレチック遊具



体験の様子 はんぷくよことび



体験の様子 からてふあいと



体験の様子 ウーたん 10m 走



体験の様子 スクワットトライアル

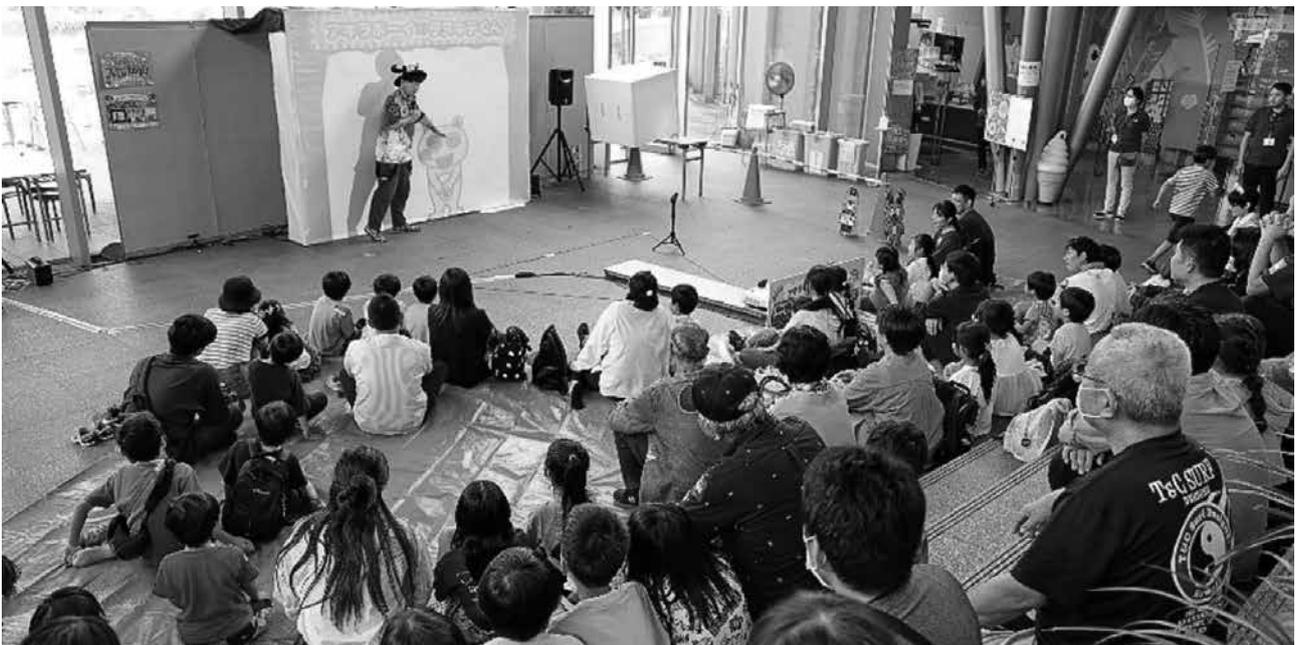


体験の様子 垂直飛び



体験の様子 アスレチック遊具

イベントの様子



「デジタル×スポーツ展」 入口タイトルサインはフォトスポットとして活用



大型熱気球をとぼそう

#### (4)「水フェスタ」開催報告

期 間：令和6年6月8日（土）～令和6年6月23日（日）

会 場：佐賀県立宇宙科学館

1F ガイダンス室 および 企画展示室、エントランス

主 催：佐賀県立宇宙科学館

展示協力：NTT アドバンステクノロジー㈱

企画制作：佐賀県立宇宙科学館

出 展 数：展示物 約15点

概 要：急速な社会の変化によって多様な課題が生じている世界で、様々な情報を活用しながら課題の発見・解決や、社会的な価値を創造する資質・能力の育成が求められています。それを実現するために、教科横断的な学習が注目され、国内をはじめとして世界各国で導入が進められている。

当館では研究交流グループの組織が一本化されました。令和6年度は、これまで物・化・生・地の単独で行われることが多かった事業を融合し、新たな価値観を創造するため

**水がテーマの 科学の祭典**

**水フェスタ AQUA FESTA 2024 6/8 SAT - 23 SUN**

**EVENT MENU イベントメニュー**

EVERYDAY 毎日 9:00-18:00	WEEKEND 土日 9:00-18:00	SPECIAL 特別
AR クイズラリー 11:00-13:00 14:30-16:30 21:00-23:00	巨額な 長水の力を体験しよう! 11:00-13:00 14:30-16:30 21:00-23:00	水辺の生き物を観察しよう! 11:00-13:00 14:30-16:30 21:00-23:00
パイカラーボトルを つくろう! 11:00-13:00 14:30-16:30 21:00-23:00	シャボン玉 実験ショー 11:00-13:00 14:30-16:30 21:00-23:00	水辺いきものトーク 11:00-13:00 14:30-16:30 21:00-23:00
EXHIBITION 企画展示 水のふしぎ体験ブース 11:00-13:00 14:30-16:30 21:00-23:00	宇宙発見ゾーンがリニューアル! 「ゆめさんか」が楽しく生まれ変わりました! 11:00-13:00 14:30-16:30 21:00-23:00	サタデーナイトプログラム 水フェスタ特別編 11:00-13:00 14:30-16:30 21:00-23:00

に、フェスタ事業を立ち上げた。

6月は、水をテーマに開催。水は、私たちの生活の中にあふれている物質でありながら、特異な物性を持つことはあまり注目されない。本イベントでは、体験を通して水への理解を高めるとともに、昨今の気象の変化に地球圏での水の動きが大きな影響を持つことを紹介し、地球環境に興味を持つきっかけとなるような展示、ワークショップを展開した。

#### 企画構成：1) 1F エントランス

水の基本的な情報をパネルで展示

○水 なじみ深いけど特殊な物質

- ・水の正体
- ・水の惑星「地球」
- ・生命を育んだ水

○水の不思議な性質

- ・モノを溶かす力
- ・表面張力
- ・氷になると軽くなる
- ・気化熱

水の不思議を体験できる装置を展示

- ・浮沈し（浮沈子たれ瓶キャッチャー）
- ・求心力による水流の落下（トルネードボトル）
- ・浮力（沈むボール）

地球環境と水の関係のパネル

○水循環について

- ・豪雨と干ばつ
- ・地球上の水の移動

#### 展示物

説明パネル 4枚

体験装置 3個

ヤドカリの展示 佐賀県の潮間帯で見られるヤドカリの紹介パネル

○ヤドカリの不思議

- ・ヤドカリの形態・生態の基本情報

○ヤドカリの生体展示

- ・ユビナガホンヤドカリ
- ・テナガツノヤドカリ

### 展示物

- ・ヤドカリ生体展示用水槽 2 個
- ・ヤドカリ生態の紹介パネル 2 枚

## 2) ワークショップ (1F 実験室、2F ガイダンス室、野外の三か所で展開)

### 2F ガイダンス室

撥水をテーマにしたワークショップを展開

NTT アドバンステクノロジーの超撥水材料 HIREC® (ハイレック) を使用した撥水加工を施したツールによるワークショップ。

- 撥水迷路 2 つ・・・アクリル製迷路の壁面に超撥水材料 HIREC® を塗布。

水滴の動きを観察、撥水を実感。

- 撥水茶こし 1 つ・・・水がすくえる茶こし。

茶こしの網に超撥水材料 HIREC® を塗布。

- HIREC カタログ 20 部

- NTT アドバンステクノロジー会社案内 1 部

- HIREC 説明用壁掛けタペストリー

- 撥水アメンボ・・・紙で作ったアメンボの模型の足先に超撥水材料 HIREC® を塗布。

紙製の模型が水面に浮く様子を観察。

ミュージアムショップで販売中の撥水に関連した教材の展示

- ねるサラ サンド・・・通常はさらさらの砂の状態、水にさらされると水に囲まれ塊になる。

水と混ざりにくい (疎水性の高い)

二酸化ケイ素粒子

### 展示物

- ・各ワークショップの説明パネル 計 5 枚
- ・体験装置 4 個

## 野外

### 水の生き物観察会 (野外)

宇宙科学館周辺の小川で水生生物の採集観察を行い、身近な水辺環境の役割とその重要性を解説した。

## 実験教室

### 1F 実験室

水溶液の比重の違いからバイカラーボトル

8 日間で参加者数 27 人

## プラネタリウム

新番組：あふりかぼればれ

テーマ

アフリカの楽しい音と、にぎやかな星空。

太陽と月はなんでお空にいるの？

そんな楽しいアフリカの話。

## サタデーナイトプラネタリウム

テーマ

水に関係した星座、その起源を紹介。

ギリシャ神話とは異なる中東チグリス川、ユーフラテス川流域で発祥した星座について。

### (5) 佐賀県立宇宙科学館《ゆめぎんが》2024

プラネタリウム 100 周年記念事業 公認企画「ソラフェスタ」

開催期間：令和 6 年 9 月 7 日（土）～令和 6 年 9 月 23 日（月・休）

開催日数：17 日間、うち開館日は 15 日

会場：佐賀県立宇宙科学館 1 階エントランス前 他

主催：佐賀県立宇宙科学館

イベント参加者数：1,216 人

概要：「空や宇宙のイベントを通して、わたしたちの地球環境を考えよう」をコンセプトに、1 階エントランス前に「ソラ」に関する簡単な展示エリアと、期間中の週末を中心に「ソラ」に関するイベントの 2 軸構成で展開した。本展および関連イベントはプラネタリウム 100 周年記念事業公認企画である。



「ソラフェスタ」ポスター

## ■ 展示構成 ■

### 1) 「光る星図」

(内容)

大きさ 180 cm×180 cmの夏の星空（恒星時 18:30）で、1等星6個は個別に星の色と明るさに合わせて光るボタンを設置、2等星から4等星は光ファイバー径の違いで明るさを変化させた。（夏企画展「カラフル」にて制作・再展示）

### 2) 「夕焼けを再現！レイリー散乱の実験」

(内容)

水と床用ワックス剤を混ぜたボトルに横からライトを当てると、青い光は先に散乱され、ライトから遠いボトルには散乱されずに残った赤い光だけが届く現象を自由に観察・体験できる実験装置を展示した。（夏企画展「カラフル」にて制作・再展示）

### 3) 「3Dプリンタでつくる 宇宙で働く人工衛星」

(内容)

3Dプリンタで100分の1サイズの人工衛星をプリントし、その特徴や仕事を紹介したパネルと共に展示した。

- ・水循環変動観測衛星「しずく」（3D model created by Kimura）
- ・全球降水観測計画「GPM」主衛星（3D model created by Kimura）
- ・雲エアロゾル放射ミッション「EarthCARE」（3D model created by kizta）
- ・先進レーダ衛星「だいち4号」（3D model created by Kimura）

### 4) 「SORA-Q 展示」

(内容)

「SORA-Q Thank you アンバサダー」として世界最小月面ロボット SORA-Q の認知活動を行うため、SORA-Q のフラグシップモデルを展示した。また 3D プリンタで作成した 10 分の 1 サイズ小型月着陸実証機「SLIM」もあわせて展示した。

## ■ イベント ■

### 1) 爆笑！星兄のプラネタリウムショー 2024

実施日時：令和6年9月7日（土） 12:00～12:45、14:30～15:15、17:30～18:15

参加者数：275人

ゲスト：田端英樹氏（STAR BRO.）

### 2) サイエンス教室「レンズ磨き教室」

実施日時：令和6年9月8日（日）、22日（日・祝） 10:00～10:45

参加者数：22人

### 3) SORA-Q 操作体験会（SORA-Q アンバサダー企画）

実施日時：令和6年9月8日（日） 14:00～15:00、14日（土） 15:30～16:00

16日（月・祝） 14:00～15:00、23日（月・休） 14:00～15:00

参加者数：74人

4) 宇宙の日講演会 2024 「おもちゃの力で宇宙をもっと身近に」

実施日時：令和6年9月14日（土） 14:00～15:30

参加者数：55人

講師：赤木謙介氏（株式会社タカラトミー SORA-Qプロジェクトリーダー）

5) サイエンス教室「中秋の名月」

実施日時：令和6年9月15日（日・祝） 18:30～19:50

参加者数：54人 ※裏千家関係者向け茶会参加者、学芸員実習生含む

協力：茶道裏千家淡交会佐賀青年部

6) 天文祭 2024 ～Star Festival～

実施日時：令和6年9月21日（土） 14:30～19:00 ※天候不良により大観望会中止

参加者数：200人

協力：佐賀・福岡・長崎の天文愛好家のみなさま

7) EarthCARE 衛星 “はくりゅう” ついに宇宙へ！

～4つの「目」でみる雲・エアロゾルと、温暖化する地球の未来～

実施日時：令和6年9月22日（日・祝） 14:00～15:45

参加者数：167人

講師：蘭幸太郎氏（JAXA 第一宇宙技術部門衛星利用運用センター研究開発員）

8) 工作ワークショップ「エアシューター」

実施日時：令和6年9月7日（土）～23日（月・休）の土・日・祝 11:00～、14:00～

参加者数：164人

9) 実験ワークショップ「日光写真」

実施日時：令和6年9月7日（土）～23日（月・休）の土・日・祝 11:30～、14:30～

参加者数：125人

10) 青空天文台「金星」を見よう！

実施日時：令和6年9月7日（土）～23日（月・休）の晴天時 10:00～、16:30～

参加者数：80人

■ 記録写真 ■

会場の様子



エントランス前 展示全景



ソラフェスタイベントポスター



光る星図



夕焼けを再現！レイリー散乱の実験



宇宙で働く人工衛星



SLIM の 3D 模型と SORA-Q フラッグシップモデル  
(SLIM @space\_crafts\_102945  
<https://www.printables.com/model/530596-smart-lander-for-investigating-moon-slim-120-model>)

イベントの様子



爆笑！星兄のプラネタリウムショー 2024



SORA-Q 操作体験会



宇宙の日講演会 2024  
「おもちゃの力で宇宙をもっと身近に」



サイエンス教室「中秋の名月」  
(天候不良のため屋内で実施)



天文祭 2024 ～ Star Festival ～



EarthCARE 衛星“はくりゅう” ついに宇宙へ！



工作ワークショップ「エアシューター」



実験ワークショップ「日光写真」

## (6)「電気フェスタ」開催報告

期 間：令和6年12月21日（土）～令和7年1月13日（月・祝）

会 場：佐賀県立宇宙科学館

エントランスおよび各ワークショップ会場

主 催：佐賀県立宇宙科学館

企 画：佐賀県立宇宙科学館

概 要：

急速な社会の変化によって多様な課題が生じている世界で、様々な情報を活用しながら課題の発見・解決や、社会的な価値を創造する資質・能力の育成が求められている。それを実現するために、教科横断的な学習が注目され、国内をはじめとして世界各国で導入が進められている。

当館では研究交流グループの組織が一本化された。令和6年度から、これまで理科の各分野で行われることが多かった事業を融合し、新たな価値観を創造するために、フェスタ事業が立ち上がった。

12月、1月は電気をテーマに開催した。電力は、私たちの生活の中にあふれているエネルギーでありながら、その発電から家庭利用までの過程や、社会に与える影響について深く考える機会はあまりない。本イベントでは、体験を通して電力の発電、利用といった一連の流れを学び、電気力を身近に感じてもらうことを目指した。特に、再生可能エネルギーを中心とした発電方法や、省エネにつながる取り組みについても触れ、自然環境との共生について考えるきっかけを提供した。



## 企画構成

### 1) ミニ展示

電気って何だろう？ 場所：1F エントランス

電気の基本的な情報をパネルで展示

#### ○電池

- ・電池とは（パネル）
- ・人間電池（展示物）
- ・送電（パネル）

#### ○発電

- ・発電とモーター（パネル）
- ・手回し発電機（展示物）
- ・電磁力の実験装置（展示物）
- ・自転車発電（展示物）
- ・各種発電（火力発電、原子力発電、風力発電、水力発電、地熱発電、太陽光発電）について（パネル、各一枚ずつ）
- ・再生可能エネルギーについて（パネル）

- ・うちわの力で発電（展示物）
- ・ソーラーで動くおもちゃ（展示物）
- ウーたんの部屋
  - ・家電の消費電力（パネル）
  - ・家電の消費電力（展示物）
  - ・電球の違い（LED 電球、電球型蛍光灯、白熱電球）（展示物）
- オーロラ
  - ・オーロラとは（パネル）
  - ・ジオスペース探査衛星「あらせ」（パネル）
  - ・ジオスペース探査衛星「あらせ」ペーパークラフト（展示物）

## 2) ワークショップ

**静電気で遊ぼう！**                      実施場所：2F サイエンスサロン

静電気をテーマにした体験物を展開

- プラズマボール
- 電気クラゲ…風船を配り、広くスペースを展開
- バンデグラフ
- パチフワボール

13 日間（1 日 1 回：13:00～14:00）で体験者数 807 人

**工作ワークショップ**                      実施場所：1F ものづくり工房

カラフルミニペンライト

アクリル板に LED を仕込み、星形のミニペンライトを作る。

7 日間（1 日 1 回：11:30～12:00）で体験者数 136 人

リーゴマ

磁石の力でスイッチが入るリードスイッチを使ったコマを作る。

7 日間（1 日 1 回：11:30～12:00）で体験者数 114 人

**実験ワークショップ**                      実施場所：1F ケミカルラボ

電気ペン

電気分解の仕組みと鉄に反応する薬品を利用して、鉄くぎで絵を描く。

13 日間（1 日 2 回：11:00～11:30、14:30～15:00）で体験者数 181 人

## 4-2. 外部組織との協カイベント

### 第 74 回佐賀県児童生徒理科作品展覧会

理科教育の振興と充実を図り、小・中・高等学校児童生徒の科学に対する創造性、研究能力の育成と向上を目指し、同時に保護者や一般の人々の観覧を願い、理科教育に対する理解を深めるために、広く県下の優れた理科作品の展覧会が開催された。

開催期間：令和 6 年 9 月 25 日（水）～ 10 月 6 日（日）

9 月 24 日 設営・作品搬入・審査会 役員・理事・審査員等

10 月 5 日 表彰式 役員・特選受賞者

10 月 8 日 作品撤去 役員・理科主任等

開催日数：12 日間（休館日を含めた日数）

会場：佐賀県立宇宙科学館 1 階 企画展示室、エントランスホール、わくわくひろば

主催：佐賀県理科教育振興会

後援：佐賀県教育委員会、佐賀県立宇宙科学館、佐賀大学、佐賀新聞社、  
読売新聞西部本社、学研ホールディングス、（公財）市村清新技術開発財団、佐賀県  
発明協会

展示内容：研究物・創作品・製作品・標本

展示数：95 点（特選 49 点・入選 46 点）

\*審査対象は支部審査での作品 180 点の中から特選・入賞作品の 95 点を科学館に展示

展示会場：＜小学校の部＞ エントランスホール、企画展示室

＜中学校の部＞ わくわくひろば

＜高等学校の部＞ エントランスホール

観覧者数：総入館者数：6,910 人



小学校 3～6 年生の部 展示



中学生の部 展示

#### 4-3. イベント

##### (1) 爆笑！星兄のプラネタリウムショー 2024

笑いをまじえた星空解説で知られる星兄こと田端英樹氏（プラネタリウム解説者・シンガーソングライター）を招いてプラネタリウムショーを開催。

午前中に2回通常のプラネタリウムを投映し、午後から3回プラネタリウムショーを開催した。

対話形式のプラネタリウムショーで、通常のプラネタリウムと異なり子供たちが声を出すことを前提としている。子供たちとのやり取りが周囲の大人が聞いていても楽しく感じられるプラネタリウムショーとなっていた。

イベント終了後にはDVDと書籍の販売もあり、田端さんのサイン会も行った。

- 講 師：田端秀樹 氏  
会 場：佐賀県立宇宙科学館 3F プラネタリウム  
主 催：佐賀県立宇宙科学館  
構 成：令和6年9月7日（土）  
1回目）14:00～14:45（13:50開場）  
2回目）16:00～16:45（15:50開場）  
3回目）17:00～17:45（18:50開場）



## (2) 天文祭 2024 ～ Star Festival ～

「天文祭～ Star Festival～」は県民との連携・協働を深め、天文ファンの裾野を広げ、観望会等の館内活動の周知にもつながる活動として取り組んでいる。平成 21 年から継続して実施している地元の天文ファンと来館者をつなぐ、交流イベントである。コロナ禍は夜の大観望会をメインイベントに開催していたが、今年から 5 年ぶりに昼の望遠鏡体験イベントを復活させた。大観望会は天候不良により中止した。

**実施日時：**令和 6 年 9 月 21 日（土）14：30～17：30

**会 場：**佐賀県立宇宙科学館 1 階わくわく広場、プラネタリウム

**主 催：**佐賀県立宇宙科学館

**協 力：**一般社団法人 佐賀天文協会、「スターパーティ in 白木峰」実行委員会、星の文化館  
天文クラブ「ティコ」、ふくおか天文クラブ「星ミネ」 他 (順不同)

**参加者数：**約 200 人

**構 成：**

- スペシャルワークショップ（小学 3 年生以下は保護者同伴）
  - ・14:30～16:30「星座早見をつくろう」 43 個 73 人（25 組）
- 望遠鏡体験（小学 3 年生以下は保護者同伴）
  - ・「小型望遠鏡を使ってみよう」 定員 4 組/回（事前予約）
    - ① 14:30～15:15 4 組 13 人
    - ② 15:30～16:15 3 組 7 人（1 組当日キャンセル）
  - ・「マイ望遠鏡を使いこなそう」 定員 3 組/回（事前予約+当日持ち込み可）
    - ① 14:45～15:30 1 組 4 人（ミザールテック MT-70R）
    - ② 15:45～16:30 1 組 2 人（池田レンズ工業 レグルス 60）
- プラネタリウム投映「今夜の星空散歩」
  - ・17:00～17:30 79 人（天文ボランティア 21 人含む）
- あつまれ！望遠鏡 ～大・観望会～  
会場：科学館正面 第 2 駐車場
  - ・19:00～21:30 天候不良により中止



星座早見工作のようす



望遠鏡体験のようす

### (3) 宇宙の日講演会 2024

#### 「おもちゃの力で宇宙をもっと身近に」開催報告

当館では、9月12日の宇宙の日を記念して、毎年講演会を開催している。今年度は、令和6年1月20日に見事着月に成功した小型月着陸実証機 SLIM に搭載された LEV-2（愛称 SORA-Q）の開発に携わった、株式会社タカラトミー SORA-Q プロジェクトリーダー 赤木謙介氏を招き講演会を行った。導入で月がどんな天体か、人類が月に初めて足を踏み入れたアポロ計画から日本も計画に参加しているアルテミス計画に触れ、本題の SLIM 計画と SORA-Q について動画や画像をつかって紹介。JAXA、タカラトミー、同志社大学、ソニーグループが超小型・超軽量の球体から変形する月面ロボットを共同開発するに至った経緯や8年間の開発秘話など、テンポよくお話された。また令和6年2月に100周年を迎えたタカラトミーがおもちゃの会社だからこそ実現できた宇宙事業へのチャレンジ、極力コストを抑えた宇宙事業の取り組みに対して、買いやすい価格にするためパーツをおさえたおもちゃ開発や地上と異なる宇宙環境で動く壊れにくい機能が求められることに対して、子どもが遊ぶことを想定した安全で壊れにくい設計など、宇宙事業とおもちゃづくりには思想の共通点があることも紹介された。観覧者からの質問にも丁寧に回答いただき、講演会終了後には、SORA-Q フラッグシップモデルの操作体験も実施いただいた。さらに参加者にキーホルダーをお土産に提供いただいた。なお、当館は SORA-Q サンキューアンバサダーであり、タカラトミーより SORA-Q フラッグシップモデルを10台提供いただいております。SORA-Q 操作体験会を実施している。

アンケート調査も実施、好意的な評価が多数得られ、本講演会が参加者にとって意義のあるものであったことが伺えた。

開催日時：令和6年9月14日（土） 14:00～15:30

会場：佐賀県立宇宙科学館 3階 プラネタリウム

講師：タカラトミー SORA-Q プロジェクトリーダー 赤木謙介氏

構成：14:00 開会

14:05～15:00 ご講演

15:00～15:30 質疑応答

15:35 閉会 閉会后 プラネタリウム内にて

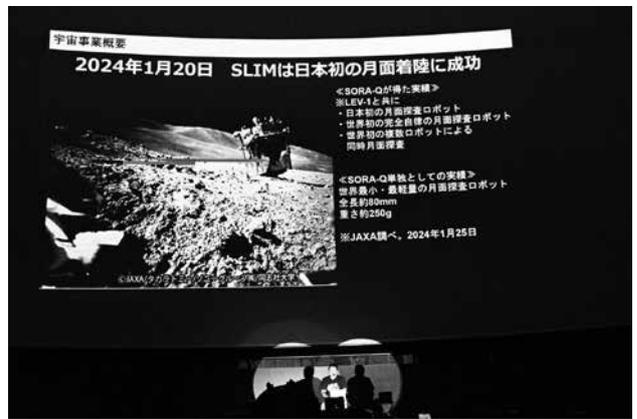
SORA-Q フラッグシップモデル操作体験、直接質問対応、サイン、写真撮影対応

参加者：計55人 内訳：一般40人、メディア2人、スタッフ13人（学芸員実習生含む）

宇宙の日講演会 2024  
おもちゃの力で宇宙をもっと身近に  
2024年1月20日見事着月に成功した小型月着陸実証機 SLIM に搭載された LEV-2（愛称 SORA-Q）。株式会社タカラトミーの SORA-Q プロジェクトリーダー 赤木謙介さんをお招きして、SORA-Q の開発秘話など伺います。ぜひご参加ください！  
LEV-2 [SORA-Q] が撮影・送信した月面画像  
講演者 赤木 謙介 (あかぎけんすけ)  
キャラクターアニメの社員から宇宙関連社員まで様々な社員企業を擁する。現在は、株式会社タカラトミーの EC サイト「タカラトミーモール」の運営、ゲームページの YouTube、SNS などでの発信も担当している。SORA-Q プロジェクトにおいては、タカラトミー内のプロジェクトリーダーを担う。  
開催日時 / 2024.09.14 [SAT] 14:00～15:30 (開場 13:50)  
会場 / 佐賀県立宇宙科学館《ゆめざんが》プラネタリウム  
定員 / 先着 180名 入場無料  
対象 / 小学生～一般  
佐賀県立宇宙科学館 TEL 0954-20-1666 FAX 0954-20-1620  
ゆめざんが



記録写真：



## 5. 館内教育活動

### 5-1. ゆめぎんがサイエンス教室

#### (1) 科学教室

実施なし

#### (2) レンズ磨き教室

はるか彼方の星空や目に見えないほど小さな世界を知りたいという科学者の探究心を満たすため、レンズは科学及び科学技術の発展に大きく貢献してきた。そこで、レンズを自作するという経験を通じて、自分で何かを作ることの面白さを体感し、何かに挑戦してみようという気持ちを触発するきっかけになればと考え、自作したレンズで屈折式の6.2倍望遠鏡を製作するものである。

時 間：10：00 ～ 10：45

定 員：4 組

対 象：小学生以上の親子 材料費：500 円

実施日	参加人数(人)	製作数(個)
5月19日	3組10	6
6月2日	3組10	6
9月8日	3組7	3
9月22日	4組15	5
12月5日	2組6	3
1月19日	4組14	6
合 計	19組62	38

#### (3) ものこわし教室

科学の進歩によって私たちの身の周りには便利なものがたくさんあふれており、今ではボタン1つで色々なことができる。これらの便利なものがどんな仕組みで動いているのか、多くの子どもたちに「構造や中身」について興味を持ってもらいたいと考え、コンパクトカメラをまるごと分解する【ものこわし教室】を開催した。なお、この教室は～親子プログラム～とし、親子での参加を条件とした。事前申し込み受付で親子10組を募集した。

時 間：10：00 ～ 11：00

定 員：12人

対 象：小学生以上の親子 材料費：100 円

実施日	参加人数(人)	使用数(個)
11月30日	9組18	13

#### (4) 天文教室

天文教室では普段興味のない方にも、広く天文・宇宙について興味関心を持っていただけるよう、天文や宇宙に関する開かれた教室を企画している。

タイトル：中秋の名月 ～時代を超えて～

実施日：令和6年9月15日（土）

時間：18：30～19：45

参加者：24人

タイトル：大型熱気球を飛ばそう

実施日：令和6年11月3日（日・祝）、4日（月・休）

時間：① 10：15～11：00 ② 14：45～16：00

参加者：11月3日 ① 44人 ② 23人、11月4日 ① 34人 ② 27人



中秋の名月・茶会の様子①



中秋の名月・茶会の様子②



大型熱気球・機体製作の様子



大型熱気球・機体打ち上げの様子

## 5-2. ワークショップ

### (1) わくわく広場

自由に参加しながら科学を体験出来るイベントを土日祝（1日2回）に行った。

実施日	テーマ	内 容	参加人数（人）
6月8日～ 6月23日 (6日間12回)	《水フェスタ》 シャボン玉実験ショー	身近な道具や材料を使ったいろいろなシャボン玉や、巨大シャボン玉の作り方をショーの中で紹介した。	792

### (2) 青空天文台

天文台の日中の有効活用及び県民が星空を体験する機会の充実を図るため、20cm屈折望遠鏡等を使って、太陽や月、惑星や1等星など昼間に見ることができる天体の観察を行った。休日・祝日は、雨天や曇天時も天文台を公開し、望遠鏡や太陽、昼間の星についての解説を実施した。

開催期間：令和6年4月～令和7年3月

開催時間：午前 太陽観察、午後 太陽観察、昼間の星

会 場：佐賀県立宇宙科学館 3階 天文台

概 要：昼間に見ることができる天体の観察。

構 成：

- 4月 太陽、金星、月
- 5月 太陽、金星
- 6月 太陽、金星、アークトゥルス、シリウス
- 7月 太陽、金星、月
- 8月 太陽、アークトゥルス、ベガ、月
- 9月 太陽、アークトゥルス、月、ベガ、アルタイル
- 10月 太陽、月、ベガ、土星
- 11月 太陽、ベガ、月、アルタイル
- 12月 太陽、ベガ、土星、木星
- 1月 太陽、ベガ、土星、木星、カペラ、月
- 2月 太陽、木星、月
- 3月 太陽、カペラ、木星、月



### (3) ものづくり工房

仕組みや原理のわかる簡単工作を工作ワークショップとして行った。

期間中の土日祝日に1日2回実施した。

「カラフルミニペンライト」と「リーゴマ」は1日1回実施した。

実施日	テーマ	内 容	参加人数(人)
5月11日～ 6月2日	ウーたんをさがせ	懐中電灯の形をした紙をさし込むと、暗闇から色々なウーたん が現れるおもちゃを作った。	121
9月7日～ 9月23日	《ソラフェスタ》 エアシューター	細長い袋に空気を入れてロケット を作り、飛ばして遊ぶ体験を 行った。	164
9月28日～ 10月27日	クラフトバンドボール	紙でできたクラフトバンドを編 んでボールを作った。	195
11月2日～ 11月24日	ゾートロープ	回して隙間からのぞくと絵が動 いて見えるおもちゃを作った。	120
12月1日～ 12月22日	《電気フェスタ》 カラフルミニペンライト	レーザー加工されたアクリル板 にLEDを仕込み、星形のミニペ ンライトを作った。	136
1月2・3日 1月4日～ 1月13日	《電気フェスタ》 リーゴマ	磁石の力でスイッチが入るリー ドスイッチを使ったコマの工作。	114
合 計			850

#### (4) ケミカルラボ

身近なもので楽しい科学実験を実験ワークショップとして行った。

期間中の土日祝日に1日2回実施した。

「スライム」は夏休み期間毎日、1日6回実施した。

「電気ペン」は冬休み期間の平日（12月25日～27日、1月2・3日）毎日実施した。

実施日	テーマ	内 容	参加人数(人)
5月11日～ 6月2日	冷却パック	袋をたたいて薬品と水が混ざると冷たくなる冷却パックを作る。	121
7月13日～ 9月1日	スライム	固体でも液体でもない不思議な物体のスライムを作る。	2,068
9月7日～ 9月23日	《ソラフェスタ》 日光写真	紫外線をあてると色が変わる薬品を使って、自分で描いた絵を紙に写し取る。	125
9月28日～ 10月27日	ゴムボールを作ろう	天然の材料であるラテックスを使ってゴムボールを作る。	179
11月2日～ 11月24日	発泡入浴剤	クエン酸と重曹を使って水に入れると泡が出る入浴剤を作る。	110
12月21日～ 1月13日	《電気フェスタ》 電気ペン	電気分解の仕組みと鉄に反応する薬品を利用して、鉄くぎでお絵描きします。	181
合 計			2,784

#### (5) 佐賀発見ゾーン

実施予定	タイトル	内 容
毎日2回	エサやり体験	展示している魚にエサを与える体験コーナー。
土・日・祝2回	佐賀発見ゾーン いきものトーク	科学館スタッフが得意とする分野をテーマに、佐賀の自然の魅力を紹介する。佐賀発見ゾーン内の展示物を使ったギャラリートーク形式。 (※夏休み期間、10月以降は休止)

(6) 科学実験室

実施日	タイトル	内 容	参加人数(人)
土・日・祝2回 (4月3日～ 5月30日)	生き物のふか〜い話	昆虫、化石、魚類など科学館スタッフが得意とする分野をテーマとし、その詳細を紹介する。中止したバックヤードツアーの代替えとして実施した。	213

5-3. 宇宙食体験イベント

宇宙食を身近に感じてもらうイベントを初開催。宇宙飛行士がISSで食事に使用している環境を再現したオリジナル装置（ギャラリー）で調理や飲食を体験、パラボリックフライトマネジメントの貫井智之氏より、佐賀県からISSで届けられた食材紹介等の解説等もいただきながら、宇宙食へ興味をかきたてる内容となった。

実施日	テーマ	内 容	参加人数
1月10・ 11日	宇宙食を 体験してみよう！	ゆめぎんが会員や来館者を対象に、宇宙食の試食会を実施。(12月21・22日にはスペースパークでも実施し296人が参加) ゆめぎんが会員を対象に「こども記者」教室も同時開催。	55組 155人



## 6. アウトリーチ活動

### 6-1. 支援事業

#### (1) 出張教室（実験・工作分野）

出張教室は、アウトリーチ活動の一環として学校や地域・団体からの要請により、館内での活動を基にプログラムを作成して館外で実施する活動で、当館の目的を広く地域へ展開していくことを目的として実施した。

受付No.	実施日	団体名	学年	内 容	参加人数	実施場所
1	6月12日	伊万里市立 伊万里小学校	6年	燃焼・爆発実験 ショー	99	伊万里小学校 体育館
2	6月18日	伊万里市立 大川内小学校	6年	燃焼・爆発実験 ショー	14	大川内小学校 体育館
3	6月21日	厳木高校 厳木小学校	厳木高3年、 厳木小3年	身近な自然とSDGs	41	厳木小学校
4	6月27日	唐津市立 成和小学校	3年	シャボン玉実験 ショー	46	体育館
5	9月10日	佐賀県立うれしの 特別支援学校	基礎技能コース (1～3年)	身近な自然とSDGs	32	
6	9月11日	佐賀市立 巨勢小学校	3年	超低温実験 ショー	70	体育館
7	9月13日	佐賀市立 新栄小学校	1年	シャボン玉実験 ショー	67	体育館
8	10月11日	伊万里小学校 理科クラブ	4・5・6年	シャボン玉実験 ショー	20	
9	10月29日	佐賀大学教育学部 附属小学校 2年生育友会	2年	シャボン玉実験 ショー	220	体育館
10	10月31日	唐津市立 長松小学校	4年	燃焼・爆発実験 ショー	123	体育館
11	11月8日	太良町立 多良小学校	4年	超低温実験 ショー	29	調整中
12	11月14日	鳥栖市立 基里小学校	4年	超低温実験 ショー または空気の実験 ショー	44	体育館
13	11月20日	佐賀市立 若楠小学校	5年	空気の実験 ショー	45	体育館
14	11月27日	高木瀬幼稚園 保護者会	3～6歳児	シャボン玉実験 ショー	62	遊戯室
15	12月4日	有明南小学校 サイエンスクラブ	4～6年	シャボン玉実験 ショー	12	体育館
16	1月15日	海童保育園	5歳児・4歳児・ 3歳児	超低温実験 ショー	54	海童保育園
17	1月21日	唐津市立 外町小学校	1年	空気の実験 ショー	60	体育館

## (2) ゆめぎんがプログラム

ゆめぎんがプログラムは、特に時間や人数の制限のため一般のワークショップ等へ参加しにくい団体向けの専用プログラムとして企画し、来館実施ではあるが、出張教室と同様に当館の目的を広く展開していくアウトリーチ活動の一環として実施した。

受付No.	実施日	学校・地域等団体名	学年年齢	カリキュラム名	内 容	参加人数	備考 (不可の場合は理由)
1	6月21日	誠櫻幼愛園	年長	園外保育	シャボン玉実験ショー		幼稚園・保育園
2	5月31日	アトム保育園	年長	わくわくおたのしみかい	プラ版アクセサリー		幼稚園・保育園
3	6月21日	小城市立牛津小学校	1年	バス旅行	シャボン玉実験ショー		
4	10月24日	水縄保育園	5、6歳	親子バス遠足	シャボン玉実験ショー	48	幼稚園・保育園
5	10月8日	柳川市立矢留小学校	5年	社会科見学	プラネタリウム解説+番組	27	
6	10月1日	伊万里市立山代中学校	1年	校外学習	身近な自然とSDGs		
7	10月30日	熊本県立熊本ろう学校	5、6年		字幕付き星空散歩	14	
8	1月16日	久原保育園	5~6才	お別れバス遠足	プラスチックアクセサリー	14	幼稚園・保育園
9	1月31日	鹿島市立北鹿島小学校	小6	校外学習	地層・化石の話	34	
10	3月4日	有田町立大山小学校	小6	校外学習	化石の話とレプリカ作り	34	

## 6-2. 連携事業

### (1) 南極・昭和基地から国立極地研究所連携機関へ同時生中継イベント

#### 「南極・昭和基地ライブトーク 2024」

当館は平成 23（2011）年 10 月より、大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所（以下、極地研）と広報普及を目的とした連携協定を締結している。極地研主催で国内の科学館・博物館等の機関と南極・昭和基地をオンラインで繋ぎ、第 65 次南極地域観測隊の越冬隊員と参加機関の来館者に活動を紹介する、双方向型イベントに今年初めて応募し、実施した。

参加者からは、「実際に働いている隊員から南極での生活の話が直接聞けたことが良かった」、「昭和基地のルームツアーなど南極の雰囲気もわかりとても楽しい時間を過ごした」など、好意的なコメントをいただいた。また、「隊員に直接質問ができて嬉しかったという声もあった」。イベントに先立ち、極地研から配布資料や南極の氷の提供があり、イベント終了後に南極の氷を水に溶かした際の様子を観察する体験も合わせて楽しんでいただけた。今後も機会があれば応募し、来館者に南極・昭和基地との中継体験を提供したい。



開催日時：令和 6 年 4 月 20 日（土） 15：00～16：00

会場：佐賀県立宇宙科学館 1 階 科学実験室

主催：国立極地研究所

共催：佐賀県立宇宙科学館、上村直己冒険館、愛媛県総合科学博物館、つくばエキスポセンター、名古屋海洋博物館南極観測船ふじ、多摩六都科学館、一般社団法人 WNI 気象文化創造センター

構成：15：00 極地研よりイベントの紹介、参加機関と接続確認を兼ねたやりとり

15：10 昭和基地との中継、参加機関の来館者からの質疑応答

15：40 中継終了

15：45 極地研よりイベント終了コメント

15：50 南極の氷体験

参加者：一般参加者（当日受付）51 人、メディア 1 人、スタッフ 9 人

記録写真：



## (2) 佐賀県立宇宙科学館 開館 25 周年記念講演会

### 「月面ピンポイント着陸への挑戦」

JAXA の小型月着陸実証機 SLIM のプロジェクトマネージャーの坂井真一郎氏を講師に招いて、H2A ロケット 47 号機で打ち上げられた SLIM の計画、開発時の様子や月面着陸までの道のり、日本が初めて月面着陸した後の様子や結果と成果を動画や画像をふんだんに盛り込んでお話しいただいた。また月面探査における各国の動向や今後の展望についてもお話しがあった。お話の流れの中で、当館のプラネタリウムシステムを使って、H2A ロケット 47 号機打ち上げの全天周映像も上映した。

参加者の年齢層は大人から子どもまで幅広く、時には会場に問いかけながら子どもたちと対話するような展開もあった。また、例えば…と身近なものに例えてお話をいただきわかりやすくなるような工夫をいただいた。当館職員が 3D プリンタで作成した SLIM の模型にも触れていただくなど、細やかなお心遣いもあった。

講演会が終わった後も開場に残った参加者のリクエストにお答えいただいた。アンケート調査も実施、好意的な評価が多数得られ、本講演会が参加者にとって意義のあるものであったことが伺えた。

2024年7月6日(土)  
14:00 ~ 15:30  
宇宙科学館 開館 25 周年記念講演会  
「月面ピンポイント着陸への挑戦」  
講師 JAXA 宇宙科学研究所 宇宙機応用工学研究系 教授 坂井真一郎さん  
H2A ロケット 47 号機で打ち上げられた  
小型月着陸実証機 SLIM の開発と月面着  
陸の結果、その成果と今後の月面探査  
への展望について、またプロジェクト  
を率いるリーダーとしてご経験を  
語っていただきます。  
坂井真一郎さん、プロフィール  
2001年に宇宙科学研究所に採用後、わいびい (INDX)、ASTRO-G  
47号機 (宇宙科学、および JAXA 系、科学衛星の定常衛星搭載機  
に由来、併せて人工衛星の姿勢制御、衛星気象観測衛星-ジオス  
イト、探査機の着陸機上陸機等の研究に従事。  
2016年4月から SLIM プロジェクトマネージャーを兼任。  
会場：佐賀県立宇宙科学館 <ゆめざんか>  
3階 プラネタリウム  
定員：180名 対象：小学生以上  
参加費：無料 ※常設展示観覧料が必要です (詳しくはこちら)



開催日時：令和6年7月6日(土) 14:00 ~ 15:30

会場：佐賀県立宇宙科学館 3階 プラネタリウム

講師：JAXA 宇宙科学研究所 宇宙機応用工学研究系 教授

SLIM プロジェクトマネージャー 坂井真一郎 氏

構成：14：00 開会 館長あいさつ

14：05～15：15 ご講演

15：15～15：30 質疑応答

15：35 閉会

参加者：98人 内訳：ドーム内聴講一般 81人、スタッフ 12人、メディア 1人、  
ガイダンス室（YouTube 限定配信上映）一般 3人、スタッフ 1人

記録写真：



### (3) 佐賀県立宇宙科学館 宇宙の日記念特別講演会

#### 「H3 ロケットの挑戦」

JAXA 理事で H3 ロケットプロジェクトマネージャーの岡田匡史氏を講師に招いて講演会を開催した。台風の影響で来館が危ぶまれたが、前々日の 8 月 29 日にご移動いただき武雄に入っていたいたため、予定どおりの開催に。アイスブレイクの自己紹介ではロケットが飛んでいるときの音を聞かせたり、ご自身がロケットへの興味を持ったきっかけ出身地や趣味などについてクイズを交えたりして展開。

JAXA の組織やロケットで打ち上げてどんな活動ができるのか、宇宙がどれだけ身近になってきたのか、宇宙はどんな場所なのかをお話しされ、徐々に本題のロケットへ話題を移された。H3 ロケットの話では H3 ロケットの狙いは信頼性が高く、安くて日本がいつも宇宙に行けること、世界のロケットに負けないこと、使う人を大切にすることやロケット技術を次のエンジニアに伝えることにあることを紹介された。また H-IIA ロケットと比較して H3 ロケットの特徴をわかりやすく紹介された。H3

宇宙航空研究開発機構 (JAXA)  
話題のプロジェクトから講師が  
《ゆめざんが》に！！

2024年8月31日(土)  
14:30～16:00  
宇宙の日記念特別講演会  
「H3 ロケットの挑戦」

講師 JAXA理事・JAXA宇宙機設計部門長 岡田 匡史さん

H3 ロケットの開発、試験機！号機の打ち上げ失敗から試験機2号機の成功、また3号機打ち上げの様子やロケット開発の今後の展望など、プロジェクトを率いるご自身の体験を踏まえてお話しいただきます。

岡田 匡史さんプロフィール  
1969年、田舎町生まれ。JAXAに入社。電子基盤センターでH-IIAプロジェクトチームで液体ロケットの開発を担当。2015年よりH3プロジェクトチームのプロジェクトマネージャーを務める。2024年4月より現職。

会場：佐賀県立宇宙科学館《ゆめざんが》3階プラネタリウム  
定員：180名 対象：小学生以上  
参加費：無料 ※常設展示観覧料が必要です



ロケットの開発はロケットのみならず、打上げ設備など全体を開発したことも紹介、運用は注文から打ち上げまでの期間を短縮することで年間に打ち上げるペースをあげることに、経費削減の一環として3Dプリンタで部品を作り、部品数を減らすことなど紹介された。H3 ロケットプロジェクトの話では、試験機1号機打ち上げまでもに様々な困難があったこと、試験機1号機失敗…信号を送ってから0.03秒の間に第2段エンジンに何が起きたのか、チーム全体の協力で行った原因究明活動、試験機2号機の成功までの道のりを紹介され、記者会見での秘話も。ご自身の携わったH3 ロケットプロジェクトを振り返り、「越えられない壁はない」と締めくくられ、参加者や子どもたちへメッセージを送られた。

開催日時：令和6年8月31日（土） 14：30～16：00

会場：佐賀県立宇宙科学館 3階 プラネタリウム

講師：JAXA 宇宙輸送技術部門 理事

前H3 ロケットプロジェクトマネージャー 岡田匡史 氏

構成：14：30 開会 館長あいさつ

14：35～15：45 ご講演

15：45～16：00 質疑応答

16：00 閉会

参加者：174人 内訳：ドーム内聴講一般 162人、スタッフ 11人、メディア 1人

記録写真：



#### (4) EarthCARE 衛星広報講演会

「EarthCARE 衛星 “はくりゅう” ついに宇宙へ！

～ 4 つの「目」でみる雲・エアロゾルと、温暖化する地球の未来～

令和 6 年 5 月 29 日に打ち上げ成功した地球観測衛星 EarthCARE について紹介する講演会を開催。本講演会はプロジェクト広報担当より鈴木館長にプロジェクト周知のためのイベントとして企画が持ち込まれたことで実現した。講師として JAXA 筑波宇宙センターで EarthCARE 衛星の地上設備の開発取りまとめ担当で佐賀県みやき町出身の蘭（あららぎ）幸太郎氏を派遣いただいた。講演では、プロジェクトの目的や 4 つあるセンサについての紹介や日欧共同プロジェクトとして大変長い間続けられてきた歴史についても触れられた。宇宙開発では縁の下の力持ち的な側面がある、けれども社会には密着している人工衛星を開発・運用する仕事の魅力や、今後、EarthCARE プロジェクトで日欧共同として何に取り組んでいくかなどご紹介いただいた。また講演中にステージで雲を作る実験を演示され、休憩時間には参加者をステージに集め実際に実験を体験させるなど、子どもたちも楽しめる内容となった。佐賀県出身ということもあり、出身地のみやき町役場から町長はじめ蘭氏の恩師やご家族も観覧された。本講演会をきっかけで、みやき町と蘭氏のつながりができたとのことで、みやき町立図書館では関連の企画展示をされ、当館から 3D プリンタで作成した模型や解説パネルなど貸出すなど、参加者や関係者に意義のあるものになった。

開催日時：令和 6 年 9 月 22 日（日） 14：00～15：30

会場：佐賀県立宇宙科学館 3 階 プラネタリウム

講師：JAXA 第一宇宙技術部門 衛星利用運用センター研究開発員（理学博士）  
蘭幸太郎 氏

構成：14：00 開会 館長あいさつ

14：05～14：40 前半ご講演

14：40 10 分間休憩

14：50～15：10 後半ご講演

15：15～15：30 質疑応答

15：35 閉会 閉会後も写真撮影や質問に対応いただいた

参加者：167 人 内訳：ドーム内聴講一般 156 人、スタッフ 10 人、メディア 1 人



記録写真：



(5) 佐賀” 宙への扉” イベント NASA ジェット推進研究所 (JPL) の元所長チャールズ・エラチ氏講演会

開催日時：令和6年11月9日(土) 10:00～11:30

主催：JAXA・佐賀県

会場：佐賀県立宇宙科学館3階プラネタリウム

講師：NASA ジェット推進研究所 (JPL) 元所長チャールズ・エラチ氏 他

構成：(1) プラネタリウム映像「宙の家族に会いに行く～太陽系探査の歩み～」上映  
(2) チャールズ・エラチ氏講演

「Challenges and Excitement of Space Exploration～宇宙探査の挑戦と興奮」

(3) JAXA 第一宇宙技術部門先進レーダ衛星 (だいち4号) プロジェクトマネージャ 勘角幸弘氏講演

「先進レーダ衛星だいち4号の開発」

(4) 県内中・高校生及び一般参加者との質疑応答

参加者：114名

・一般参加者 58名

・県内中高生 40名

致遠館中・高校、武雄高校、佐賀西高校、佐賀東高校、太良高校、北稜高校、唐津東中学校、佐賀大学教育学部附属中学校、佐賀清和中学校、成章中学校、崇城大学  
・国際 SAR 学術会議参加の世界の宇宙機関の専門家 16名  
米 NASA、欧州 ESA、仏 CNES、独 DLR、加 CSA、日 JAXA 等



## (6) 地域団体等との連携

### ① 武雄温泉保養村会

武雄温泉保養村会の会員として、地区内の活性化、地域振興を目的に行事やイベント等の活動を積極的に行った。今年度も宇宙科学館正面のせせらぎプロムナード一帯で令和6年5月25日（土）～6月4日（火）までをホテルの観賞期間とし、5月26日（日）にはほたる祭りイベントを開催した。

また、昨年同様こいのぼりを科学館芝生広場において設営した。

冬期はせせらぎプロムナード周辺の生態系保護、自然環境保全のため、同年12月3日（火）に小川の整備作業を実施した。



ほたる祭りイベント



こいのぼり

## (7) 講師派遣

No.	実施日	内 容	依 頼 者	実施場所	氏 名
1	6月14日	トンボ保全活動（講義）	佐賀市役所 環境政策課	観察地（出張）	喜多章仁
2	6月19日	トンボ保全活動（調査）	佐賀市役所 環境政策課	観察地（出張）	喜多章仁
3	11月26日	季節の星を観察しよう	弥生が丘まちづくり 推進センター	弥生が丘まちづくり 推進センター	鍵山未明
4	10月4日	季節の星を観察しよう	鳥栖まちづくり 推進センター	鳥栖まちづくり 推進センター	鍵山未明
5	7月21日	夏休み自由研究「君を助け隊」	佐賀市役所 環境政策課	佐賀大学	喜多章仁
6	11月10日	ひらめき☆ときめきサイエンス 「24'ムツゴロウってどんな魚？ 科学の視点で見てみよう！」	佐賀大学 教育学部	佐賀大学	山下岳雄

## (8) 講演

No.	受入日	内 容	会 場	依頼者	氏 名
1	7月12日	宇宙開発という仕事	宇宙科学館	武雄老人クラブ 連合会女性部「ふ れあい会」	鈴木明子
2	10月8日	交渉力・調整力 ～宇宙開発の現場から～	佐賀大学	佐賀県教育委員 会・令和6年度 学校トップリー ダー研修	鈴木明子
3	1月15日	宇宙開発という仕事	武雄市北方 公民館	武雄市市民大学	鈴木明子
4	2月20日	宇宙開発という仕事と 私の子育て	宇宙科学館	有田商工会議所 女性会・武雄商 工会議所女性会	鈴木明子

## (9) 研究発表

No.	期日	テ ー マ	主 催	会 場	氏 名
1	2月12日	多様な楽しみの創出を目指した 分野横断的な企画展の実施	全国科学博物館 協議会	兵庫県立人と 自然の博物館 及びオンライン	伊藤辰徳 鍵山未明 喜多章仁 北田大樹 比喜多宏 山下岳雄

### 6-3. 教育事業

#### (1) 学芸員実習

毎年、学芸員資格取得を希望する大学生に対して、科学館の概要や学芸員の役割等について理解を深めてもらうとともに、展示や普及活動等の実習をとおして、必要な知識技能の習得を目的に学芸員実習を実施している。

No.	実習期間	日数	学校名	学年	参加者(人)
1	9月11日～16日	6日間	琉球大学	4年	1
2			長岡造形大学	4年	1
3			宮崎大学	4年	1
4			京都外国語大学	4年	1
5			福岡大学	4年	1
計					5

#### (2) 職場体験

学校教育の支援・連携及び科学館業務への理解促進のため、各学校からの依頼に応じて中学生の職場体験学習を受け入れた。

No.	実習期間	日数	学校名	学年	参加者(人)
1	8月28日	3日間	武雄市立川登中学校	2	5
2	8月29日～30日	2日間	武雄市立武雄中学校	2	4
3	9月11日～12日	2日間	武雄市立山内中学校	2	4
4	9月19日～20日	2日間	太良町立多良中学校	2	3
5	10月10日～11日	2日間	太良町立大浦中学校	2	2
計					18

#### (3) 教職員体験研修

教職員の資質及び指導力の向上のための佐賀県教職員3年経験者の体験研修を受け入れた。

No.	研修期間	日数	学校名	研修内容	参加者(人)
1	7月25日～26日	2日間	武雄市立朝日小学校	企画展示の 運営補助	1
2	7月28日～29日	2日間	武雄市立橘小学校		1
3	8月1日～2日	2日間	武雄市立御船が丘小学校		2
4	8月8日～9日	2日間	武雄市立武雄北中学校	館内教育 活動	1
5	8月22日～23日	2日間	武雄市立武雄中学校		1
計					6

## 7. 情報提供サービス

### 7-1. ホームページによる情報提供

創立 25 周年を記念して、令和 7 年 1 月にゆめぎんが公式ホームページも全面リニューアルした。情報構造の全面見直し、セキュリティ強化、デザイン一新、新コーナーの新設等を通じて、利用者により身近で利便性の高いホームページとして生まれかわらせ、館外への積極的な情報発信のツールとして従前以上に更新頻度を高めた運用を行った。新たなホームページの主な構成は以下の通り。

- ・ 総合案内
- ・ 常設展示、フロアガイド
- ・ プラネタリウム・天文台の案内
- ・ 企画展（コーナー）
- ・ イベント
- ・ スタッフブログ（新コーナー）
- ・ ゆめぎんがクラブ
- ・ JAXAGA SCHOOL
- ・ 学校支援
- ・ カレンダー（新コーナー）
- ・ おうちでゆめぎんが
- ・ カレンダー
- ・ デジタルパンフレット



### 7-2. 図書室

図書室では、宇宙・科学・自然の分野を中心に図書や雑誌を取り揃え、宇宙科学館の各ゾーンでの来館者の疑問や更なる探求心に応えるため、閲覧ができるようにしている。

図書 6,652 冊（内寄贈：833 冊）  
（令和 7 年 3 月末日現在）

小さなお子様にも本に親しんでもらえるよう絵本コーナーを整え、館内の企画展やイベントに関する本を紹介した。今後も利用者の要望に応えられるよう図書等の充実を図るとともに、館内のイベントに対応するコーナーを設けるなど利用者の便宜を図っていく。



## 8. 友の会活動

平成13年6月に、「科学に対する興味と関心を高めると共に、科学する心を養う」ことを目的に発足した友の会「ゆめぎんがクラブ」は23年を迎えた。

令和7年3月末現在、337グループ、805人の方が加入されている。令和6年度は昨年に引き続き、活動を実施することができた。

令和6年度の活動内容は下記の通りである。

項目	内容
発行物・郵送物	友の会通信（3回） 入会キャンペーン（1回） 企画展、イベント・特別教室チラシ（開催毎）
(会員 先行案内) イベント	<p>○本物の宇宙食体験 令和7年1月10日（金）10:00～12:00、1/11（土）10:00～16:00 内 容：①宇宙食を選ぶ ②作る（温め） ③知る（映像とスライド） ④食べる 参加人グループ：18組 ま と め：今回、3週間前に九州佐賀国際空港で実施されたイベントを当館で実施されるため、会員先行予約をおこない実施しました。 告知はチラシのみでしたが、たくさんの方に応募をいただきました。定員満員のためお断りをした方は、またの機会を期待されていました。</p> <p>○こども記者クラブ（上記と同時開催） 令和7年1月11日（土）10:00～16:00 内 容：①ガイダンス室で記事の書き方、取材の仕方、撮影のコツを確認 ②会員の試食風景を観察 ③試食体験開始 ④試食体験者への取材、撮影 ⑤ガイダンス室で原稿用紙に記事執筆、当日に原稿、写真を回収。 参加人数：4組（7人） ま と め：「こども記者クラブ」で作成された記事は、ゆめぎんが通信【号外】新聞として会員のみなさまへ2月中旬には発送、それから館内に張りだしました。また佐賀新聞でも発行した新聞を紹介していただきました。 今後も多くの会員の方に参加していただける内容のイベントを、実施していきたいと思っております。</p>

記録写真：



本物の宇宙食体験



こども記者クラブ

## 9. 調査研究の実施

### 9-1. 宇宙科学館周辺の生物調査

#### (1) カスミサンショウウオの産卵状況調査

平成14年度から継続しているカスミサンショウウオの産卵状況調査を、令和6年度も実施した。当館南東側の山すその湿地がカスミサンショウウオの産卵地となっており、令和7年2月5日から3月26日までに合計126卵塊を確認した。1月は雨量が少なく、調査地の水量が少なかったため、幾度となく水を補充した。その後、雨による水位の増加、晴れが続くことによる水位の減少を繰り返しながら、3月下旬まで産卵が継続された。

年度	産卵開始 確認日	総卵塊数	年度	産卵開始 確認日	総卵塊数
平成14年度	1月9日	115	平成26年度	1月10日	182
平成15年度	1月19日	102	平成27年度	12月24日	155
平成16年度	1月6日	111	平成28年度	12月23日	144
平成17年度	1月18日	124	平成29年度	1月14日	116
平成18年度	1月20日	134	平成30年度	1月16日	168
平成19年度	1月14日	127	令和元年度	12月26日	110
平成20年度	12月24日	130	令和2年度	1月4日	94
平成21年度	12月17日	149	令和3年度	1月26日	142
平成22年度	2月12日	120	令和4年度	1月17日	183
平成23年度	1月22日	137	令和5年度	1月17日	163
平成24年度	12月20日	152	令和6年度	2月5日	126
平成25年度	1月11日	135			

#### (2) 武雄市保養村周辺のゲンジボタルの生息状況調査

佐賀県立宇宙科学館が位置する武雄温泉保養村は佐賀県武雄市に滞在・体験型の保養型観光地として整備された区域である。この保養村内には農業用ため池をつなぐ水路があり、初夏にはゲンジボタルが飛び交うため、ホテル観賞地として多くの観光客が訪れる。

令和6年度の調査は、令和6年5月25日から6月4日にかけて計5回行い、成虫の発光数をカウントした。発光数は最大で381、累計で976であった。

### 9-2. 普及活動

#### 調査研究書の作成

前年度の年間を通じた活動の中で調査研究した事柄について取りまとめ、調査研究書として作成し、県内の小中高校及び関係機関へ配布した。

#### 地域連携の展示

地域の大学生に、卒業研究用に展示場所を提供し展示が行われた。また、この展示に関連した卒業論文が執筆された。

タイトル：透明骨格標本—魚類—佐賀編

実施日：令和6年12月21日（土）～令和7年1月5日（日）

場所：佐賀発見プラザ

## 10. 資料の収集調査・保存

### 10-1. 県立博物館職員との資料収集

#### (1) 寄贈

佐賀県産新種二枚貝化石 サガノシオガマ（レプリカ） 1点  
魚類液浸標本 2点（ギギ 1点、クロホシマンジュウダイ 1点）

#### (2) 購入

令和6年度の購入なし

#### (3) その他

・佐賀県植物目録（仮）に関する植物標本の収蔵に関して、佐賀植物友の会と調整を図りながら分類群ごとに同定・整理を行っている。

・故市場氏昆虫標本の整理

約20,000点の資料を分類群ごとに同定・整理を行っているほか、必要に応じて修復作業を行っている。

・唐津市海岸に漂着オサガメ個体の資料調査

令和4年9月に唐津市海岸に漂着・埋設されたオサガメについて調査をするため水産庁に届出を行った。漂着発見から約1年半後の令和6年3月に掘出し作業を行い、骨を採集した。今後、骨格標本として活用を行うため保存および標本化の作業を進めている。

### 10-2. 資料の保存

#### (1) 資料の保存（害虫駆除等実績）

##### ア 収蔵庫ガス燻蒸処理

収蔵資料（標本および図書など）を良好な状態で保管するため、薬剤による燻蒸処理を行った。

施工期間：令和6年9月2日（月）～9月5日（木）（4日間）

場 所：生物収蔵庫、地学収蔵庫、特別収蔵庫、液浸庫

使用薬品：ヴァイケーン（フッ化スルフルル）24時間密閉燻蒸

備 考：テストサンプル（成虫、蛹、幼虫、卵）を使用した燻蒸処理の効果判定を実施

##### イ その他

・温湿度のモニタリング

・文化財害虫の定期調査（毎月）

・化石標本の保護剤（エスレックアセトン溶液）塗布（随時）

#### (2) 資料の活用

##### ア 館内利用

・企画展示室「カラフル～色の不思議のサイエンス～」昆虫標本33点 鉱物標本39点

・プチ・ミュージアム「佐賀の貝化石」化石標本54点 生物標本16点

## イ 資料の貸出

- ・佐賀県立博物館常設展「佐賀の歴史と文化」  
玄武岩等標本類 115点（地学標本74点、生物標本41点）  
令和6年4月1日～令和7年3月31日
- ・学校法人 成城学園 学内施設「恐竜・化石ギャラリー」  
プリオサウルス頭骨標本（レプリカ） 1点  
令和3年3月1日～（令和7年2月28日）
- ・蒲郡市生命の海博物館 特別展 「アノマロカリス、カンブリア紀の海をゆく」  
化石標本 4点  
令和6年6月19日～令和6年12月28日
- ・ベネックス恐竜博物館 企画展 「翼竜と恐竜、飛行機まで～大空へのチャレンジャー～」  
化石標本 10点  
令和6年7月12日～令和6年9月28日
- ・国立科学博物館 企画展「昆虫 MANIAC（マニアック）」  
昆虫標本 4点  
令和6年7月13日～10月14日
- ・福井県立大学恐竜学研究所 研究目的 化石標本 2点  
令和6年10月1日～令和7年2月28日
- ・佐賀県立博物館 テーマ展 「岩石のいろいろカタチ～佐賀の岩石・鉱物・化石～」  
化石標本 77点  
令和7年1月20日～令和7年3月10日

## 11. 視察・研修及び他団体との交流

### 11-1. 加入団体

全国科学博物館協議会、全国科学館連携協議会、日本プラネタリウム協議会（JPA）、公開天文台ネットワーク（JAPOS）、全国博物館協議会、佐賀県博物館協会、日本ミュージアム・マネジメント学会、KU-MA 子ども・宇宙・未来の会、日本サイエンスコミュニケーション協会

### 11-2. 参加研修会・総会及び視察

- 佐賀県博物館協会 総会 令和6年5月29日（水） 佐賀県立美術館 参加：堤 紀子
  
- 日本ミュージアム・マネジメント学会 第29回大会 令和6年6月1日（土）～2日（日）  
新潟県立歴史博物館 参加：小林 翔
  
- 全国プラネタリウム大会2024. 横浜 令和6年6月3日（月）～5日（水）  
はまぎんこども宇宙科学館 参加：鈴木 明子、堤 紀子
  
- 佐賀県理科教育振興会 理事会・総会 令和6年6月6日（木） 佐賀県教育センター  
参加：児玉 尚之
  
- 日本動物学会 第95回大会「動物学ひろば」 令和6年9月14日（土） 長崎大学  
参加：山下 岳雄、学芸員実習生2人
  
- 第3回国際SAR学術会議レセプション参加 令和6年11月8日（金） 和多屋別荘  
参加：鈴木 明子、古川 香織、木村 朱里、萩原 宙
  
- JGSS フィルムフェスティバル 令和6年11月11日（月）～13日（水） 山梨県立科学館  
参加：鈴木 明子、堤 紀子
  
- 全国プラネタリウム研修会2024・富山 令和6年12月16日（月）～18日（水）  
富山市科学博物館 参加：鍵山 未明
  
- 日本プラネタリウム協議会 九州沖縄ワーキンググループ研修会  
令和7年1月28日（火）～29日（水） 鹿児島市立科学館 参加：堤 紀子
  
- 全国科学博物館協議会 理事会・総会 令和7年2月12日（水）～14日（金）  
兵庫県立人と自然の博物館 参加：鈴木 明子、伊藤 辰徳、山下 岳雄
  
- 日本生態学会 第72回大会 令和7年3月15日（土）～18日（火） 佐賀大学  
参加：岸田 竜

## 12. 広報・誘客事業

当館の活動を県内外に広く紹介し、利用の拡大につなげるため、県内はもとより近隣県へ各種広報活動・情報発信を行った。

### 12-1. 広報活動

令和6年3月の宇宙発見ゾーンのリニューアルを県内及び県外へ広くPR活動を展開した。県内外のメディア、新聞や雑誌等への積極的な情報提供とともに、ホームページ、WEB媒体、SNS等の掲載内容・掲載画像の見直しを行い、その上で広く発信を行った。

広報資料としては、各企画展やフェスタのチラシ・ポスターを作成した。県内教育事務所及び教育委員会を通じて配布し、県内の児童生徒への情報伝達に協力を依頼した。

また、県や近隣市町の観光関連団体との連携を強化し、地域連携活動を積極的に行い、地元観光の普及啓発にも努めた。

オリジナルキャラクター（ゆめぎんが★ウーたん）を活用した広報活動や宇宙食体験イベントの開催、多言語対応のリーフレット作成など、幅広い顧客層に対応する活動を行った。

#### ①誘客広報

項 目	内 容
県広報等の活用及び 県観光課との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県広報紙（県民だより、さがすき 等）</li> <li>・テレビ・ラジオ広報（佐賀県広報広聴課との連携 他）</li> <li>・県観光連盟ウェブサイトあそぼーさが、佐賀県親子向けウェブサイト、冊子等掲載</li> <li>・ショッピングセンター等へのポスター掲示（広報広聴課）</li> <li>・修学旅行ガイドブック、佐賀県観光素材集等掲載（佐賀県観光課、佐賀県観光連盟）</li> <li>・九州佐賀国際空港での宇宙食体験イベント開催</li> <li>・佐賀インターナショナルバルーンフェスタ ワークショップ出店（豪雨のため中止）</li> </ul>
市広報等の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市広報誌（武雄市報等）</li> <li>・武雄市観光協会ウェブサイト、デジタルサイネージ、地下鉄中吊り広告、チラシ等掲載</li> </ul>
新聞取材への協力 情報提供	<p>4月掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・春の企画展 ビーコロ 2024 × スイッチ展</li> <li>・宇宙発見ゾーンリニューアル</li> <li>・小型人工衛星「SaganSat0」完成披露</li> </ul> <p>5月掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・春の企画展 ビーコロ 2024 × スイッチ展</li> </ul> <p>6月掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水フェスタ</li> </ul> <p>7月掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の企画展 カラフル</li> <li>・講演会（JAXA 小型探査機「SLIM」プロジェクトマネージャー坂井真一郎氏）</li> <li>・武雄町老人クラブ連合会女性部 見学</li> <li>・英語でギャラリートーク</li> <li>・武雄市地域活性化会議</li> <li>・こども新聞（福岡） 宇宙発見ゾーン</li> <li>・佐賀新聞 学芸員ナビ</li> </ul> <p>8月掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小型人工衛星「SaganSat0」打ち上げ、ライブビューイング</li> <li>・夏の企画展 カラフル 5万人突破</li> <li>・小型人工衛星「SaganSat0」放出、ライブビューイング</li> </ul>

項 目	内 容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「身近な宇宙を楽しむ」</li> <li>・佐賀新聞こども新聞取材記事（ペンギンモドキ）</li> <li>・理科作品展</li> <li>・宇宙発見ゾーン体験</li> <li>9月掲載 <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会（JAXA 研究開発員 蘭幸太郎氏 佐賀県みやき町出身）</li> <li>・特集紙面「子育ていろは」宇宙発見ゾーン</li> </ul> </li> <li>10月掲載 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「すき⇄きらいマシーン」（スタッフ制作アイテム）</li> </ul> </li> <li>11月開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋の企画展 デジタル×スポーツ展</li> <li>・佐賀新聞 学芸員ナビ</li> <li>・ミュージアムショップ 売れ筋ランキング</li> </ul> </li> <li>12月掲載 <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇宙食体験イベント</li> <li>・宇宙の日絵画コンテスト入賞作品展</li> </ul> </li> <li>1月掲載 <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気フェスタ</li> <li>・宇宙食体験イベント</li> <li>・「武雄の自然や歴史・食の魅力を楽しむ旅」</li> <li>・宇宙の日絵画コンテスト最優秀賞</li> </ul> </li> <li>2月掲載 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャクサガスクール終了式</li> <li>・佐賀の貝化石</li> <li>・2025 春の企画展 ビーコロ×おもちゃ展</li> </ul> </li> <li>3月掲載 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆめぎんがこども記者 ～宇宙食体験レポート～</li> <li>・春の企画展 ビーコロ×おもちゃ展</li> </ul> </li> </ul>
テレビ・ラジオ放送局の取材協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4/6 NHK 北九州放送局 ニュース（小型人工衛星 SaganSat0 完成披露会）</li> <li>・4/9 NHK 佐賀放送局 ただいま佐賀（小型人工衛星 SaganSat0 完成披露会）</li> <li>・4/12 ケーブルワン サプライフ（ビーコロ×スイッチ展）</li> <li>・4/13 NHK 佐賀放送局 ただいま佐賀（小型人工衛星 SaganSat0 完成披露会）再放送</li> <li>・4/18 ケーブルワン サプライフ（宇宙発見ゾーンリニューアル）</li> <li>・4/19 NBC ラジオ ふるさと Wish（中継：宇宙発見ゾーンリニューアル）</li> <li>・4/19 ケーブルワン サプライフ（昭和基地ライブトーク紹介）</li> <li>・4/24 ケーブルワン サプライフ（南極・昭和基地の仕事や生活を知る）</li> <li>・4/26 ケーブルワン サプライフ（武雄の空をこいのぼりが泳ぐ）</li> <li>・4/29 テレビ九州 えりあ Navi（ビーコロ×スイッチ展）</li> <li>・4/30 TNC テレビ西日本 「町田とあわたが行く日帰り旅」（宇宙発見ゾーン）</li> <li>・5/1 NHK 福岡放送局 はっけんテレビ（宇宙発見ゾーンリニューアル）</li> <li>・5/1 NHK 福岡放送局 はっけんラジオ（電話出演：宇宙発見ゾーンリニューアル）</li> <li>・5/2 サガテレビ かちかち LIVE サガラボ（宇宙発見ゾーンリニューアル）</li> <li>・5/4 長崎文化放送 トコサタ（GW 佐賀ドライブ）</li> <li>・5/9 サガテレビ かちかち LIVE サガラボ（JAXAGA SCHOOL）</li> <li>・5/9 ケーブルワン サプライフ（GW の賑わい）</li> <li>・5/10 NHK 佐賀放送局 ただいま佐賀（SaganSat0 完成披露会）</li> <li>・5/13 KBC 九州朝日 ふるさと Wish（15秒 CM 放映）～5/19 まで</li> <li>・5/15 KBC ラジオ アサデス。ラジオ（ふるさと Wish 宇宙発見ゾーンリニューアル）</li> <li>・5/16 KBC 九州朝日 地元応援 live Wish +（中継：宇宙発見ゾーンリニューアル）</li> <li>・5/18 KBC ラジオ ふるさと Wish（5/16 中継の様子）</li> <li>・5/21 長崎文化放送 天気予報（背景映像 宇宙発見ゾーン）</li> <li>・5/23 多久ケーブルメディア 松竹梅～くらしを元気に!!（宇宙発見ゾーンリニューアル）</li> </ul>

項 目	内 容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5/25 RKB 毎日放送 ハカタの王様 (佐賀のアミューズメントパーク)</li> <li>・6/7 NHK 佐賀放送局 ただいま佐賀 (水フェスタ)</li> <li>・6/24 有田ケーブルテレビ tocotoco (水フェスタ) ～6/30 まで</li> <li>・6/25 長崎文化放送 天気予報 (背景映像 宇宙発見ゾーン)</li> <li>・7/5 ケーブルワン サプライフ (七夕かざりつけ)</li> <li>・7/5 NHK 佐賀放送局 ただいま佐賀 (週末おでかけ情報: 7/6 25周年記念講演会)</li> <li>・7/12 NHK 佐賀放送局 ただいま佐賀 (カラフル)</li> <li>・7/15 サガテレビ かちかちLIVE (カラフル)</li> <li>・7/17 ケーブルワン ニュース (武雄町老人クラブ連合会女性部 館長講演)</li> <li>・7/23 NHK 福岡放送局 はっけんテレビ (カラフル)</li> <li>・7/25 NHK 佐賀放送局 ただいま佐賀 (カラフル)</li> <li>・7/26 ケーブルワン ニュース (カラフル・西九州×武雄子ども園アート)</li> <li>・7/26 テレビ九州 週末おでかけ情報 (自由研究道場)</li> <li>・7/29 サガテレビ かちかちLIVE ニュース (カラフル)</li> <li>・8/5 有田ケーブルテレビ tocotoco (カラフル)</li> <li>・8/14 サガテレビ かちかちLIVE (カラフル)</li> <li>・8/14 サガテレビ かちかちLIVE (カラフル5万人達成セレモニー)</li> <li>・8/16 波佐見ケーブルテレビ (カラフル)</li> <li>・8/23 ケーブルワン サプライフ (武雄のあかりめぐり施設)</li> <li>・9/3 有田ケーブルテレビ ニュース (岡田匡史氏講演会)</li> <li>・9/11 NHK 佐賀放送局 ただいま佐賀 (週末おでかけ情報: ソラフェスタ)</li> <li>・9/12 ケーブルワン サプライフ (SaganSat0 高校生インタビュー)</li> <li>・9/13 NHK 佐賀放送局 ただいま佐賀 (ソラフェスタ)</li> <li>・9/13 ケーブルワン サプライフ (ソラフェスタ)</li> <li>・9/21 関西テレビ 「決裁! こども社長」(すき♡きらいマシーン)</li> <li>・10/22 ケーブルワン (宇宙の日講演会 赤木謙介氏)</li> <li>・10/24 テレビ九州 (宇宙の日講演会 赤木謙介氏) ～10/26 まで</li> <li>・11/5 NHK 佐賀放送局 ただいま佐賀 (サイエンス教室: 大型熱気球を飛ばそう)</li> <li>・11/19 サガテレビ カチカチLIVE (佐賀人十色)</li> <li>・11/23 TSK 島根・高知さんさんテレビ 「決裁! こども社長」(すき♡きらいマシーン)</li> <li>・11/27 NHK 佐賀放送局 ただいま佐賀 (デジタル×スポーツ展)</li> <li>・12/ 7 サガテレビ 「決裁! こども社長」(すき♡きらいマシーン)</li> <li>・12/10 NHK 佐賀放送局 ただいま佐賀 (西日本の旅「星に魅せられて (武雄)」)</li> <li>・12/13 NHK 佐賀放送局 ただいま佐賀 (しめ縄づくりとクリスマス飾りつけ)</li> <li>・12/13 NHK 佐賀放送局 おかえり 845 (しめ縄づくりとクリスマス飾りつけ)</li> <li>・12/14 鹿島ケーブルテレビ ニュース (宇宙の日絵画コンテスト表彰式)</li> <li>・12/16 ケーブルワン サプライフ (しめ縄づくりとクリスマス飾りつけ)</li> <li>・12/17 NHK 列島ニュース (西日本の旅「星に魅せられて (武雄)」)</li> <li>・12/20 NHK 佐賀放送局 ただいま佐賀 (電気フェスタ・有明海特産のり)</li> <li>・1/10 ケーブルワン サプライフ (宇宙食体験イベント)</li> <li>・1/15 テレビ朝日 くりいむクイズ ミラクル9</li> <li>・1/21 ケーブルワン サプライフ (JAXAGA SCHOOL)</li> <li>・1/28 NHK 大分放送局 ニュース (西日本の旅「星に魅せられて (武雄)」)</li> <li>・2/5 武雄市情報番組たけラジ (出演: 館長 鈴木明子)</li> <li>・2/9 サガテレビ ニュース (ゆるキャラスポーツフェス@サンライズパーク)</li> <li>・2/27 NHK 佐賀放送局 お昼のニュース (新種「サガノシオガマ」初公開)</li> <li>・3/1 NBC ラジオ ビーコロ×おもちゃ展 告知CM ～3/14 まで</li> <li>・3/12 サガテレビ かちかちLIVE 「値切り侍」(ビーコロ×おもちゃ展)</li> <li>・3/13 LOVE FM さがの小部屋 (ビーコロ×おもちゃ展)</li> <li>・3/14 NBC ラジオ あさから (中継: ビーコロ×おもちゃ展)</li> <li>・3/19 KBC 九州朝日 アサデス (展示アイテム: スピードガン紹介)</li> <li>・3/21 RKB 毎日放送 タダイマ (ビーコロ×おもちゃ展)</li> </ul>

項 目	内 容
雑誌等への情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行誌 るるぶ佐賀</li> <li>・旅行誌 るるぶ情報版「こどもとあそぼ！九州」</li> <li>・旅行誌 九州ウォーカー</li> <li>・旅行誌 九州じゃらん</li> <li>・旅行誌 九州 LOVE Walker</li> <li>・旅行誌 パパママ Walker</li> <li>・情報誌 ながさきプレス</li> <li>・情報誌 ワイヤーさが</li> <li>・情報誌 ワイヤーママ長崎</li> <li>・情報誌 福岡小学生新聞「We can！」</li> <li>・情報誌 ながさきプレス</li> <li>・情報誌 長崎新聞「メクル」</li> <li>・情報誌 muchu！</li> <li>・情報誌 ドライブガイド九州</li> <li>・月刊誌 星ナビ</li> <li>・月刊誌 Newton</li> <li>・その他 全科協ニュース ※「ミュージアムキャラクターのすゝめ」寄稿含む</li> <li>・その他 サイエンスウィンドウ「サイエンスティーム」</li> <li>・その他 NEXCO 西日本九州「HIGHWAY PLUS」</li> <li>・その他 県移住雑誌「TURNS」</li> <li>・その他 こども新聞（福岡）おでかけガイド</li> <li>・その他 佐賀新聞「オリジナルクーポン冊子」</li> <li>・その他 博物館ガイド</li> <li>・その他 学研の図鑑 LIVE 宇宙（新版）</li> <li>・WEB あそぼーさが</li> <li>・WEB 旅色</li> <li>・WEB ミュージアムピック</li> <li>・WEB 東京海上宇宙メディア「Space Mate」</li> <li>・WEB ウォーカープラス</li> <li>・WEB じゃらんニュース</li> <li>・WEB JR 西日本「おでかけガイド」</li> <li>・WEB じゃらん net</li> <li>・WEB 多言語情報サイト GOOD LUCK TRIP</li> <li>・WEB ふくおかサポートねっと</li> <li>・WEB 九州サイト</li> <li>・WEB イタルータス通信社（TASS 通信）</li> <li>・WEB アクロス福岡 おでかけナビ</li> <li>・WEB いこうよ</li> <li>・WEB イベントバング</li> <li>・WEB YouTube「九州をつなぎ隊」（九州観光機構）</li> <li>・WEB スマートニュース</li> <li>・WEB YouTube「佐賀よかでしょう」</li> <li>・WEB ABEMA NEWS「週刊 BUZZ 動画」（グラヴィティ ジャンプ）</li> </ul>
近隣施設における 広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅、商業施設、観光案内所等にチラシ等を設置し、地元観光客誘致を図った。</li> <li>・多言語リーフレットを武雄・嬉野市内の宿泊施設に設置し、インバウンド誘客を行った。</li> <li>・駅前イベントにワークショップを出店し、館への誘客を図った。</li> <li>・団体企業等の宣伝広告物等への掲載や企画連携に取り組んだ。</li> <li>・館内イベントに観光関係、メディア関係者を招待し、広報連携につなげた。</li> <li>・近隣の観光施設に優待券を設置し、利用促進を図った。</li> </ul>
郵送による広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県外施設にチラシを送付し、イベントの紹介を依頼した。</li> </ul> <p>【主な送付先】図書館、博物館、科学館、レジャー施設、大学 他</p>

項 目	内 容
ポスター掲示及びチラシ等の配布	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内小中学校、公民館には、佐賀県庁や教育事務所等の文書発信棚を利用して配布</li> <li>・県内観光案内所や道の駅、図書館、武雄・嬉野市内の宿泊施設 等に持参して設置依頼</li> </ul>
県広報の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民だより等広報紙のイベント情報欄への掲載や各パブリシティの佐賀県枠等で広報</li> </ul>

## ②プラネタリウム広報

項 目	内 容
報道機関への情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県政記者室、武雄市政記者クラブへプレスリリースによる新番組、プラネタリウムイベント等の情報提供</li> </ul>
旅行会社への広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「プラネタリウム観覧のみ」のツアーを提案</li> </ul>
県広報の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県広報紙、テレビ・ラジオ等での広報</li> </ul>

## ③企画展

項 目	内 容
メディアの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パブリシティによる広報</li> </ul>
報道機関への情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県政記者室、武雄市政記者クラブへプレスリリースによる企画展・イベント等の情報提供</li> <li>・PR TIMES による広域なイベント情報提供</li> <li>・メディア担当者への直接情報提供</li> </ul>

## 12-2. 訪問による集客活動

県内の観光連盟や観光協会を訪問し、連携した活動を行うことで関係性を構築した。その他、教育機関、生涯学習課等や、近隣県のメディア、旅行会社等へ訪問し、活動の紹介を含めたPRを実施。

都 道 府 県	訪 問 先
佐賀県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ局、ラジオ局、新聞社</li> <li>・道の駅、サービスエリア等の観光情報コーナー</li> <li>・近隣の保育園、観光施設、図書館、書店、市民ホール、商工会議所 他</li> </ul>
福岡県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ局、ラジオ局</li> <li>・旅行代理店（福岡市、北九州市）</li> <li>・大型商業施設</li> </ul>
長崎県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ局、ラジオ局、新聞社</li> <li>・旅行会社（長崎市）</li> </ul>

## 12-3. 広聴活動

恒常的に来館者へのアンケート調査を実施し、来場者から当館への意見要望等を収集し、日常業務の見直し及び改善を行うとともに、広報活動の参考とした。

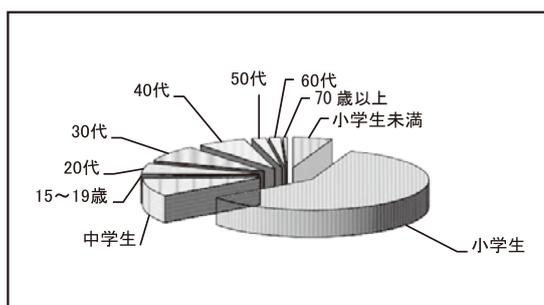
また、企画展の企画運営の参考とするために、企画展毎の来館者アンケート調査も行った。

## 企画展来館者アンケート結果

企画展名 : ビーコロ×スイッチ展  
 調査期間 : 令和6年3月16日～令和6年5月6日  
 回答者数 : 318人  
 調査方法 : 配票調査法

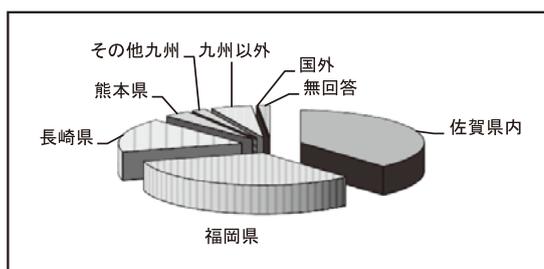
### 1. 年齢

	人数(人)		(割合)
		累計	
小学生未満	17	17	(5.3%)
小学生	187	187	(58.8%)
中学生	30	30	(9.4%)
15～19歳	2	2	(0.6%)
20代	17	17	(5.3%)
30代	27	27	(8.5%)
40代	21	21	(6.6%)
50代	6	6	(1.9%)
60代	5	5	(1.6%)
70歳以上	2	2	(0.6%)
無回答	4	4	(3.5%)



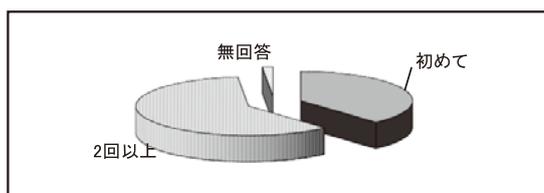
### 2. 出発地 (どこからお越しですか)

	人数(人)	(割合)
佐賀県内	122	(38.4%)
福岡県	103	(32.4%)
長崎県	54	(17.0%)
熊本県	11	(3.5%)
その他九州	6	(1.9%)
九州以外	17	(5.3%)
国外	0	(0.0%)
無回答	5	(1.6%)



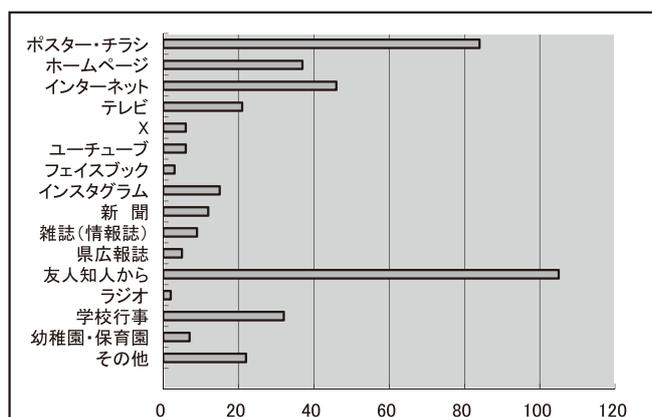
### 3. 科学館への来館数

	人数(人)	(割合)
初めて	90	(28.3%)
2回以上	215	(67.6%)
無回答	13	(4.1%)



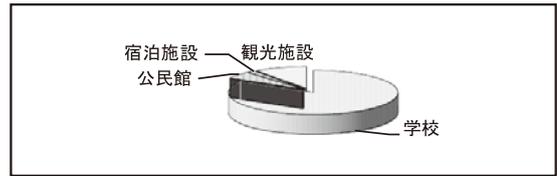
### 4. 情報入手先

	人数(人)	(割合)
ポスター・チラシ	84	(20.4%)
ホームページ	37	(9.0%)
インターネット	46	(15.8%)
テレビ	21	(7.2%)
X	6	(2.7%)
ユーチューブ	6	(2.7%)
フェイスブック	3	(1.3%)
インスタグラム	15	(6.7%)
新聞	12	(5.4%)
雑誌(情報誌)	9	(4.0%)
県広報誌	5	(2.2%)
友人知人から	105	(46.9%)
ラジオ	2	(0.9%)
学校行事	32	(14.3%)
幼稚園・保育園	7	(3.1%)
その他	22	(9.8%)



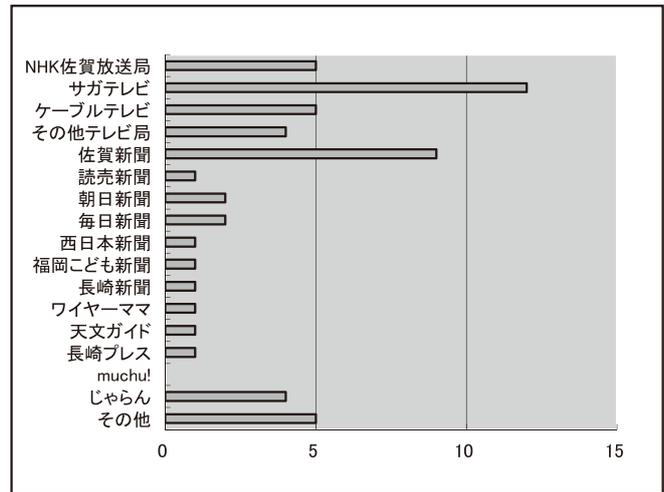
4-1. ポスター・チラシをどちらで入手しましたか

	人数(人)	(割合)
学 校	66	(83.5%)
公 民 館	4	(5.1%)
宿 泊 施 設	1	(1.3%)
観 光 施 設	8	(10.1%)



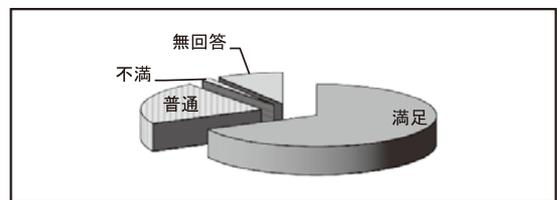
4-2. テレビ・新聞・雑誌の入手元を教えてください

	人数(人)	(割合)
NHK佐賀放送局	5	(10.0%)
サガテレビ	12	(24.0%)
ケーブルテレビ	5	(15.2%)
その他テレビ局	4	(12.1%)
佐賀新聞	9	(37.5%)
読売新聞	1	(4.2%)
朝日新聞	2	(8.3%)
毎日新聞	2	(8.3%)
西日本新聞	1	(4.2%)
福岡こども新聞	1	(4.2%)
長崎新聞	1	(4.2%)
ワイヤーママ	1	(4.2%)
天文ガイド	1	(4.2%)
長崎プレス	1	(4.2%)
m u c h u !	0	(0.0%)
じゃらん	4	(16.7%)
その他	5	(26.3%)



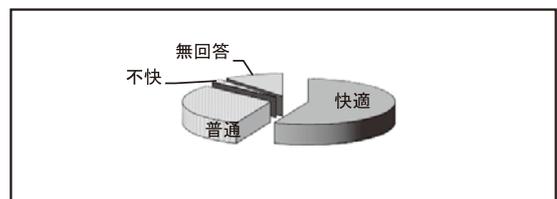
5. 接客対応はいかがでしたか

	人数(人)	(割合)
満 足	214	(67.7%)
普 通	70	(22.2%)
不 満	4	(1.3%)
無 回 答	28	(8.9%)



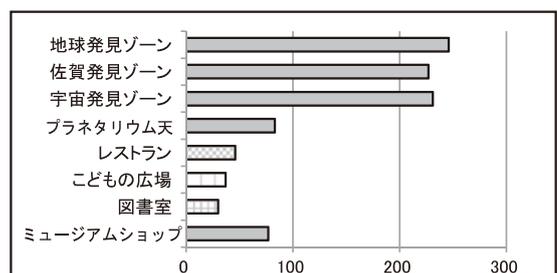
6. 館内の設備はいかがでしたか

	人数(人)	(割合)
快 適	179	(56.3%)
普 通	98	(30.8%)
不 快	6	(1.9%)
無 回 答	35	(11.0%)



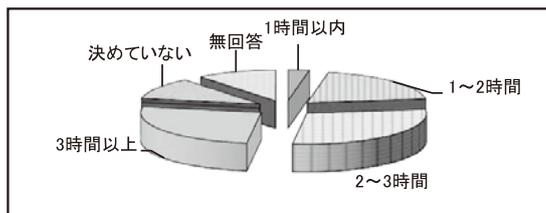
7. 当館での利用した施設について

	人数(人)	(割合)
地球発見ゾーン	246	(19.0%)
佐賀発見ゾーン	227	(17.5%)
宇宙発見ゾーン	231	(17.8%)
プラネタリウム・天文台	83	(6.4%)
レストラン	46	(5.9%)
こどもの広場	37	(4.8%)
図書室	30	(3.9%)
ミュージアムショップ	77	(9.9%)



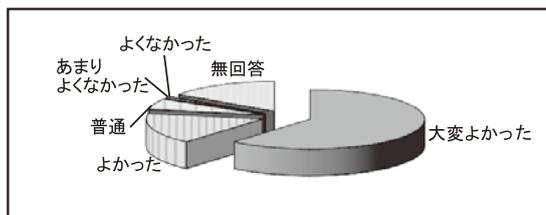
8. 当館での滞在時間（予定）について

	人数（人）	（割合）
1 時 間 以 内	9	(2.8%)
1 ～ 2 時 間	64	(20.1%)
2 ～ 3 時 間	92	(28.9%)
3 時 間 以 上	83	(26.1%)
決 め て い な い	36	(11.3%)
無 回 答	34	(10.7%)



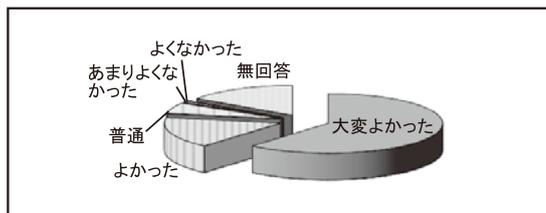
9. 企画展はいかがでしたか

	人数（人）	（割合）
大 変 よ か っ た	195	(61.3%)
よ か っ た	53	(16.7%)
普 通	18	(5.7%)
あ ま り よ く な か っ た	2	(0.6%)
よ く な か っ た	1	(0.3%)
無 回 答	49	(15.4%)



10. リニューアルした宇宙発見ゾーンについて

	人数（人）	（割合）
大 変 よ か っ た	168	(52.8%)
よ か っ た	71	(22.3%)
普 通	22	(6.9%)
あ ま り よ く な か っ た	3	(0.9%)
よ く な か っ た	1	(0.3%)
無 回 答	53	(16.7%)

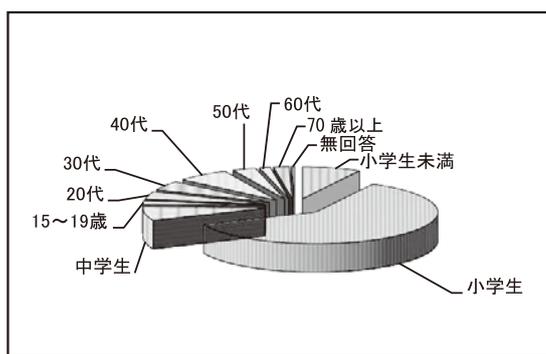


企画展来館者アンケート結果

企画展名 : カラフル  
 調査期間 : 令和6年7月13日～令和6年9月1日  
 回答者数 : 490人  
 調査方法 : 配票調査法

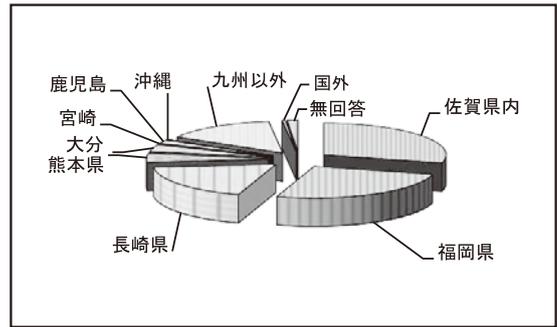
1. 年齢

	人数（人）		（割合）
		累計	
小 学 生 未 満	38	38	(7.8%)
小 学 生	297	297	(60.6%)
中 学 生	35	35	(7.1%)
15 ～ 19 歳	10	10	(2.0%)
20 代	19	19	(3.9%)
30 代	23	23	(4.7%)
40 代	34	34	(6.9%)
50 代	15	15	(3.1%)
60 代	7	7	(1.4%)
70 歳 以 上	10	10	(2.0%)
無 回 答	2	2	(0.4%)



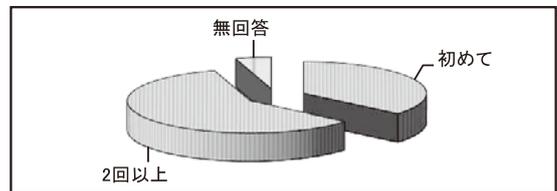
## 2. 出発地（どこからお越しですか）

	人数（人）	（割合）
佐賀県内	143	(29.2%)
福岡県	126	(25.7%)
長崎県	91	(18.6%)
熊本県	22	(4.5%)
大分県	17	(3.5%)
宮崎県	1	(0.2%)
鹿児島	8	(1.6%)
沖縄	1	(0.2%)
九州以外	72	(14.7%)
国外	2	(0.4%)
無回答	7	(1.4%)



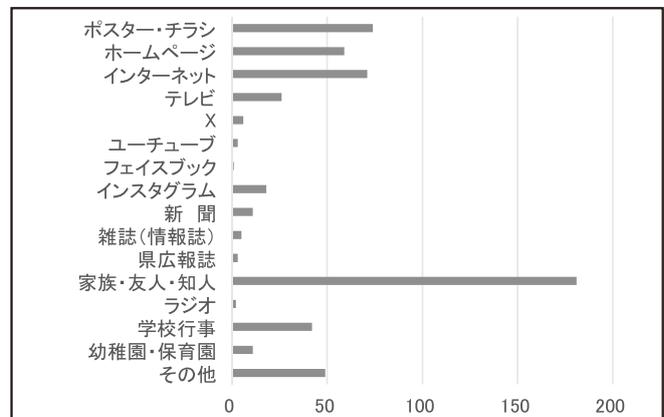
## 3. 科学館への来館数

	人数（人）	（割合）
初めて	177	(36.1%)
2回以上	290	(59.2%)
無回答	23	(4.7%)



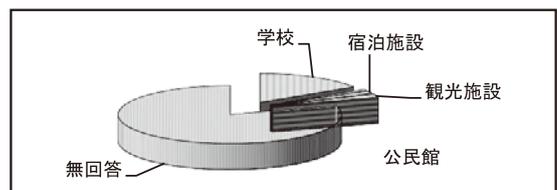
## 4. 情報入手先

	人数（人）
ポスター・チラシ	74
ホームページ	59
インターネット	71
テレビ	26
X	6
ユーチューブ	3
フェイスブック	1
インスタグラム	18
新聞	11
雑誌（情報誌）	5
県広報誌	3
家族・友人・知人	181
ラジオ	2
学校行事	42
幼稚園・保育園	11
その他	49



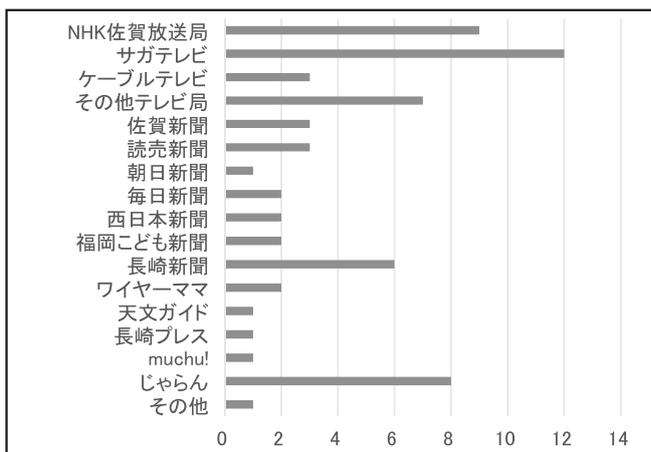
### 4-1. ポスター・チラシをどちらで入手しましたか

	人数（人）	（割合）
学校	78	(15.9%)
公民館	4	(0.8%)
宿泊施設	7	(1.4%)
観光施設	9	(1.8%)
無回答	392	(80.0%)



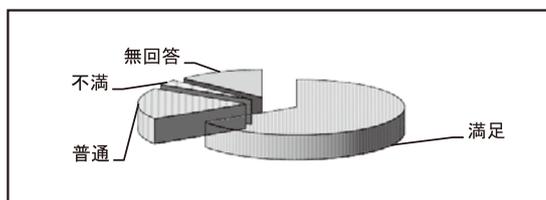
4-2. テレビ・新聞・雑誌の入手元を教えてください

	人数(人)
NHK佐賀放送局	9
サガテレビ	12
ケーブルテレビ	3
その他テレビ局	7
佐賀新聞	3
読売新聞	3
朝日新聞	1
毎日新聞	2
西日本新聞	2
福岡こども新聞	2
長崎新聞	6
ワイヤーママ	2
天文ガイド	1
長崎プレス	1
muchu!	1
じゃらん	8
その他	1



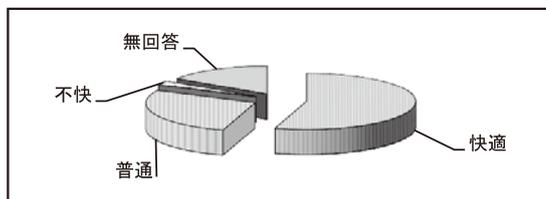
5. 接客対応はいかがでしたか

	人数(人)	(割合)
満足	323	(65.9%)
普通	89	(18.2%)
不満足	15	(3.1%)
無回答	63	(12.9%)



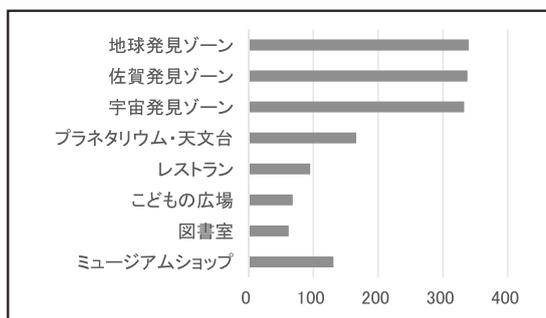
6. 館内の設備はいかがでしたか

	人数(人)	(割合)
快適	268	(54.7%)
普通	135	(27.6%)
不快	11	(2.2%)
無回答	76	(15.5%)



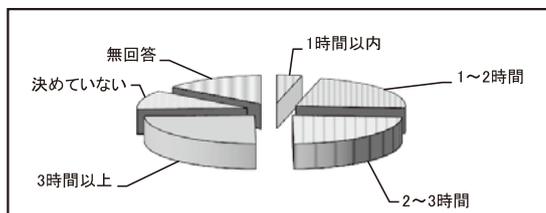
7. 当館での利用した施設について

	人数(人)
地球発見ゾーン	340
佐賀発見ゾーン	338
宇宙発見ゾーン	333
プラネタリウム・天文台	166
レストラン	95
こどもの広場	68
図書室	62
ミュージアムショップ	131



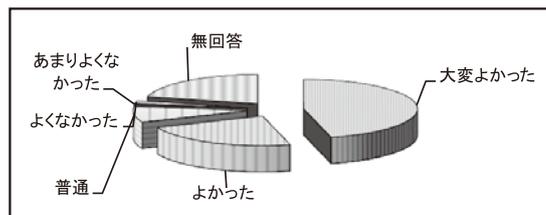
8. 当館での滞在時間(予定)について

	人数(人)	(割合)
1時間以内	18	(3.7%)
1~2時間	110	(22.4%)
2~3時間	116	(23.7%)
3時間以上	121	(24.7%)
決めていない	52	(10.6%)
無回答	73	(14.9%)



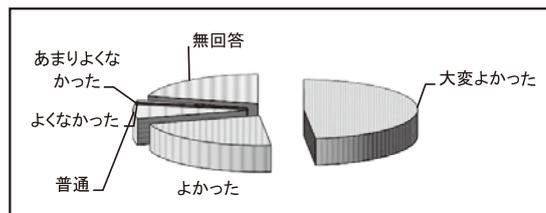
9. 企画展はいかがでしたか

	人数(人)	(割合)
大変よかった	226	(46.1%)
よかった	110	(22.4%)
普通	42	(8.6%)
あまりよくなかった	2	(0.4%)
よくなかった	7	(1.4%)
無回答	103	(21.0%)



10. リニューアルした宇宙発見ゾーンについて

	人数(人)	(割合)
大変よかった	237	(48.4%)
よかった	108	(22.0%)
普通	36	(7.3%)
あまりよくなかった	2	(0.4%)
よくなかった	5	(1.0%)
無回答	102	(20.8%)

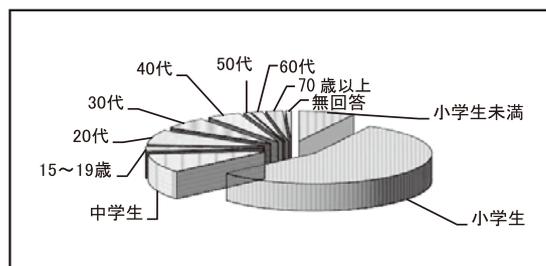


企画展来館者アンケート結果

企画展名 : デジタル×スポーツ展  
 調査期間 : 令和6年10月19日～令和6年12月8日  
 回答者数 : 129人  
 調査方法 : 配票調査法

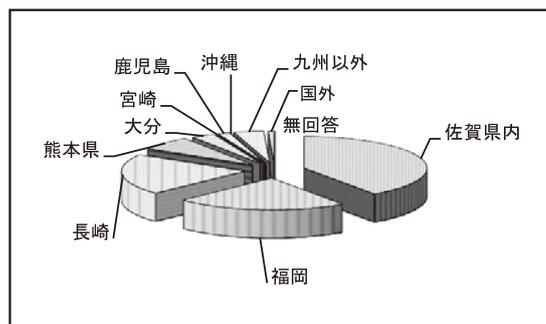
1. 年齢

	人数(人)	(割合)
小学生未満	10	(7.8%)
小学生	72	(55.8%)
中学生	13	(10.1%)
15～19歳	3	(2.3%)
20代	10	(7.8%)
30代	8	(6.2%)
40代	6	(4.7%)
50代	1	(0.8%)
60代	2	(1.6%)
70歳以上	3	(2.3%)
無回答	1	(0.8%)



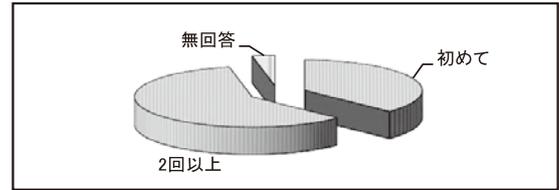
2. 出発地(どこからお越しですか)

	人数(人)	(割合)
佐賀県内	52	(40.3%)
福岡	29	(22.5%)
長崎	27	(20.9%)
熊本	9	(7.0%)
大分	4	(3.1%)
宮崎	0	(0.0%)
鹿児島	2	(1.6%)
沖縄	0	(0.0%)
九州以外	5	(3.9%)
国外	1	(0.8%)
無回答	0	(0.0%)



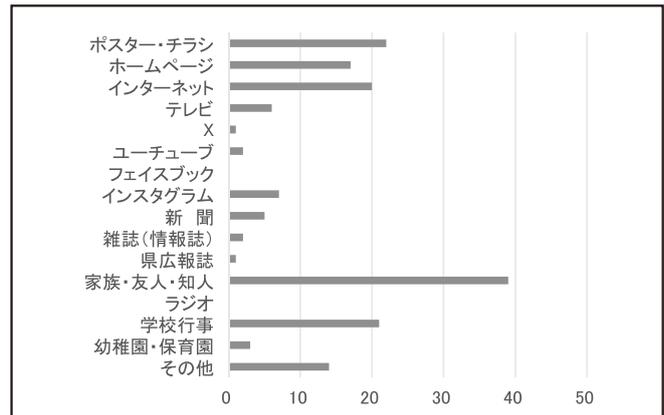
### 3. 科学館への来館数

	人数(人)	(割合)
初  め  て	48	(37.2%)
2 回 以 上	77	(59.7%)
無 回 答	4	(3.1%)



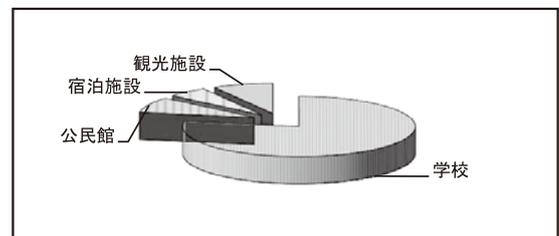
### 4. 情報入手先

	人数(人)
ポスター・チラシ	22
ホームページ	17
インターネット	20
テレビ	6
X	1
ユーチューブ	2
フェイスブック	0
インスタグラム	7
新聞	5
雑誌(情報誌)	2
県広報誌	1
家族・友人・知人	39
ラジオ	0
学校行事	21
幼稚園・保育園	3
その他	14



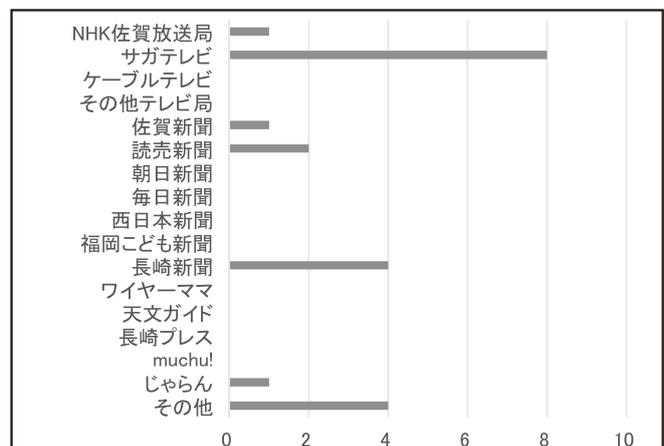
#### 4-1. ポスター・チラシをどちらで入手しましたか

	人数(人)	(割合)
学 校	28	(21.7%)
公 民 館	3	(2.3%)
宿 泊 施 設	2	(1.6%)
観 光 施 設	3	(2.3%)
無 回 答	93	(72.1%)



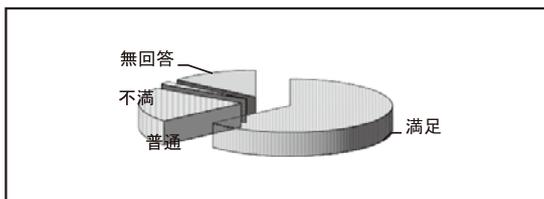
#### 4-2. テレビ・新聞・雑誌の入手元を教えてください

	人数(人)
NHK佐賀放送局	1
サガテレビ	8
ケーブルテレビ	0
その他テレビ局	0
佐賀新聞	1
読売新聞	2
朝日新聞	0
毎日新聞	0
西日本新聞	0
福岡子ども新聞	0
長崎新聞	4
ワイヤーママ	0
天文ガイド	0
長崎プレス	0
m u c h u !	0
じゃらん	1
その他	4



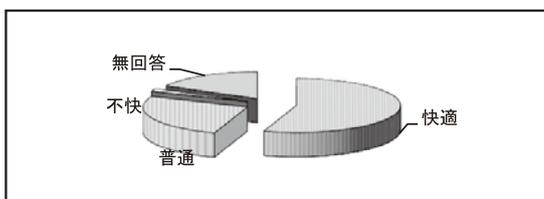
5. 接客対応はいかがでしたか

	人数(人)	(割合)
満 足	82	(63.6%)
普 通	27	(20.9%)
不 満	2	(1.6%)
無 回 答	18	(14.0%)



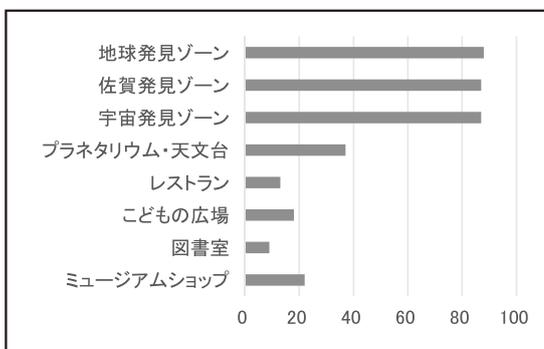
6. 館内の設備はいかがでしたか

	人数(人)	(割合)
快 適	71	(55.0%)
普 通	34	(26.4%)
不 快	2	(1.6%)
無 回 答	22	(17.1%)



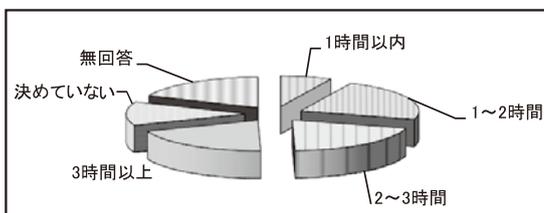
7. 当館での利用した施設について

	人数(人)
地球発見ゾーン	88
佐賀発見ゾーン	87
宇宙発見ゾーン	87
プラネタリウム・天文台	37
レストラン	13
こどもの広場	18
図書室	9
ミュージアムショップ	22



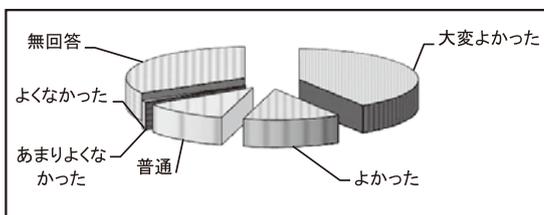
8. 当館での滞在時間(予定)について

	人数(人)	(割合)
1時間以内	9	(7.0%)
1～2時間	29	(22.5%)
2～3時間	26	(20.2%)
3時間以上	25	(19.4%)
決めていない	16	(12.4%)
無 回 答	24	(18.6%)



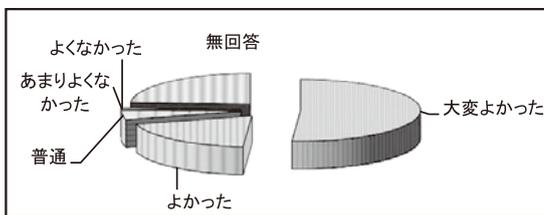
9. 企画展はいかがでしたか

	人数(人)	(割合)
大変よかった	53	(41.1%)
よかった	17	(13.2%)
普通	15	(11.6%)
あまりよくなかった	0	(0.0%)
よくなかった	1	(0.8%)
無 回 答	43	(33.3%)



10. リニューアルした宇宙発見ゾーンについて

	人数(人)	(割合)
大変よかった	66	(51.2%)
よかった	25	(19.4%)
普通	6	(4.7%)
あまりよくなかった	0	(0.0%)
よくなかった	1	(0.8%)
無 回 答	31	(24.0%)



## 13. SPACE PARK（スペースパーク）管理運営業務

### 13-1. 管理運営の目的・方針・管理・保全の実施体制

#### (1) 管理運営目的

九州佐賀国際空港に設置されたSPACE PARK（スペースパーク）は、子ども連れの家族などが楽しみながら休憩もできる居心地の良い空間である。当該スペースを佐賀県立宇宙科学館が管理運営を行うことにより、宇宙をテーマに、宇宙や科学への関心を高める契機になり、かつ子どもたちの夢や志を育むスペースとして活用していくことを目指す。

#### (2) 管理運営方針

佐賀ターミナルビル株式会社との各種契約業務を含め、SPACE PARK（スペースパーク）を来訪された方が快適・安全に利用できるような管理・保全を行う。また、宇宙や佐賀に関する展示や教育普及のノウハウと、長年にわたるJAXAとの連携実績を活かし、県民、帰省客、観光客、ビジネスマンなどの空港利用者が気軽に立ち寄り、宇宙と佐賀への関心を高めることのできる場所づくりを通じ、魅力的な空間となるように取り組む。

#### (3) 管理・保全の実施体制

日常的な展示の現状確認、物品の安全管理、衛生管理、その他管理保全に関する点検、清掃等については、空港を管理する佐賀ターミナルビル株式会社に再委託を行い実施した。スペースパーク利用者のモニタリング調査を実施するためのモニタリングカメラが設置されており、宇宙科学館の経営管理室から現地の様子をモニタリングが可能となっている。

### 13-2. イベント・展示内容

イベントや展示更新は、研究交流グループのスタッフと広報営業グループとが連携して実施した。県やJAXAの配布物および、宇宙科学館のリーフレット・チラシ類の配架・補充も適時行った。

#### イベントの実施方針

県とJAXAの連携協定を踏まえ、宇宙に対する子どもたちの関心を高める教育や人材育成に資するイベント・ワークショップを以下のような方向で検討し、魅力的な空間づくりにもつなげる。

- 佐賀県と宇宙をつなぐテーマや、自然・環境・防災など、科学技術を身近に感じることができるプログラム
- 宇宙科学館で実施する企画展のサテライト会場として、関連する展示やイベント
- 県内の自治体や観光関係者、企業等と連携した展示やイベント

(1) 令和6年度ワークショップの実施

	イベント	実施日
1	「スペースパーク AR クイズラリー」	4月27日～6月2日
2	「スペースパーク AR フレームコレクション」	8月1日～9月1日
3	「AR12 星座フォトフレーム」	9月24日～継続中
4	「宇宙食を食べてみよう～宇宙飛行士の食事を再現～」	12月21日～22日
5	「AR フォトフレーム更新：元素おみくじルーレット」	12月22日～1月31日



「宇宙食を食べてみよう」イベント様子

(2) 展示内容

展示更新の方針

展示内容が古くならないよう、発信情報を適時更新する。JAXAの宇宙技術や宇宙開発の進展状況、県とJAXAの連携事業の成果等に応じ、更新の必要な内容を検討して計画を立案し、県文化課と協議の上実施している。

(3) 映像展示

宇宙への情熱と探求心を刺激し、佐賀県が宇宙開発との新たな結びつきを築く場所として設計されたスペースパークにて、佐賀県と宇宙開発の融合をテーマに、8面マルチの大型スクリーンで映像展示を行っている。映像展示では、幅広い宇宙関連コンテンツを楽しむことができるように工夫し、最新の宇宙技術やミッションに関する情報の提供、宇宙に関する驚くべき映像の上映、宇宙科学の啓発的なプログラムなど、サテライトスペースを訪れる来場者にとって魅力的な空間にする。



# 第 3 章

資

料



# 1 沿 革

- 昭和 60 年度 ○ 佐賀天文協会からの「プラネタリウム建設に関する請願書」が県議会で採択
- 昭和 62 年度 ○ 建設調査委員会(庁内委員会)を設置
- 平成元年度 ○ 構想調査委員会を設置
- 平成 2 年度 ○ 建設構想委員会の発足
- 平成 4 年度 ○ 基本構想策定
- 平成 5 年度 ○ 展示基本計画策定
- 平成 6 年度 ○ 施設・活動運営計画策定  
○ 建設地を「武雄市保養村」に決定
- 平成 7 年度 ○ 建築基本設計、展示基本設計完了
- 平成 8 年度 ○ 建物及び建築実施設計完了
- 平成 9 年度 ○ 建設用地造成完了(保養村造成事業/武雄市)  
○ 建設工事着工(H9. 7. 22)
- 平成 10 年度 ○ 建設工事完了  
○ 愛称を「ゆめぎんが」に決定
- 平成 11 年度 ○ 佐賀県立宇宙科学館設置(H11. 4. 1)  
○ 開館(H11. 7. 8)
- 平成 12 年度 ○ 開館 1 周年特別企画展  
○ 「大集合! 生きている世界のカブトムシ・クワガタ」(H12. 7. 8~8. 31)  
○ ロボット犬アイボ 2 体導入(H12. 8. 4)
- 平成 13 年度 ○ 平成 13 年度特別企画展「宇宙へのチャレンジ ~君も宇宙飛行士だ! ~」  
(H13. 7. 7~9. 2)
- 平成 14 年度 ○ 平成 14 年度特別企画展「昆虫の科学」(H14. 7. 13~9. 1)  
○ プラネタリウム観覧者 30 万人達成(H14. 10. 25)  
○ 入館者 100 万人達成(H14. 10. 30)
- 平成 15 年度 ○ 平成 15 年度特別企画展「探検! おもちゃの国」(H15. 7. 8~8. 31)  
○ 日本科学未来館館長の毛利衛氏来館(H16. 1. 21)
- 平成 16 年度 ○ 平成 16 年度特別企画展「恐竜 ~今甦るゴビの大地から」(H16. 7. 13~8. 31)
- 平成 17 年度 ○ 平成 17 年度特別企画展「時間旅行」(H17. 7. 16~9. 19)  
○ 18 年度からの指定管理者として、乃村・松尾宇宙科学館活性化  
共同事業体が選定される(H17. 11. 11)
- 平成 18 年度 ○ 4 月 1 日より指定管理者による運営開始  
○ GW 特別企画展「帰ってきた科学の子供たち  
~バンダイコレクションのなつかしのおもちゃ展~」(H18. 4. 29~5. 7)  
○ 夏の特別企画展「昆虫ワールド ~地球の小さな仲間たち~」  
(H18. 7. 12~9. 3)  
○ 秋の特別企画展「小惑星探査機『はやぶさ』の挑戦! ~星の王子さまへの旅~」  
(H18. 9. 16~11. 26)  
○ 冬の特別企画展「もつれた糸を解きほぐせ! ~科学捜査の世界~」  
(H18. 12. 23~H19. 2. 25)
- 平成 19 年度 ○ GW 特別イベント「3D の世界と 3D ハイビジョン~」(H19. 4. 28~5. 6)  
○ 入館者 200 万人達成(H19. 7. 14)  
○ 夏の特別企画展「玄海と有明海 ~ふるさとを育んだふたつの海~」  
(H19. 7. 14~9. 2)  
○ 秋の特別企画展「温室効果ガス ~急変する地球環境~」(H19. 10. 13~12. 2)  
○ 冬の特別企画展「月 ~45 億年の絆~」(H19. 12. 15~H20. 2. 17)  
○ 春の特別企画展「台風がやってきた!」(H20. 3. 5~4. 8)  
○ レンズみがき教室開始(H20. 3)
- 平成 20 年度 ○ GW 特別企画展「驚異の植物『ラン』~アッと驚く生きるための戦略~」  
(H20. 4. 26~5. 11)  
○ 夏の特別企画展「夏休みロボット村と安彦良和 原画展」(H20. 7. 19~8. 31)  
○ 秋の特別企画展「ディープ・シー ~極限のフロンティア~」(H20. 10. 4~11. 24)  
○ 冬の特別企画展「ニュートリノ ~地球をもすり抜けるユーレイ粒子を  
つかまえろ! ~」(H20. 12. 20~H21. 2. 15)  
○ 春の特別企画展「温泉 ~地球の恵みを科学するから」(H21. 3. 20~5. 10)  
○ 21 年度からの指定管理者として、乃村・松尾宇宙科学館活性化共同  
事業体が選定される(H20. 12. 18)
- 平成 21 年度 ○ 開館 10 年記念行事(H21. 7. 8~7. 12)  
○ 小惑星 12746 を Yumeginga と命名(H21. 7)

- 夏の特別企画展「古今東西 宇宙へのあこがれ」(H21. 7. 18～9. 13)
- 秋冬の企画展「“TELE” ～経験を共有する技術～」(H21. 10. 24～H22. 1. 31)
- 春の特別展「方言で味わう佐賀の植物」(H22. 2. 14～3. 14)
- 春の企画展「川と海を旅する魚たち」(H22. 3. 20～5. 9)
- 平成 22年度
  - 夏の特別企画展「恐竜展 ～トリケラトプスの世界～」(H22. 7. 17～9. 12)
  - 秋冬の企画展「飛ぶ ～空へ宇宙へ～」(H22. 10. 23～H23. 1. 30)
  - 小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセル特別公開 (H22. 11. 27～11. 30)
  - 春の企画展「ビー玉 コロコロ パラダイス ～ナニガオコルカナ～」(H23. 3. 19～5. 8)
- 平成 23年度
  - 夏の特別企画展「恐竜展Ⅱ ～肉食恐竜の世界～」(H23. 7. 16～9. 11)
  - 秋冬の企画展「『撮る』テクノロジー ～ありのままを記録する技術～」(H23. 10. 22～H24. 1. 29)
  - 総入館者 300 万人達成 (H23. 11. 26)
  - 春の企画展「ビーコロ 2012」(H24. 3. 17～5. 6)
  - 24年度からの指定管理者として、乃村・松尾宇宙科学館活性化共同事業体が選定される (H23. 12. 23)
- 平成 24年度
  - 夏の特別企画展「飛び出せ！宇宙へ！」(H24. 7. 14～9. 17)
  - 秋冬の企画展「じしゃくのヒミツ ～磁石であそぼ！～」(H24. 10. 20～H25. 1. 29)
  - 春の企画展「ビーコロ 2013」(H25. 3. 16～5. 6)
- 平成 25年度
  - 夏の特別企画展「ジャングル ～熱帯の森の生き物～」(H25. 7. 13～9. 16)
  - 秋冬の企画展「人工衛星のふるさと九州 ～超小型衛星開発@九州～」(H25. 11. 23～H26. 2. 2)
  - 春の企画展「ビーコロ 2014」(H26. 3. 15～5. 6)
- 平成 26年度
  - 夏の特別企画展「いつか月に住めるかも ～月探査のフロンティア～」(H26. 7. 12～8. 31)
  - 展示工作物の改修工事、大規模天井耐震工事並びに外壁改修工事のため平成 26年 9月 1日から平成 27年 7月 10日まで臨時休館
- 平成 27年度
  - リニューアルオープン (H27. 7. 11)
  - 夏の特別企画展「海王展 ～海の支配者たちの系譜～」(H27. 7. 11～9. 27)
  - 冬の企画展「有田焼創業 400 年記念古くて新しい素材 セラミックス展」(H27. 12. 5～H28. 2. 14)
  - 春の企画展「ビーコロ 2016」(H28. 3. 19～5. 8)
- 平成 28年度
  - 夏の特別企画展「新世界の昆虫展 ～虫の秘密とバイオミメティクス～」(H28. 7. 19～8. 31)
  - 総入館者 400 万人達成 (H28. 8. 12)
  - 冬の企画展「トリ年水族館 ～鳥にちなんだ海の生き物たち～」(H28. 12. 10～H29. 2. 26)
  - 春の企画展「ビーコロ 2017」(H29. 3. 18～5. 7)
  - 29年度からの指定管理者として、乃村・松尾宇宙科学館活性化共同事業体が選定される (H28. 12. 28) 指定期間／平成 29年 4月 1日～平成 34年 3月 31日 (5年間)
- 平成 29年度
  - 夏の特別企画展「夏祭りの科学」(H29. 7. 15～9. 3)
  - 秋冬の企画展「生き物たちの仮装パーティー ～擬態のふしぎ～」(H29. 10. 21～H30. 1. 8)
  - 春の企画展「ビーコロ 2018」(H30. 3. 17～5. 6)
- 平成 30年度
  - 夏の特別企画展「恐竜展Ⅲ ジュラ紀—大型恐竜や始祖鳥が出現した時代—」(H30. 7. 14～9. 30)
  - 総入館者 450 万人達成 (H30. 7. 14)
  - 冬の企画展「月をめざしたアポロ展」(H30. 12. 15～H31. 2. 11)
  - 春の企画展「ビーコロ 2019」(H31. 3. 16～5. 6)
- 令和元年度
  - 夏の特別企画展「カラクリ展」(R1. 7. 13～9. 1)
  - 秋冬の企画展「元素展」(R1. 10. 26～R2. 1. 13)
  - 春の企画展「ビーコロ 2020」開催延期
- 令和 2年度
  - 総入館者数 500 万人達成記念セレモニー (R2. 9. 16)
  - 秋冬の企画展「佐賀の五大古生物の謎を追い ～不動寺康弘コレクションからみる佐賀の化石」(R2. 10. 31～12. 27)
  - 春の企画展「ビーコロ 2021」(R3. 3. 25～5. 30)  
5月 10日以降は土日にものみ開催
  - 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 拡大により令和 2年 4月 19日～5月 10日まで臨時休館。夏の特別企画展開催中止、常設展示運営、天文台プラネタリウム、館内教育活動、アウトリーチ活動等いずれも、大きな影響を受けた。
- 令和 3年度
  - 夏の特別企画展「翼王展 大空を支配した生き物たち」(R3. 7. 17～8. 31)
  - 秋冬の企画展「オーロラを体感 ～オーロラメッセンジャー中垣哲也オーロラ展」(R3. 12. 18～R4. 2. 13)
  - 春の企画展「ビーコロ 2022」(R4. 3. 19～5. 8)

- 新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、感染症防止対策を徹底した環境づくりに努めた。
  - 4年度からの指定管理者として、宇宙科学館活性化共同事業体N&Mが選定される (R3. 12. 15) 指定期間/令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)
- 令和4年度
- 夏の企画展「振り子の博覧会」(R4. 7. 16～9. 4)
  - 秋冬の企画展「Geo Travel ～西九州新幹線かもめが走る地下の旅～」(R4. 10. 15～R5. 1. 9)
  - 春の企画展「ビーコロ 2023×錯視展」(R4. 3. 18～5. 7)
- 令和5年度
- 夏の企画展「ウーたんゲームス 一宇宙編一」(R5. 7. 15～9. 3)
  - 秋冬の企画展「プラネタリウム 100周年 宇宙(ソラ)を創(ツク)る」(R5. 10. 21～R6. 1. 8)
  - 春の企画展「ビーコロ×スイッチ展」(R6. 3. 16～5. 6)
  - 佐賀県立宇宙科学館開館25周年  
宇宙発見ゾーン リニューアルオープン記念セレモニー (R6. 3. 20)
  - 宇宙発見ゾーン リニューアルオープン (R6. 3. 23)
- 令和6年度
- 春・夏イベント「水フェスタ」(R6. 6. 8～6. 23)
  - 夏の企画展「カラフル」色の不思議のサイエンス (R6. 7. 13～9. 1)
  - プラネタリウム 100周年記念事業公認企画「ソラフェスタ」(R6. 9. 7～. 23)
  - 秋の企画展「デジタル×スポーツ展」(R6. 10. 19～12. 8)
  - 「電気フェスタ」(R6. 12. 21～R7. 1. 13)
  - 春の企画展「ビーコロ×おもちゃ展」(R7. 3. 15～5. 6)

## 2 施設の目的

現代社会において、科学は、産業・経済面のみならず、医療・福祉・環境等、様々な面で我々の生活に密接に関わっており、極めて重要な位置を占めている。

その一方で、日々高度化・専門化していく科学は、多くの人々にとって難解なものとなっており、特に子供達の「理科離れ」といったことが指摘されている状況の中、21世紀の豊かで活力ある地域社会を創造していくうえで、科学への夢と情熱を持った青少年を育成していくことは不可欠となっている。

こうした中、21世紀を担う子供達の「科学する心」を育て、発見や創造のすばらしさを伝えるとともに、県民全般に科学知識の普及を図り、ひいては新しい郷土を創造する人材の育成に寄与することを目的とする。

さらに余暇時間の増大や生涯教育の時代の到来に対応し、健全な学習・知的レジャーの場を提供し本県の科学学習・科学活動の振興を図る。

## 3 施設の性格及び機能

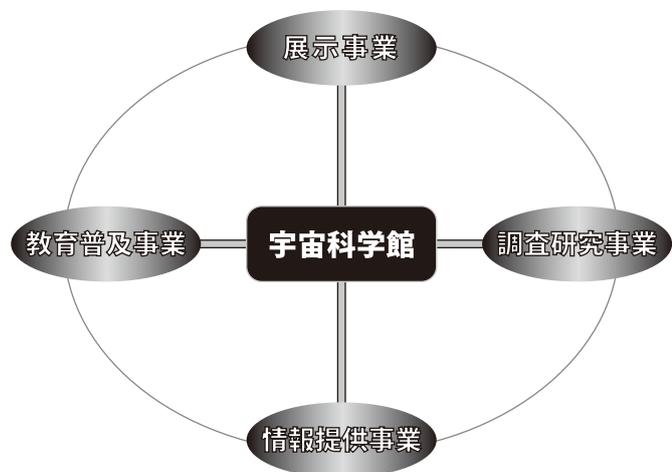
「宇宙」、「地球」、「佐賀」を総合的に理解させ、自分自身とそれらの関係についての発見・認識を促すため、「宇宙から地球・佐賀を発見する、佐賀から地球・宇宙を発見する」をテーマに、未来へ向けて“発見や創造の扉を開く”ことを目指す。

### (1) 施設の性格

- 本県の科学学習の拠点となる科学館
- 発見創造をねらいとした体験型の科学館
- 自然環境を積極的に活かした郊外型科学館
- 県民のコミュニケーション・レクリエーションの場となる科学館

### (2) 機能

- 展示を通じて科学や科学技術への夢とロマンを育み、心を養う機能
- 科学教育・生涯学習の支援促進を図る機能
- 科学に関する情報を広く県民に提供する機能
- 調査研究や資料の収集保存製作活動を行う機能



## 4 施設（建物）の概要

建築構造／鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）地上3階、地下1階

建築面積／6,630 m<sup>2</sup>

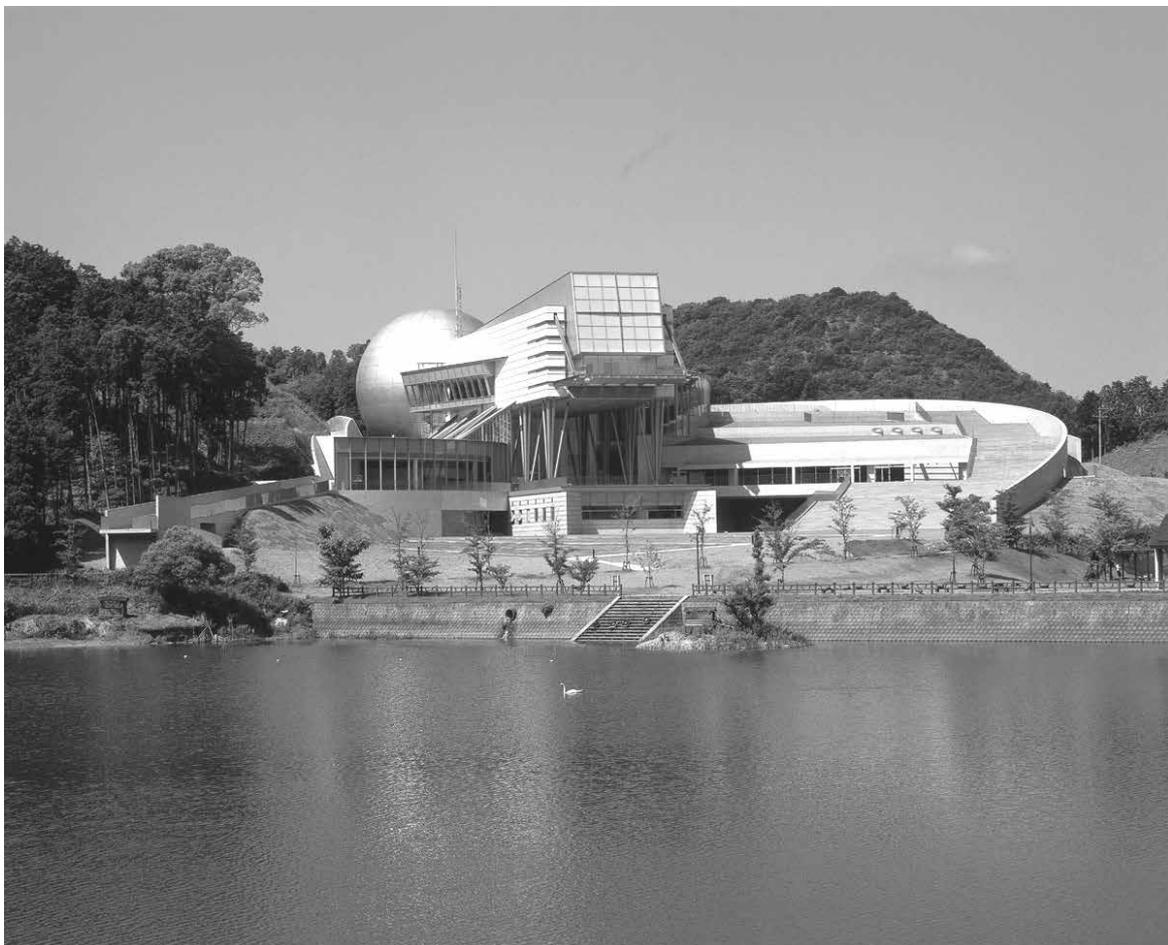
延床面積／8,292 m<sup>2</sup>（うち展示面積2,800 m<sup>2</sup>）

階層別構成

3階	1,751 m <sup>2</sup>	プラネタリウム、天文台、宇宙発見ゾーン
2階	790 m <sup>2</sup>	地球発見ゾーン、サイエンスサロン
1階	4,055 m <sup>2</sup>	地球発見ゾーン、佐賀発見ゾーン こどもの広場、科学実験室、科学工作室、 図書室、ガイダンス室、企画展示室 レストラン、ミュージアムショップ
地下1階	1,696 m <sup>2</sup>	事務室、調査研究室、収蔵庫 他

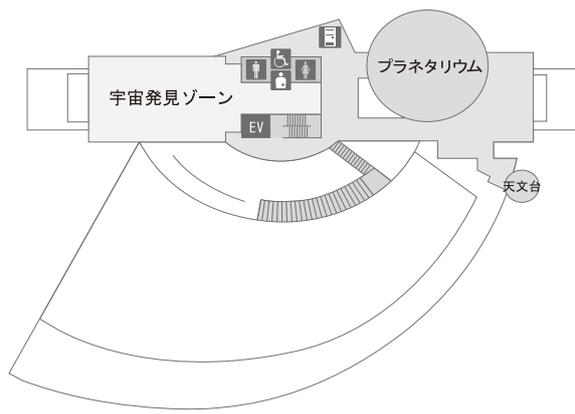
総事業費／79億9,200万円（平成7年基本設計費から平成10年建設工費まで）

工事期間／平成9年7月から平成11年3月

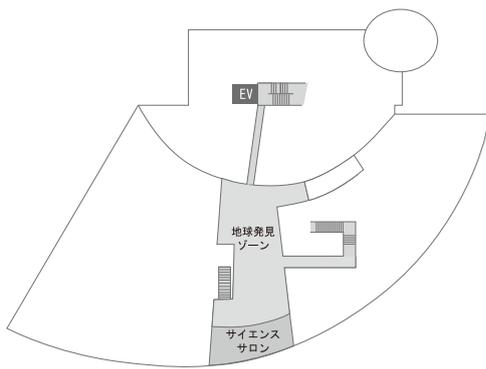


フロアマップ

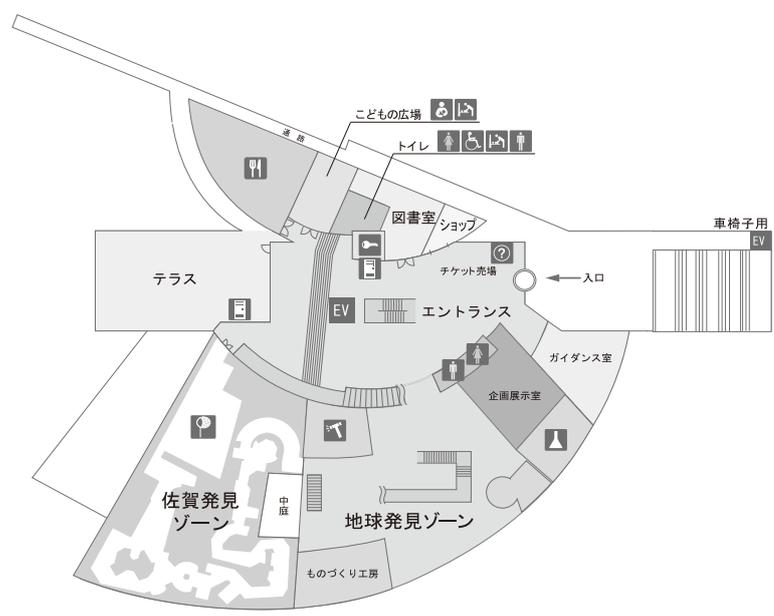
**3F** 天文台  
 プラネタリウム  
 宇宙発見ゾーン  
 EV 昇降機 多目的トイレ 授乳室 自動販売機



**2F** 地球発見ゾーン  
 サイエンスサロン  
 EV



**1F** 地球発見ゾーン  
 ▲ 科学実験室  
 🔧 科学工作室  
 佐賀発見ゾーン  
 🌻 佐賀発見プラザ  
 こどもの広場  
 図書室  
 🍴 飲食 鍵 自動販売機 EV 情報  
 ♀ 男性トイレ ♀ 多目的トイレ



**B1F** 館長室、事務室、調査研究室、会議室  
 電気室、機械室、収蔵庫

- |             |            |           |
|-------------|------------|-----------|
| 🔍 インフォメーション | 👤 オストメイト   | 🍴 レストラン   |
| EV エレベータ    | 🔄 おむつ替えシート | 📄 自動販売機   |
| ♂ 男性トイレ     | 👶 授乳室      | 🔑 コインロッカー |
| ♿ 多目的トイレ    |            |           |

## 5 条例・規則等

### 佐賀県立宇宙科学館条例

平成 10 年 10 月 5 日

佐賀県条例第 39 号

改正 平成 17 年 3 月 24 日条例第 15 号

平成 24 年 3 月 23 日条例第 8 号

佐賀県立宇宙科学館条例をここに公布する。

(設 置)

第 1 条 天文をはじめとする科学に関する資料の収集、展示等を行い、県民の教養と創造性を育み、もって本県の教育及び文化の発展に寄与するため、佐賀県立宇宙科学館（以下「科学館」という。）を設置する。

(位 置)

第 2 条 科学館は、武雄市に置く。

(指定管理者)

第 3 条 知事は、科学館の管理を法人その他の団体に行わせることができる。

2 前項の規定に基づき法人その他の団体に行わせる管理の業務は、次に掲げる業務とする。

- (1) 科学館の運営に関する業務
- (2) 科学館の施設の利用に関する業務
- (3) 科学館の施設の維持及び管理に関する業務

3 第 1 項の規定に基づき管理を行わせる者（以下「指定管理者」という。）の指定の手続は、規則で定める。

4 指定管理者は、規則で定める管理の基準に基づき、その管理の業務を行わなければならない。

(平 17 条例 15・全改、平 24 条例 8・一部改正)

(利用料金)

第 4 条 科学館の施設を利用する者は、利用の際、指定管理者に利用料金を納入しなければならない。

2 前項の利用料金は、科学館の施設の維持及び管理に必要な費用を、当該施設の利用予定者数で除して得た額を限度として、指定管理者が定める。

3 指定管理者は、前項の規定により利用料金を定めるときは、知事の承認を得なければならない。

(平 17 条例 15・全改、平 24 条例 8・一部改正)

(補 則)

第 5 条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

(平 17 条例 15・旧第 9 条繰上・一部改正、平 24 条例 8・一部改正)

附 則

この条例は、平成 11 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 3 条から第 7 条まで並びに別表第 1 及び別表第 2 の規定は、規則で定める日から施行する。

(平成 11 年規則第 37 号で平成 11 年 7 月 8 日から施行)

附 則（平成 17 年条例第 15 号）抄

（施行期日）

- 1 この条例は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 2 条、第 4 条、第 6 条、第 8 条、第 15 条、第 19 条、第 21 条、第 26 条、第 30 条、第 32 条、第 35 条及び次項の規定は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

（経過措置）

- 3 この条例の施行の際現に地方自治法の一部を改正する法律（平成 15 年法律第 81 号）による改正前の地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 244 条の 2 第 3 項の規定に基づき管理を委託している公の施設については、この条例の施行の日から平成 18 年 3 月 31 日までの間は、なお従前の例による。
- 4 平成 18 年 4 月 1 日以後の公の施設の利用について、同日前に知事又は教育委員会が行った許可等（吉野ヶ里歴史公園及び県営住宅等に係るものを除く。）は、当該公の施設の指定管理者が行ったものとみなす。

附 則（平成 24 年条例第 8 号）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例の施行の際、この条例による改正前の佐賀県スポーツ振興審議会条例、市村記念体育館設置条例、佐賀県総合運動場条例、佐賀県総合体育館条例、佐賀県ヨットハーバー条例、佐賀県少年自然の家設置条例及び佐賀県立宇宙科学館条例の規定により、佐賀県教育委員会がした処分その他の行為で現に効力を有するもの又はこの条例の施行の日前に佐賀県教育委員会に対してなされた申請その他の行為で、同日以後においてはこの条例による改正後のこれらの条例の規定により知事が管理し、及び執行することとなる事務に係るものは、同日以後における当該これらの条例の規定の適用については、知事がした処分その他の行為又は知事に対してなされた申請その他の行為とみなす。





---

## 佐賀県立宇宙科学館

佐賀県武雄市武雄町永島16351  
TEL 0954(20)1666 FAX 0954(20)1620  
URL <https://www.yumeginga.jp>

---

表紙写真…夏の企画展カラフル 色の不思議のサイエンス  
来館者数5万人達成記念イベント  
裏表紙写真…ゴールデンウィークの来館者にぎわい

